



三菱カーナビゲーションシステム

形名

NR-MZ300PREMI-4

取扱説明書 **基本操作版**

DIATONE SOUND.NAVI



Premi DIA REAL open^{((()))}info **MAPCODE**[®]

Dolby Audio **dts** **Bluetooth**[®]

SD XC **WiFi**[®] CERTIFIED **VICS**^{WIDE} **ETC 2.0** **Smart Loop**

Made for
iPhone | iPod

Music FOLDER

gracenote

ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」・「取付要領書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

「取扱説明書」はお読みになった後、「保証書」・「お客様相談窓口一覧表」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

⚠ 注意



- 初期設定 (P35) が完了するまで音を出さないでください。
スピーカー破損の原因となります。

Index

Intro.	
取扱説明書について	5
こんなことができます	6
ご使用前に 8	
免責事項について	8
ご使用上の注意	9
走行中の操作制限について	10
OpenInfo について	10
お手入れのしかた	10
商標について	10
お客さまへ安全上のご注意	14
本書のみかた	18
基本操作 19	
本機について	19
モニターパネルについて	19
起動する	21
SD カードについて	22
SD カードを挿入する	23
SD カードを取り出す	23
ディスクの取り扱いについて	24
ディスクを挿入する/取り出す	25
操作のしかた	27
リストから項目を探すとき	28
タブボタンがあるとき	28
各メニュー画面について	29
AV メニュー	29
NAVI メニュー	30
ROUTE メニュー	31
INFO メニュー	32
マイメニュー	33
AV	
Sound Settings 35	
初期設定	35
簡単プリセット	35
詳細車種設定	36
システム構成図	39
フロントフルレンジ	40
フロントフルレンジ+サブウーファー	40
フロントフルレンジ+リア	41
フロントフルレンジ+リア+サブウーファー	42
フロント2Way	43
フロント2Way +サブウーファー	43
フロント2Way +リア	44
フロント2Way +リア+サブウーファー	45
音質の設定を変更する	46
サラウンド設定	51
サウンドチューニング	51
イコライザー設定	58
PremiDIA Bass	59
PremiDIA VBL	59
オーディオ機能について 60	
基本操作	60
AV メニューを表示する	60
オーディオを ON/OFF する	60
再生できるディスクの種類について	61
音楽ファイルについて	62
再生できる音楽ファイル形式	62
フォルダーの構成について	62
動画ファイルについて	63
再生できる動画ファイル形式	63
フォルダーの構成について	63
ラジオ / 交通情報 64	
ラジオを聴く	64
表示内容について	64
交通情報を聴く	65
表示内容について	65
DISC 66	
音楽 CD を聴く	66
表示内容について	66
タイトル情報を取得する	68
ディスクの音楽ファイルを聴く	69
表示内容について	69

DVDビデオを見る.....	71
DVDビデオの操作画面を表示する.....	71
表示内容について.....	72

SD/MusicFolder 75

SDカードについて.....	75
SDカードの曲を聴く.....	76
SDカードの動画を見る.....	78
表示内容について.....	78
MusicFolderに録音する.....	80
MusicFolderへの録音について.....	80
録音を開始/停止する.....	81
MusicFolderを聴く.....	82
表示内容について.....	83

iPod/USBメモリ 86

接続する.....	86
iPodを再生する.....	88
USBデバイスの曲を聴く.....	89
USBデバイスの動画を見る.....	91
表示内容について.....	91

TV 92

テレビ機能について.....	92
受信について.....	92
テレビを見る.....	93
はじめてテレビを見るとき.....	93
表示内容について.....	94

外部入力機器 96

Bluetooth Audioを使う.....	96
Bluetooth対応 オーディオ機器を接続する.....	96
表示内容について.....	97

NAVI

基本操作 98

ナビゲーション機能について.....	98
ナビゲーションとは.....	98
GPSアンテナについて.....	98
地図データについて.....	98
人工衛星の受信状況について.....	98

ナビ画面について.....99

地図表示内容について.....	99
NAVIメニューを表示する.....	104
ROUTEメニューを表示する.....	104
ショートカットメニューを表示する.....	105
現在地画面を表示する.....	105

音声認識.....106

音声認識について.....	106
音声認識の開始方法について.....	108
音声認識コマンドリストを確認する.....	109
音声認識で操作する.....	110

文字入力のしかた.....112

文字入力用キーボード.....	112
施設名称入力用キーボード.....	113

地図画面を設定する.....114

地図画面を選択する.....	114
地図の種類について.....	114

地図を操作する.....115

縮尺の切り換え.....	115
地図をスクロールする.....	115

高速道路情報について.....116

表示内容について.....	116
---------------	-----

目的地の設定 117

自宅を目的地に設定する.....	117
特別登録地を目的地に設定する.....	118
探した場所を目的地に設定する.....	119
DriveConnectを利用する.....	120
NaviConを使う.....	123
探索条件設定画面について.....	126

ルートの確認・変更 127

ルートの確認.....	127
次に曲がる交差点を確認する.....	127
全ルートを確認する.....	127
ルートの変更.....	128
探索条件を変更する.....	128
ルートを消去する.....	128

登録地の設定 129

登録地を設定する.....	129
自宅を登録する.....	129
現在地を登録する.....	129
特別登録地を設定する.....	130

登録地を変更する.....	131
登録地情報を変更する.....	131
登録地情報画面について.....	131
登録地を消去する.....	132

VICS機能 133

VICSについて.....	133
VICSのメディアと特徴.....	133
表示内容について.....	134
VICSセンターへのお問い合わせ.....	136
オンラインの情報を受信する.....	137

ETC2.0 138

ETC2.0 サービスとは.....	138
ETC2.0 サービスの概要.....	138
ETC2.0 サービスについて.....	138

INFO

各種情報を確認する 139

エコ情報を確認する.....	139
表示内容について.....	139
お知らせ表示について.....	140
ETC情報を確認する.....	141
ETCとは.....	141
ETCの履歴を確認する.....	141
ニュースリーダーを使う.....	142
ニュースリーダーを起動/終了する.....	142
表示内容について.....	143
電話を使う.....	144
電話画面を表示する.....	144
携帯電話を接続する.....	144
電話をかける.....	145
電話がかかってくると.....	145
カメラを使う.....	146
表示内容について.....	146
表示するには.....	147
メンテナンス情報を確認する.....	148
メンテナンス情報を表示する.....	148
バージョンアップする.....	150
バージョンを確認する.....	150

本機の設定 151

その他の設定.....	151
NAVIの設定.....	151
AVの設定.....	152
INFOの設定.....	152
通信の設定.....	153
システムの設定.....	153
TVの設定.....	154

Other

困ったときは.....	155
こんなメッセージがでたら.....	155
用語解説.....	159
ナビ関連用語.....	159
オーディオ関連用語.....	160
Sound Settings 関連用語.....	161
DVDビデオ関連用語.....	163
テレビ関連用語.....	164
その他の機器への接続について.....	165
ソフトウェアについて.....	166
オープンソースソフトウェア.....	166
オープンソースソフトウェアの ソースコード配布について.....	171
Gracenote サービス.....	172
地図記号について.....	174
VICS 情報有料放送サービス契約約款.....	176
ニュースリーダーサービス利用規約.....	178
仕様.....	180
保証とアフターサービス.....	182
音質調整メモ.....	183
イコライザー設定.....	184
タイムアライメント設定.....	185
クロスオーバー設定(フロント).....	186
クロスオーバー設定(リア).....	189
用語索引.....	191

Intro.

あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明します。

取扱説明書について

本製品の取扱説明書は次の2部構成になっています。

記載内容について

本書は、別売を含むすべての機器を接続した場合を想定して記載しています。
購入された機種によっては、ない機能や表示されないメニューがあります。

■ 取扱説明書（基本操作版）



本製品の基本的な機能を記載しています。
本製品に同梱されています。

■ 取扱説明書（詳細版）



本製品の機能を十分ご理解いただけるように
すべての機能を詳しく説明しています。
本製品には同梱されていませんので、三菱
電機のホームページをご覧ください。

URL : <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele>

こんなことができます

本製品のイチョン機能を紹介します。

本書（基本操作版）とホームページ（Web）に掲載の取扱説明書（詳細版）の参照ページを併記しています。機能を詳しく知りたいときは、ホームページをご覧ください。

Sound Settings



理想の音、臨場感ある音を出すためには、音質調整が必要です。豊富な設定機能から、あなた好みの音を設定してみてください。

基本
P35

簡単プリセット設定

難しい音の調整ができない方におすすめの設定をご用意しています。

基本
P36

詳細車種設定

車の形状やスピーカーシステムにあった設定を選択することで、より臨場感のある音に近づきます。

基本
P51

サウンドチューニング

タイムアライメントやクロスオーバーの設定ができます。

基本
P58

イコライザー設定

各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定ができます。

AV



CDはもちろん、SDカード、USBメモリー、iPod、Bluetooth Audio 機器などさまざまなメディアから音楽を聴くことができます。

基本
P62

FLAC ファイルの再生

web
P74

音楽 CD(CD-DA) を超える高音質な音楽データ (FLAC ファイル) を再生できます。

基本
P63

動画ファイルの再生

web
P75

SD カード、USB メモリーに記録された動画ファイルを再生できます。

もっと、AV について知りたい!!

基本

web

オーディオ機能について.....	P60	P62
DISC の再生.....	P66	P82
SD/MusicFolder の再生.....	P75	P104
iPod/USB メモリの再生.....	P86	P134
TV を見る.....	P92	P147
外部入力機器の曲を聴く.....	P96	P165

基本 P000 : このマークは、本書の記載ページを示します。

web P000 : このマークは、ホームページに掲載の取扱説明書の記載ページを示します。
URL : <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele>

NAVI



目的地を設定するために、さまざまな方法を使って検索することができます。また、ルート探索も9種類の中から選ぶことができます。

基本 P106 **音声認識で操作する**

web P186 音声で目的地の設定や地点登録ができます。

基本 P120 **DriveConnect を使う**

web P228 三菱電機のオリジナルアプリから目的地を検索し、本機に設定することができます。

もっと、NAVI について知りたい!!

基本 **web**

基本操作.....P98 P175
目的地を設定する.....P117 P213
ルートの確認・変更する.....P127 P238
登録地を設定する.....P129 P252
VICS 機能を使う.....P133 P258
ETC2.0 について.....P138 P271

INFO



エコ情報、カメラ、電話などナビや AV 機能以外にもさまざまな機能が用意されています。通信設定の方法など、各種設定機能も豊富です。

基本 P139 **エコ情報を確認する**

web P276 運転操作がどれくらい燃費に良いかの評価を確認できます。

基本 P153 **Wi-Fi を接続する**

web P340 通信機能を使って、ナビ機能を充実させることができます。

もっと、INFO について知りたい!!

基本 **web**

各種情報を確認する.....P139 P276
本機を設定する.....P151 P314

ご使用前に

免責事項について

- ・火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（登録地など）や録音した音楽データが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万が一に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- ・本製品に入力した個人情報（登録地の住所や電話番号など）は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客さまの責任において行ってください。三菱電機は一切の責任を負いません。
本製品を譲渡または廃棄される場合には、「メモリ初期化」(P153)の[本機の初期化]をすることをおすすめします。
また、OpenInfo サービスをご利用になっている場合は、退会手続きを行ってください。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合があります。また、地図データ不備による損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・高速道路料金や施設利用料などを収録しておりますが、税率変更や各種割引引きなどにより実際の料金と異なる場合がございます。表示金額の不一致による損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交

通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。なお、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。

- ・地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。
- ・地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。
- ・地図データの内容は予告なく変更される場合があります。
- ・地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。
- ・ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- ・赤信号残時間表示などの信号情報案内は実際の点灯状況と異なる案内をする場合があります。必ず実際の信号や交通状況に従って走行してください。
なお、案内表示の不備による交通事故や交通違反の損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書では数種類の機種内容を共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のもの、もしくは説明用に作成したものです。実際のものとは異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に添付の保証書は当該製品をバス、タクシー、トラックなどの車両へ使用した場合、適用対象にはなりません。

- ・本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・本製品は国内専用です。海外では使用できません。

ご使用上の注意

■ 共通

- ・操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になるおそれがあります。
- ・安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながるおそれがあります。
なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- ・緊急を要する施設（病院・消防署・警察署など）の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- ・操作するときは、安全な場所に停車してください。
- ・エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができないおそれがあります。必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- ・以下のようなときは、液晶画面特有の現象です。故障ではありません。
 - ≫ 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
 - ≫ 寒冷時など、画面の動きが遅い。
 - ≫ 高温時など、画面が暗いときがある。
 - ≫ 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。
- ・液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。

- ・偏光サングラスを使用すると、視認性が低下する場合があります。
- ・市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでるおそれがあります。
- ・鋭利なもの（ペン先・つめの先など）でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合があります。
- ・カバーレンズに樹脂を採用していますが、強い衝撃を与えると樹脂が割れて、けがをするおそれがあります。
- ・手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと正しく反応しない場合があります。
- ・本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporationおよびその他の著作権利権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporationの許可が必要で、また、Rovi Corporationの特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。
- ・パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、ラジオやテレビの受信状態が悪くなるなど異常が発生するおそれがあります。

■ テレビ機能

- ・本製品は、BS デジタル放送、110度CS デジタル放送には対応していません。
- ・本製品はデータ放送には対応していません。
- ・移動中に電波の受信状態が悪くなったときには、次のような現象が起きる場合があります。
 - ≫ 映像や音声にノイズが発生する。
 - ≫ 映像や音声途切れる。

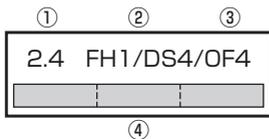
■ 電波に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

次のページにつづく

1. この機器を使用する前に、近くで前記記載の無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から前記記載の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を移動する、電源を切るなどの回避処置をしてください。
3. その他、この機器から前記記載無線局に対し有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、三菱電機カーインフォメーションセンター(P182)へご相談ください。

■ 周波数の表示の見方



本機上面の製品ラベル内に図のような表示があります。

- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② 変調方式: FH-SS方式、DS-SS方式、OFDM方式であることを示します。
- ③ 1: 想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
4: 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④  :2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ iPod/iPhone 再生機能

- 本機は、iPod/iPhoneの音楽の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- iPod/iPhoneの機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 最新の接続確認結果については、三菱電機のホームページをご覧ください。

走行中の操作制限について

安全のため、走行中は一部操作や表示が制限されます。安全な場所に車を停めて操作してください。

OpenInfo について

OpenInfo サービスとは、三菱電機株式会社が運営する会員制の交通情報システムです。

OpenInfo サービスを利用すれば、リアルタイムに渋滞情報を取得することができ、より早くスムーズな目的地案内を実現します。

また、高速道路などの開通道路情報もダウンロード可能となり、快適ドライブをサポートします。

OpenInfoでは、以下の機能をご利用になれます。

- スマートループ渋滞情報 (→P133)
- 開通道路情報更新

これらの機能をご利用になるには、あらかじめ登録が必要です。

詳しくは、三菱電機のホームページをご覧ください。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/openinfo>

お手入れのしかた

- 本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つけるおそれがあります。

商標について

- 「ナビ」、「NAVI」は商標です。
- **NaviCon** NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- 「DIATONE Volume」および「DIATONE SURROUND」は、三菱電機株式会社の登録商標です。
- 「ドライビングリモコン」、「ドラコン」は三菱電機株式会社の登録商標です。
- WMA (Windows Media Audio) : Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
- 「Android」はGoogle LLCの商標です。
- 製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

DIATONE®

「DIATONE」および「ダイヤトーン」、「DIATONE」ロゴは、三菱電機株式会社の登録商標です。

PremiDIA

「PremiDIA」は、三菱電機株式会社の登録商標です。

Dolby Audio

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されております。Dolby、Dolby Audio、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスリングコピーレーションの商標です。



SDXCロゴはSD-3C,LLCの登録商標です。

Bluetooth®

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり「三菱電機株式会社」はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



ETCロゴは、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。



本製品は、パイオニア(株)が運営・管理するスマートループ渋滞情報®を使用しています。スマートループ渋滞情報®はパイオニア(株)の登録商標です。

REAL

「REAL」は三菱電機株式会社の登録商標です。



「ミュージックフォルダ」は、三菱電機株式会社の登録商標です。

openinfo

「OpenInfo」および「openinfo」ロゴは、三菱電機株式会社の登録商標です。



DTSの特許については、<http://patents.dts.com> をご参照ください。DTS Licensing Limitedからの実施権に基づき製造されています。DTS、Digital Surround、DTSロゴは、米国およびその他の国におけるDTS, Inc.の登録商標または商標です。
© 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.



「VICS」および「VICS WIDE」ロゴは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



「マップコード」および「MAP CODE」は、(株)デンソーの登録商標です。



ETC2.0ロゴは、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。



Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fi Direct、Wi-Fi CERTIFIED ロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。

DriveConnect

「DriveConnect」および「DriveConnect」ロゴは、三菱電機株式会社の登録商標です。

Made for

Apple iPhone | iPod

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPodまたはiPhone 専用に接続するよう設計され、Apple が定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

Apple、iPhone、iPod、iPod nano、iPod touchは、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Appleは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPod nano



iPod nano
7th generation

iPod touch



iPod touch
5th generation



iPod touch
6th generation

iPhone



iPhone 4s



iPhone 5
iPhone 5c iPhone 5s



iPhone 6 iPhone 6s



iPhone 6 Plus iPhone 6s Plus



iPhone SE



iPhone 7



iPhone 7 Plus

※ ビデオ再生および Genius 機能には対応していません。

※ iPadには対応していません。

※ iPodおよびiTunesは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

※ 最新の接続確認結果については、三菱電機のホームページをご覧ください。

■ Gracenote について

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。

Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote の Web サイト www.gracenote.com をご覧ください。



Gracenote® は、グレースノート社の登録商標です。Gracenote® ロゴおよびロゴ標記、"Powered by Gracenote" ロゴはグレースノート社の商標です。

※ 本機内蔵の Gracenote® データベースは、データの内容を 100% 保証するものではありません。

著作権、使用許諾について詳しくは「ソフトウェアについて」(P166) をご覧ください。

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告



禁止

- **運転者は運転中に、画像を注視しない。**前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- **運転者は走行中に複雑な操作をしない。**
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。**
カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- **画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **本機はDC12V マイナス \ominus アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。**火災や故障の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **ディスクスロットやSDカードスロットに異物を入れない。**
火災や感電、故障の原因となります。

警告



必ず行う

- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。
本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。
必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。
カメラの死角になっている人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- バックする際はゆっくりした速度で運転する。
カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な臭いがするなど異常が起これば、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



分解禁止

- 本機を分解したり、改造したりしない。故障、火災、感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。
落雷により感電のおそれがあります。

注意



禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- 開いたディスプレイの上に物を置かないでください。
ディスプレイ部の破損や飲み物がこぼれることにより、発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車を行ったりしないでください。
カメラが外れたり、角度がずれたりして故障や事故の原因となることがあります。



注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。
事故の原因となることがあります。

⚠ 注意



必ず行う

- モニターパネルの開閉や角度調整時に、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



指に注意

- ディスクスロットやSDカードスロットに手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- モニターパネルの開閉や角度調整時に、手や指を挟まれないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

■ 取付・配線時などのご注意

⚠ 警告



禁止

- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けない。交通事故やけがの原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機に取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。誤った穴開けをすると火災の原因となります。



必ず行う

- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス ⊖ 端子を外す。ショート事故による感電やけがの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウィンカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確かめる。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- 必ず、パーキングブレーキ線を接続する。(安全機能)
安全機能や走行中の操作制限が正しく機能しません。
接続すると、走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

⚠ 注意



禁止

- 本機のシャーシ上部を強く押さないでください。
本機のシャーシ上部が変形すると、ディスクの挿入や排出ができなくなります。
- 初期設定 (P35) が完了するまで音を出さないでください。
スピーカー破損の原因となります。
- システム構成図 (P39) 記載の接続以外はしないでください。



注意

- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が破れショートし、火災、感電の原因となることがあります。

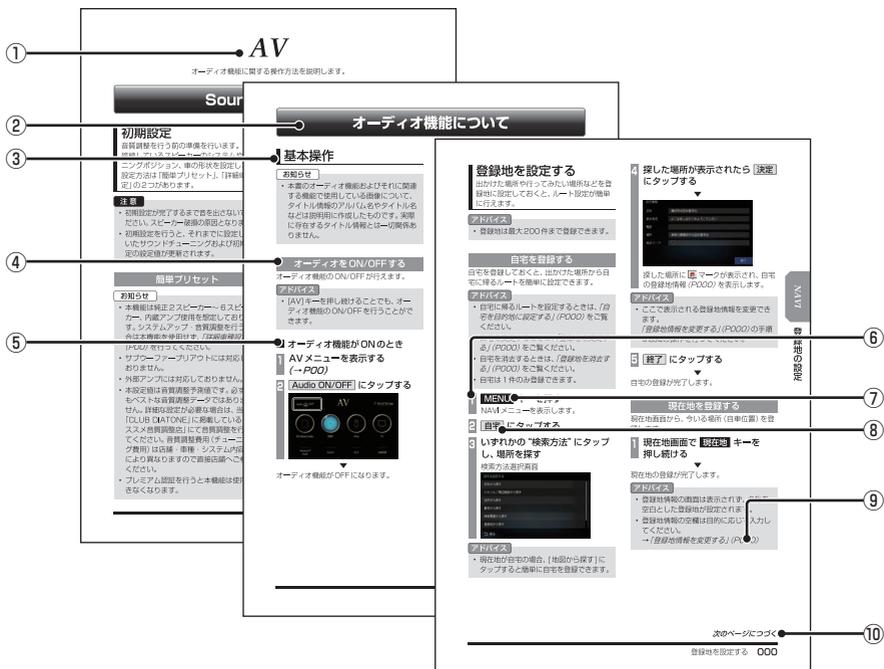


必ず行う

- 落下などによる、強い衝撃を与えないでください。
機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。
- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定どおり使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。
- 取付要領書で指定されたとおりに接続してください。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動する原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 他の機器と接続する場合は、各機器の取扱説明書も併せてよくお読みの上、正しくお使いください。
- 携帯電話を使用する場合は、携帯電話を置く位置や向きによって、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。
- 本製品を廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



※ このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。
実際のページ、説明内容は異なります。

- ① **編見出し**
主な機能に分けて分類しています。
- ② **章見出し**
編分類の中でさらに機能进行分类し、各章の先頭に記載しています。
また、右端のインデックスでも確認できます。
- ③ **大見出し**
章分類の中で主な操作や機能进行分类しています。
- ④ **中見出し**
大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。
- ⑤ **小見出し**
中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。
- ⑥ **操作手順**
操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。
- ⑦ **○○○○ キー**または**[○○○○] キー**
パネルでの操作キーを示します。
- ⑧ **○○○○** または **[○○○○]**
画面上に表示されるボタンを示します。
- ⑨ **(POOO)**
参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。
- ⑩ **次のページにつづく**
操作の説明に続きがある場合に記載しています。

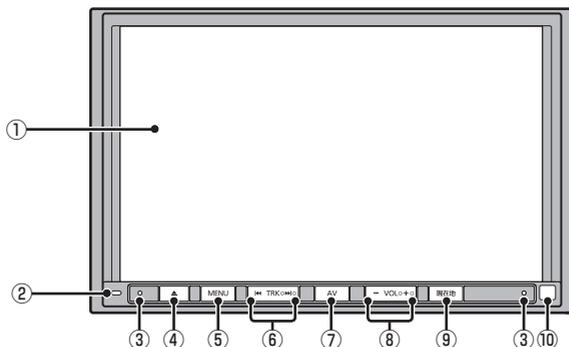
基本操作

本機について

モニターパネルについて

モニターパネルの各部の名称と働きについて説明します。

■ パネルが閉じているとき



① ディスプレイ

ディスプレイに表示されるボタンにタップ (P27) することで、ほとんどの操作が行えます。

② セキュリティロックLED (→P153)

イグニッションキーを“OFF”にしたとき、LEDを点滅させることができます。

③ マイク

本機にマイクを内蔵しています。音声認識やハンズフリー通話のときに使用します。

④ ▲ キー

モニターパネルを開閉するときや、SDカード (P23)、ディスク (P25) の出し入れ、モニター角度の調整、画質調整をするときに使用します。

⑤ MENU キー

NAVIメニューを表示します。(→P30)
画面を左へスライドするとINFOメニューを表示します。(→P32)

画面を右へスライドするとROUTEメニュー^{*1}を表示します。(→P31)

長押しすると、音声認識またはカメラに切り換えます。(→P153)

⑥ ◀◀TRK キー / TRK▶▶ キー

音楽再生時のトラック選択やラジオ、テレビの選局などが行えます。

動作は、オーディオソースによって異なります。詳しくは「オーディオソース別の動作について」(P21)をご覧ください。

⑦ AV キー (→P29)

AVメニューまたはAV再生画面を表示します。長押しすると、オーディオ機能のON/OFFを切り換えます。

⑧ -VOL キー / VOL+ キー

オーディオ機能の音量を調節できます。

⑨ 現在地 キー

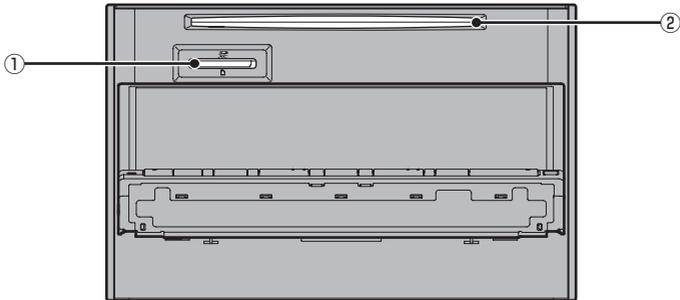
ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。(→P99) 長押しすると、現在地を登録します。(→P129)

⑩ リモコン受光部

別売のドライビングリモコンの信号を受光します。

※1 ROUTEメニューはルートを設定している場合に表示できます。

■ パネルが開いているとき



① SDカードスロット

SDカードを挿入します。SDカード内の音楽ファイルの再生 (P76) や動画ファイルの再生 (P78)、MusicFolder への録音 (P80) が行えます。

② ディスクスロット

本機で再生可能なディスクを挿入すると、再生を開始します。

→「ディスクを挿入する」(P25)

■ オーディオソース別の動作について

◀◀TRK キーや TRK▶▶ キーを押したときの動作はオーディオソースによって異なります。オーディオソースごとの動作は以下のとおりです。

MusicFolder	押すと前後の曲を選ぶことができます。
DISC	
iPod	
Bluetooth Audio	
SD/USB (音楽ファイル)	押し続けると、早送り/早戻しの操作が行えます。
DVD-Video	
DVD-VR	押すと前後のチャプターを選ぶことができます。押し続けると、早送り/早戻し再生の操作が行えます。
SD/USB (動画ファイル)	
TV	押すと前後のプリセットCH番号を選ぶことができます。押し続けると、受信可能な放送局の選局を行います。
ラジオ	
AUX	操作できません。

起動する

本システムを起動します。

1 車のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にする



オープニング画面が表示され、しばらくするとオーディオ画面やナビゲーション画面など、前回最後に使用した機能の画面(ラスト画面)に切り換わります。

お知らせ

- 車両点検などでバッテリーを外すと、セキュリティロック時は、パスワード入力画面を表示します。パスワードを入力するまで本機をご使用になれませんので「セキュリティロックの設定」(P153)で設定したパスワードを入力してください。

SDカードについて

本機はオーディオ機能で使用するSDカードに対応しております。



必ず行う

- **事故防止のため、SDカードは乳幼児の手の届かないところに保管する。**
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

注意

- SDカードの抜き差しは、安全な場所に停車してから行ってください。
- SDカードでデータを読み書きしているときに、SDカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
記録されたデータの消失または破損のおそれがあります。
 - Sound Settingsの操作中
 - MusicFolderの曲を編集集中
 - NoTitleリストの編集集中
 - CD録音中
 - SDカードの初期化中
 - CD-DAの曲タイトル取得中
- SDカードスロットに異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。

お知らせ

- SDカードの容量は設計上最大2TBまでサポートしております。SDカードのスピードクラスはClass 10以上、容量は128GBまでを推奨いたします。なお、すべてのSDカードに対して動作を保証するものではありません。
- SDカードのデータ消失による損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

お知らせ

- パソコンの標準機能を使用してフォーマットしたSDカードは正しく動作しない場合がありますので、本機でご使用になるSDカードは本機でフォーマットしてからご使用ください。
フォーマットすると、SDカード内にあるすべてのデータは消去されます。SDカード内のデータはバックアップしておくことをおすすめします。
- 本機でのフォーマットは、「システムの設定」(P153)で[メモリ初期化]→[SDカードの初期化]を選ぶことで行えます。
- SDカードには寿命があり、書き込みを繰り返すと書き込みや消去などができなくなる場合があります。

■ 取り扱い上のご注意

- SDカードの端子に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。SDカードを持つときは、端子を触らずに持つようにしてください。
- SDカードに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにSDカードが挿入された状態で他のSDカードを無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- SDカード以外のものを挿入しないでください。SDカード以外のものを挿入すると、破損もしくは取り出せなくなります。

■ 保管上のご注意

本機から取り出したときは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

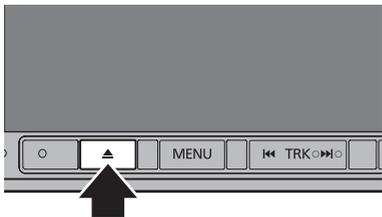
SDカードを挿入する

オーディオ機能のために使用するSDカードを本機に挿入します。

お知らせ

- SDカードは同梱しておりません。お客さまにてご準備ください。

1 ▲ キーを押す



2 「モニター Open」 にタップする

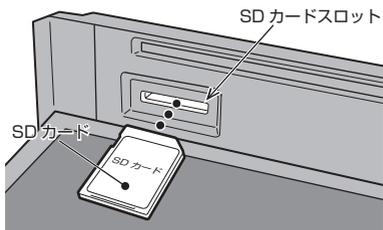
→「操作のしかた」(P27)



パネルが開きます。

3 SDカードスロットにSDカードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

SDカードを利用したオーディオ機能が使用可能となります。

SDカードを取り出す

オーディオ機能のために使用するSDカードを本機から取り出します。

1 ▲ キーを押す

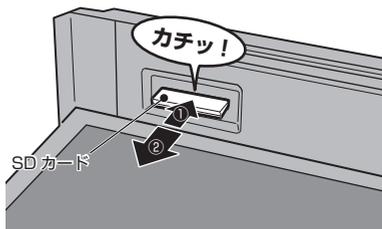
2 「モニター Open」 にタップする

→「操作のしかた」(P27)



パネルが開きます。

3 SDカードを「カチッ」と音がするまで押す



SDカードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

■ 取り扱い上のご注意

- ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。ディスクを持つときは、信号面を触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。

■ お手入れについて

- ディスクの信号面は定期的にクリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- 新しいディスクにはディスクの外周や中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでバリを取り除いてください。

■ 保管上のご注意

- 使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

■ ディスク再生の環境について

真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐご使用になると、ディスクや内部の光学部分に露（水滴）が付き正常に動作しない場合があります。

このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

■ 著作権について

私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。

ディスクを挿入する/取り出す

本機にディスクを挿入する方法を説明します。

注意

- ディスク交換は、安全な場所に停車してから行ってください。
- ディスクスロットに手や指、異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- パネル上にももの(ジュースなど)を置かないでください。
- ディスクを挿入すると自動でパネルが閉まります。但し、プログラムの読み込み中や地図更新中は自動でパネルは閉まりません。
- パネル開閉時に手や指をはさみ込まないように注意してください。

ディスクを挿入する

1 ▲ キーを押す

2 [モニター Open] にタップする

→「操作のしかた」(P27)



パネルが開きます。

3 ディスクスロットに、レーベル面を上にしてディスクを差し込む



ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

自動でパネルが閉まり再生を開始します。

ディスクを取り出す

1 ▲ キーを押す

2 [DISC Eject] にタップする

→「操作のしかた」(P27)



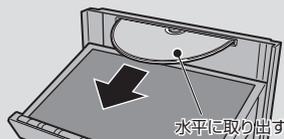
パネルが開き、本機からディスクが排出されますので、ディスクを抜き取ってください。

3 ▲ キーを押す

パネルが閉まります。

注意

- ディスクを取り出すときは、ディスクスロットに対して水平に取り出してください。ディスクの記録面(下側)を強く押しつけたり、ディスクを変形させながら取り出したりすると、ディスクに傷が付くおそれがあります。



アドバイス

- ディスクの排出後、一定時間ディスクを抜き取らなかった場合、ディスクが自動的に引き込まれます。

ディスクを強制的に取り出す

通常は、ディスクローディングが正常に完了すれば、「ディスクを取り出す」の方法で挿入されているディスクを取り出すことができますが、万が一ディスクローディングが失敗して、再生情報画面が表示できなかった場合は、次の方法でディスクを強制的に取り出すことができます。

1 ▲ キーを押し続けながら、 イグニッションキーを OFF の状 態から “ON” にする



本機からディスクが強制的に排出されます。排出後、再度イグニッションキーを “OFF” → “ON” して、システムを再起動してください。

操作のしかた

本システムでは、ディスプレイに直接触れることで操作するマルチタッチパネルを採用しています。

注意

- ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布で軽く拭き取ってください。

■ タップ

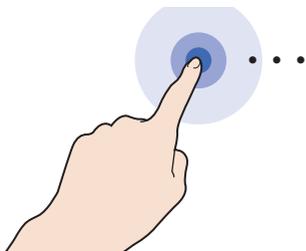
“決定”する操作を行うときなどに使用します。



画面に軽く触れてすぐに離します。

■ ロングタップ

早送りや早戻しするときなど、様々な場面で使用します。



画面に触れたままの状態にします。

■ ダブルタップ

地図の範囲を1段階ずつ詳細にするときに使用します。



1本の指ですばやく2回タップします。

■ マルチタップ

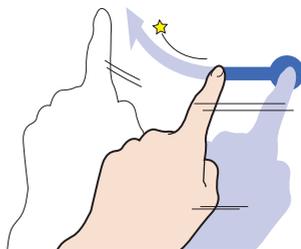
地図の範囲を1段階ずつ広域にするときに使用します。



2本の指で1回タップします。

■ フリック

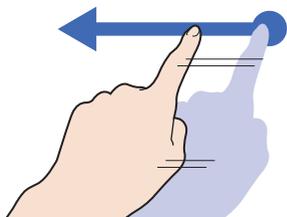
リストや地図を素早くスクロールするときに使用します。



画面に触れたまま素早く指をはらうように動かし、画面から指を離します。

■ スライド

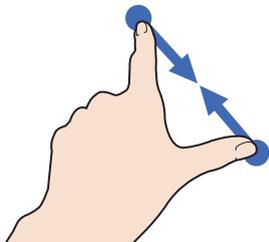
指の動きに合わせて画面をスクロールするとき 사용합니다。



画面に触れたまま指を動かします。

■ ピンチイン

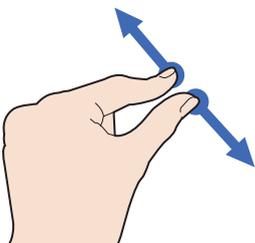
地図の範囲を広域にするときに 사용합니다。



2本の指で画面に触れたまま、指の間隔を縮めるように動かします。

■ ピンチアウト

地図の範囲を詳細にするときに 사용합니다。



2本の指で画面に触れたまま、指の間隔を広げるように動かします。

リストから項目を探るとき

リストの上でフリックまたはスライドします。上の方向に指を動かすとリストは下へスクロールします。



探している項目が表示されたら直接その項目にタップします。

タブボタンがあるとき

分類がタブボタンで分かれている場合があります。

分類のタブボタンに直接タップすることで、分類の先頭までリストが移動します。



分類の数が多いときは、**<<**、**>>** が表示されます。

<<、**>>** にタップすることで分類のタブボタンを1ページずつ送ることができます。



各メニュー画面について

各キーを押すことで、さまざまな機能を使うことができます。

AVメニュー

[AV]キーを押して表示するAVメニューについて説明します。



① [P.Ant ON/OFF] ※1

パワーアンテナ装着車でアンテナを格納したいとき(車庫入れ時など)にOFFにするとアンテナを格納します。ONにすると“ACC ON”時にアンテナ電源端子から電源を供給します。

② [Audio ON/OFF] (→P60)

オーディオ機能のON/OFFが行えます。

③ [DISC] (→P66)

ディスクスロットに挿入された各メディアの再生を行います。

④ [SD/MusicFolder] (→P75)

SDカード内の音楽ファイルを再生できます。また、SDカードに音楽CDの曲を録音し、再生できます。

⑤ [RADIO] (→P64)

ラジオ機能をご利用になれます。

⑥ [Bluetooth® Audio] (→P96)

Bluetooth対応オーディオ機器が本機に無線接続されていれば、Bluetooth Audio機能をご利用になれます。

⑦ [Sound Settings] (→P35)

オーディオの音質に関する設定が行えます。

⑧ [iPod/USB] (→P86)

iPodが本機に接続されていれば、[iPod] ※2に変わり、タップするとiPod画面を表示します。USBデバイスが本機に接続されていれば、[USB]に変わり、タップするとUSB画面を表示します。

⑨ [TV] (→P92)

地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

⑩ [AUX] ※3

外部入力に接続された機器の映像表示、音声出力を行います。

⑪ [交通情報] (→P65)

交通情報機能をご利用になれます。

※1 表示するには、あらかじめ[パワーアンテナの設定]→[手動]にしておく必要があります。
→[パワーアンテナの設定](P153)

※2 iPod/iPhoneのUSBケーブル(Apple純正)が必要です。

※3 外部入出力ケーブルおよび外部入力機器を本機に接続していない場合でも[AUX]は表示されますが、タップしても映像は表示されません。

NAVIメニュー

[MENU]キーを押して表示するNAVIメニューについて説明します。



- ① **発話で操作** (→P106)
音声認識を開始できます。
- ② **ROUTE** (→P31)
目的地を設定すると、ROUTEメニューを表示できます。
画面をフリック(P27)/スライド(P28)しても切り換えることができます。
- ③ **ジャンル/周辺**
コンビニやガソリンスタンドなどの施設を分類および都道府県ごとに場所を探すことができます。
また、現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。
- ④ **施設名称**
施設の名称を入力し場所を探すことができます。
- ⑤ **DriveConnect** ※1、※2 (→P120)
特定のWEBサイトからお店などの情報を検索し、活用することができます。
- ⑥ **履歴**
検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点などは、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示できます。
- ⑦ **設定・編集** (→P151)
本機の各種設定や一部の編集操作が行えます。
- ⑧ **INFO** (→P32)
INFOメニューを表示します。
画面をフリック(P27)/スライド(P28)しても切り換えることができます。
- ⑨ **住所**
住所から場所を探すことができます。
- ⑩ **番号**
電話番号、郵便番号やMAPCODEを入力して施設や場所を探すことができます。
- ⑪ **自宅**
自宅を登録できます。(→P129) また、登録した自宅を目的地に設定できます。(→P117)
- ⑫ **登録地**
登録地を呼び出すことができます。
- ⑬ **特別登録地** (→P130)
よく行く場所や施設など特別な場所を登録することで、NAVIメニューからすぐに目的地を設定できます。
「特別登録地」のボタン名称は、登録した場所の名称または住所に変更されます。

※1 ご利用になるには、ユーザー登録が必要です。

※2 Wi-Fi接続可能な通信機器が必要です。

ROUTEメニュー

[MENU]キーを押し、画面を右へスライドして表示するROUTEメニューについて説明します。



- ① **複数ルート探索**
5つの探索条件のルートを一度に探索し、選ぶことができます。
- ② **回避ルート探索**
VICS規制、スマートIC、長期通行規制を回避するルートや別ルート、迂回するルートを探るときに使用します。
- ③ **経由地編集**
経由地の設定や消去など経由地の編集ができます。
- ④ **ルート詳細情報**
現在地から目的地/経由地/乗り降りするICまでの区間距離や到着予想時刻、料金や使用する道路の情報を確認できます。
- ⑤ **案内中断** / **案内再開**
ルート案内を中断または再開できます。
- ⑥ **次の経由地消去**
次に通過する予定の経由地を消去できます。
- ⑦ **設定・編集** (→P151)
本機の各種設定や一部の編集操作が行えます。
- ⑧ **NAVI** (→P30)
NAVIメニューを表示します。画面をフリック(P27)/スライド(P28)しても切り換えることができます。
- ⑨ **乗降IC指定**
ルート上に入口または出口のインターチェンジがある場合、利用したいインターチェンジを選ぶことができます。
- ⑩ **探索条件変更** (→P128)
ルートの探索条件を変更できます。
- ⑪ **全ルート表示** (→P127)
現在地から目的地までのルートを確認できる縮尺の地図を表示します。
- ⑫ **ルート消去** (→P128)
設定した目的地や経由地を削除し、ルートを消します。

INFOメニュー

[MENU]キーを押し、画面を左へスライドして表示するINFOメニューについて説明します。



- ① **NAVI** (→P30)
NAVIメニューを表示します。
画面をフリック(P27)/スライド(P28)しても切り換えることができます。
- ② **カメラ** *1 (→P146)
リアカメラが接続されている場合、カメラの映像を表示します。
- ③ **ETC** *2 (→P141)
ETC車載器またはETC2.0車載器が接続されている場合にETCを使用した履歴や料金を確認できます。
- ④ **バージョン** (→P150)
本機の各バージョンを確認できます。
- ⑤ **エコ** (→P139)
運転操作がどれくらい燃費に良いかの評価を確認できます。
- ⑥ **設定・編集** (→P151)
本機の各種設定や一部の編集操作が行えます。
- ⑦ **メンテナンス** (→P148)
お車の各パーツの交換時期を管理できます。

- ⑧ **電話** *3 (→P144)
携帯電話がBluetoothで本機に接続されている場合にハンズフリー機能をご利用いただけます。
- ⑨ **ニュースリーダー** *4 (→P142)
ニュース情報を表示、読み上げることができます。
- ⑩ **地図データ更新** *5
「開通道路情報」の地図データを更新できます。
- ⑪ **特別登録番号** *3
よくかける電話番号を登録することで、INFOメニューから直接、電話をかけることができます。
「特別登録番号」のボタン名称は、登録した名称に変更されます。

- ※1 別売のリアカメラが必要です。さらに別売の接続ケーブルも必要です。
- ※2 別売のETC車載器またはETC2.0車載器が必要です。さらに別売の接続ケーブルも必要です。
- ※3 Bluetooth接続ができる携帯電話が必要です。
- ※4 Wi-Fi接続可能な通信機器が必要です。
- ※5 更新を行うには、OpenInfoサービスへのユーザー登録が必要です。

マイメニュー

よく使う機能を自由にまとめておけるメニューです。現在地画面 (P99) から呼び出すことができます。

■ マイメニューから機能呼び出す

1 現在地画面から **マイメニュー** にタップする



2 呼び出したい“機能”にタップする



タップした機能呼び出します。

■ **マイメニューをカスタマイズする**
あらかじめ用意された一覧をカスタマイズします。マイメニューに登録できる機能については、「登録できる機能について」(P34) をご覧ください。

1 現在地画面から **マイメニュー** にタップする

マイメニューが開きます。

2 **設定** にタップする

3 設定したい場所の“リスト”にタップする



メニュー一覧が表示されます。

4 一覧から設定したい“メニュー”にタップする



タップしたリストの位置に選択したメニューが設定されます。

■ マイメニューを初期化する

1 現在地画面から **マイメニュー** にタップする

2 **設定** にタップする

3 **初期化** → **初期化する** にタップする

マイメニューの内容を初期化します。

■ 登録できる機能について

マイメニューには以下の機能から 10 件まで登録できます。

機能	タップ時の動作	参照
自宅	登録されている自宅への案内を開始します。	(P117)
	自宅が登録されていない場合は、自宅の登録画面を表示します。	(P129)
複数ルート探索	5つの探索条件のルートを一度に探索し、選ぶことができます。	(P126)
次の経由地消去	次に通過する予定の経由地を消去できます。	(P31)
ルート消去	作成した目的地や経由地を消去し、ルートを消します。	(P128)
VICS の設定	VICS に関する設定の変更が行えます。	(P151)
ルート残距離情報 (次の経由地 / 目的地) まで*	ルート設定時の現在地画面 (P100) で表示する「目的地 / 経由地情報」での距離の基準を変更できます。	(P151)
登録地名称 (表示する / 表示しない)	地図に表示する登録地名称について、表示有無を設定できます。	(P151)
一般道方面看板 (表示する / 表示しない)	一般道での交差点の手前で方面看板を表示するかしないかを設定できます。	(P151)
スマホ DE メモ地点名称 (表示する / 表示しない)	スマホ DE メモ (P122) で登録した地点の名称、アイコンを地図上に表示するかしないかを設定できます。	(P151)
周辺検索アシスト (使用する / 使用しない)	周辺検索アシストを使用するかしないかを設定できます。	(P153)
SD/MusicFolder**	音楽ファイルまたは動画ファイルが記録された SD カードを本機で再生したり、SD カードに音楽 CD の曲を録音し、再生したりすることができます。	(P75)
DISC**	音楽 CD (CD-DA/CD-TEXT) またはディスク内の音楽ファイルを再生できます。	(P66)
iPod/USB**	iPod の曲や USB デバイス内の音楽ファイルまたは動画ファイルを再生できます。	(P86)
TV**	TV をご覧になることができます。	(P92)
Bluetooth® Audio	市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器の曲を再生できます。	(P96)
RADIO**	FM 放送や AM 放送のラジオを聴くことができます。	(P64)
AUX	外部入力ケーブルおよび AUX 機器を本機に接続することで、映像や音声を本機に入力し、再生できます。	(P29)
交通情報	交通情報を聴くことができます。	(P65)
Audio (ON/OFF)	オーディオ機能の ON/OFF が行えます。	(P60)
Sound Settings	音質の設定を変更することができます。	(P35)
PremiDIA RealPosition の設定	最適な音を聴くシートを変更します。	(P47)
友達マップ (ON/OFF)**	友達マップの連携を自動的に行うか、「友達マップ全体表示」の [表示する] を選択したときのみ、連携を行うかを切り換えることができます。	(P152)
Bluetooth® の設定*	市販されている Bluetooth 機器を本機に接続できます。	(P153)
Wi-Fi® の設定*	市販されている Wi-Fi 機器 (スマートフォンの場合はテザリング可能な機器) を本機に接続できます。	(P153)
HUD 表示 (ON/OFF)	HUD 表示の ON/OFF が行えます。	(P152)
案内音・操作音の設定*	案内音量や操作音量の設定が行えます。	(P153)

「※」は、工場出荷時に設定されているメニューです。

AV

オーディオ機能に関する操作方法を説明します。

Sound Settings

AV

Sound Settings

初期設定

音質調整を行う前の準備を行います。
接続しているスピーカーのシステムやリスニングポジション、車の形状を設定します。
設定方法は「簡単プリセット」、「詳細車種設定」の2つがあります。

注意

- 初期設定が完了するまで音を出さないでください。スピーカー破損の原因となります。
- 初期設定を行うと、それまでに設定していたサウンドチューニングおよび初期設定の設定値が更新されます。

簡単プリセット

お知らせ

- 本機能は純正2スピーカー～6スピーカー、内蔵アンプ使用を想定しております。システムアップ・音質調整を行う場合は本機能を使用せず、「詳細車種設定」(P36)を行ってください。
- サブウーファープリアウトには対応しておりません。
- 外部アンプには対応しておりません。
- 本設定値は音質調整予測値です。必ずしも最適な音質調整データではありません。詳細な設定が必要な場合は、当社「CLUB DIATONE」に掲載している「おススメ音質調整店」にて音質調整を行ってください。音質調整費用(チューニング費用)は店舗・車種・システム内容等により異なりますので直接店舗へご相談ください。
- プレミアム認証を行うと本機能は使用できなくなります。

1 AVメニューを表示する (→P60)

2 **Sound Settings** にタップする
音質調整ができるSound Settings画面を表示します。

3 “初期設定”の **未設定** に
タップする
初期設定画面を表示します。

4 “車種選択”の **-----**
にタップする

5 **簡単プリセット** にタップする



6 該当する“車幅”にタップする



次のページにつづく

7 スピーカーのシステムにあった設定を行う



「システム構成図」(P39)を確認し、実際に取り付けているスピーカーシステムどおりの設定を行ってください。

8 「決定」にタップする

9 「設定完了」にタップする



10 「設定する」にタップする



初期設定が完了します。

以降はスピーカーのシステム構成が変わらなければ変更する必要はありません。

詳細車種設定

1 AVメニューを表示する (→P60)

2 「Sound Settings」にタップする 音質調整ができるSound Settings画面を表示します。

3 “初期設定”の「未設定」にタップする 初期設定画面を表示します。

4 スピーカーのシステムにあった設定を行う



「システム構成図」(P39)を確認し、実際に取り付けているスピーカーシステムどおりの設定を行ってください。設定内容については「設定できる項目について」(P38)をご覧ください。

5 “ハンドル位置”を設定する



ハンドル位置を選択してください。タイムアライメント設定の基準となるリスニングポジションになります。

6 “車種選択”の「-----」にタップする

7 「タイプで選ぶ」にタップする

8 車の形状を選択する



本機を接続している車に最も近い形状にタップします。

お知らせ

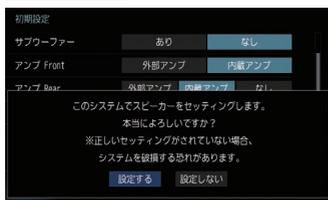
- [簡単プリセット]を選択しないでください。[簡単プリセット]で設定を行うと、それまでに設定していたサウンドチューニングおよび初期設定の設定値が更新されます。

9 決定 にタップする

10 設定完了 にタップする



11 設定する にタップする



初期設定が完了します。
以降はスピーカーのシステム構成が変わらなければ変更する必要はありません。

■ 設定できる項目について



設定名	設定値	設定内容
パッシブ2Way	あり	パッシブ2Wayタイムアライメント機能の有無を設定します。ツイーターを設置している場合は、[あり]を選択してください。
	なし	
サブウーファー	あり	サブウーファーの有無を設定します。サブウーファーを設置している場合は、[あり]を選択してください。
	なし	
アンプ Front ^{※1}	外部アンプ	フロントスピーカーまたはウーファーのアンプ構成を設定します。本機と、フロントスピーカーまたはウーファーの間に別売の外部アンプが設置されている場合は、[外部アンプ]を選択してください。
	内蔵アンプ	
アンプ Rear ^{※1}	外部アンプ	リアスピーカーまたはツイーターのアンプ構成を設定します。本機と、リアスピーカーまたはツイーターの間に別売の外部アンプが設置されている場合は、[外部アンプ]を選択してください。
	内蔵アンプ	
	なし	
外部アンプON/OFF時間/動作電圧 ^{※2}	ON : 1.0 ~ 1.5 ~ 3.0 秒	ACCをONにしたときやOFFにしたとき、外部アンプの電源がON/OFFになるまでの時間を0.1秒ごとに設定できます。本機と外部アンプを接続するとACCをON/OFFしたときに異音ができることがあります。異音ができる場合は、時間を調整してください。
	OFF : 0.3 ~ 0.5 ~ 2.0 秒	
	電圧値: 6.0 ~ 9.0 ~ 14.0V	
ハンドル位置	レフト	ハンドルの位置を選択してください。タイムアライメント設定の基準となるリスニングポジションになります。(フロントシートの右または左)
	ライト	
車種選択	タイプで選ぶ	車のタイプやスピーカーのシステムを設定するだけで、簡単に初期設定ができます。(→P36) (軽・コンパクト、ミニバン、セダン、SUV、ワゴン、1BOX)
	簡単プリセット	車幅やスピーカーのシステムを設定するだけで、簡単に初期設定ができます。(→P35)「詳細車種設定」では使用しません。
	車種を指定する	本機ではご使用になれません。
	設定しない	車種形状の情報を使用しません。Sound Settings画面では[- - -]と表示します。

※ 「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 外部アンプやプロセッサーを使用した場合、それらの機器のゲイン、遅延時間やフィルタ特性によっては、電話音声にエコーがついたり、聞き取りにくくなったりする場合があります。

※2 「詳細車種設定」(P36)で「サブウーファー」を[なし]に設定、「アンプ Front」を[内蔵アンプ]に設定、「アンプ Rear」を[内蔵アンプ]または[なし]に設定や「簡単プリセット」(P35)で設定した場合は選択できません。

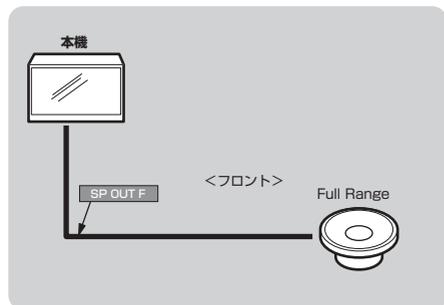
システム構成図

装着しているスピーカーのシステムを以下の表から探し、対象の構成図を確認してください。
「初期設定」(P35) で必要な設定値を確認できます。

システム	フロントスピーカー構成		サブウーファー 有無	外部アンプ有無		構成図 (ページ)	クロスオーバー 設定 (ページ)		
	フルレンジ	2Way		フロント	リア				
フロントのみ	●	-	-	-	-	A-1 (P40)	(P54)		
				●	-	A-2 (P40)	(P54)		
			●	-	B-1 (P40)	(P54)			
	-	●	-	-	-	E-1 (P43)	(P55)		
				●	-	E-2 (P43)	(P55)		
			●	-	F-1 (P43)	(P55)			
フロント+リア	●	-	-	-	-	C-1 (P41)	(P54)		
				●	●	C-2 (P41)	(P54)		
				●	●	C-3 (P41)	(P54)		
			●	-	-	-	-	D-1 (P42)	(P54)
						●	●	D-2 (P42)	(P54)
					●	●	D-3 (P42)	(P54)	
	-	●	-	-	-	-	G-1 (P44)	(P55)	
					●	●	G-2 (P44)	(P55)	
				●	●	G-3 (P44)	(P55)		
			●	-	-	-	-	H-1 (P45)	(P55)
						●	-	H-2 (P45)	(P55)
					●	●	H-3 (P45)	(P55)	

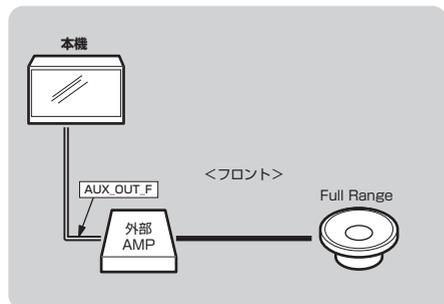
フロントフルレンジ

構成 A-1



パッシブ 2Way	なし
サブウーファー	なし
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	なし

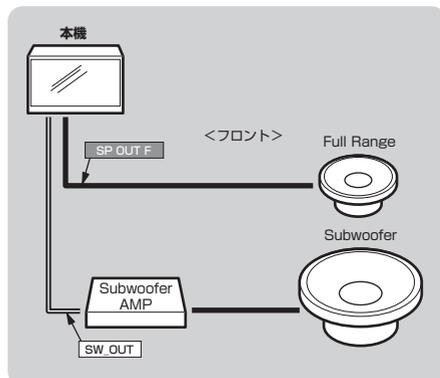
構成 A-2



パッシブ 2Way	なし
サブウーファー	なし
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	なし

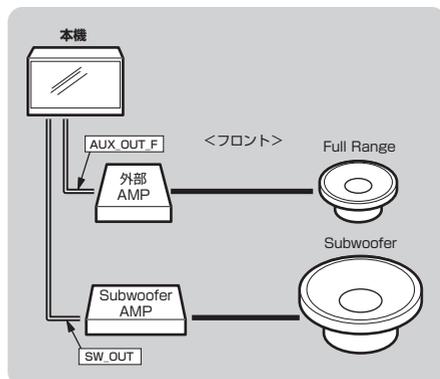
フロントフルレンジ+サブウーファー

構成 B-1



パッシブ 2Way	なし
サブウーファー	あり
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	なし

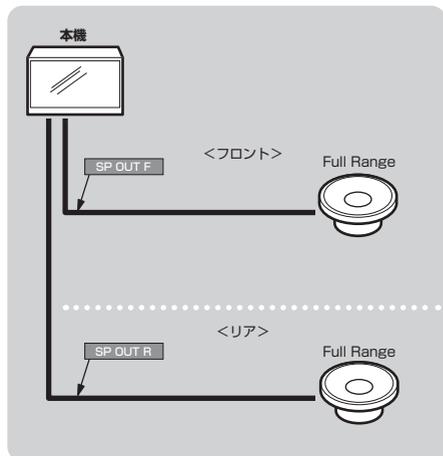
構成 B-2



パッシブ 2Way	なし
サブウーファー	あり
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	なし

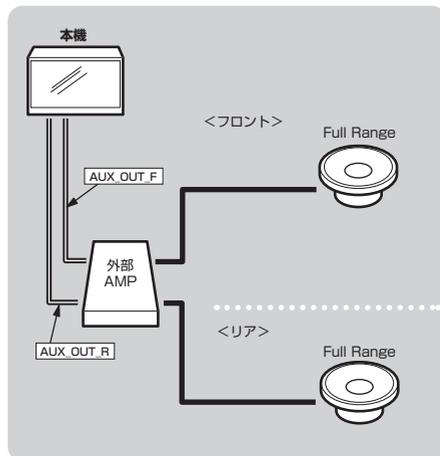
フロントフルレンジ+リア

構成 C-1



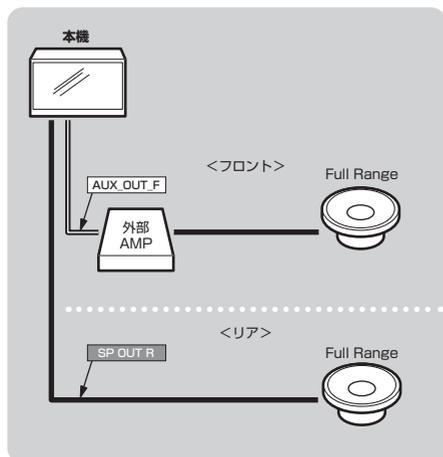
パッシブ2Way	なし
サブウーファー	なし
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

構成 C-3



パッシブ2Way	なし
サブウーファー	なし
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	外部アンプ

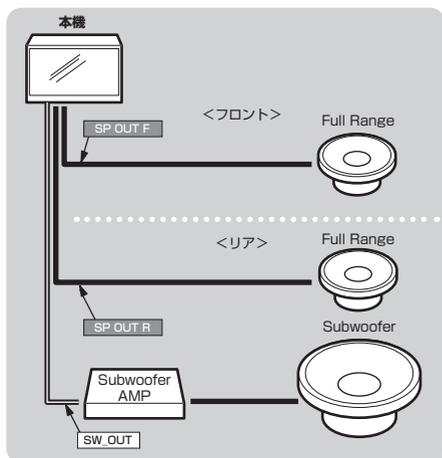
構成 C-2



パッシブ2Way	なし
サブウーファー	なし
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

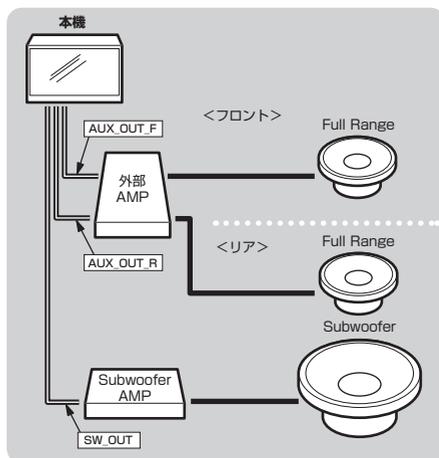
フロントフルレンジ+リア+サブウーファー

構成D-1



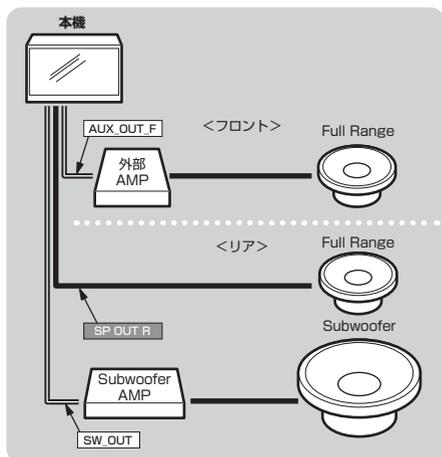
パッシブ2Way	なし
サブウーファー	あり
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

構成D-3



パッシブ2Way	なし
サブウーファー	あり
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	外部アンプ

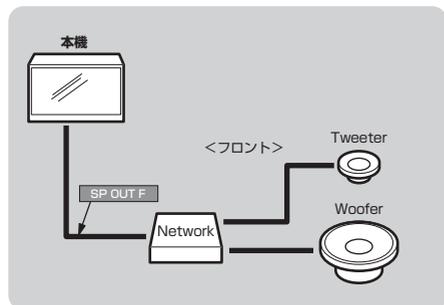
構成D-2



パッシブ2Way	なし
サブウーファー	あり
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

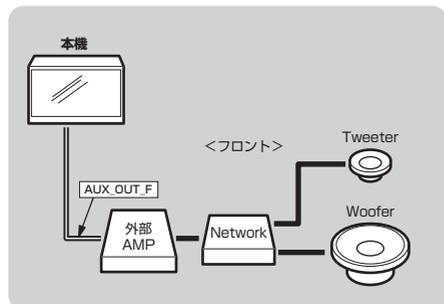
フロント2Way

構成 E-1



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	なし
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	なし

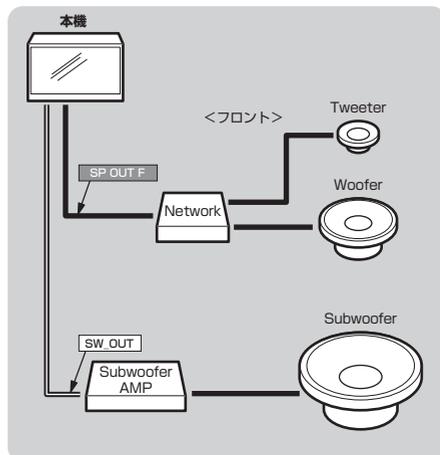
構成 E-2



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	なし
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	なし

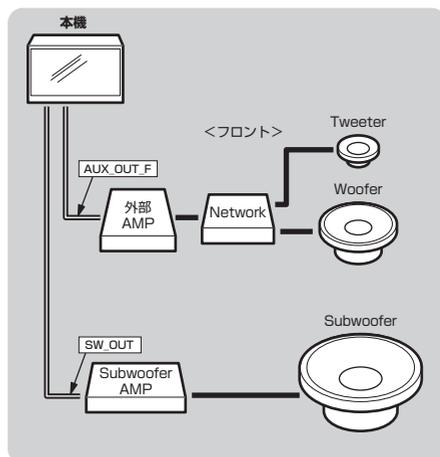
フロント2Way + サブウーファー

構成 F-1



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	あり
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	なし

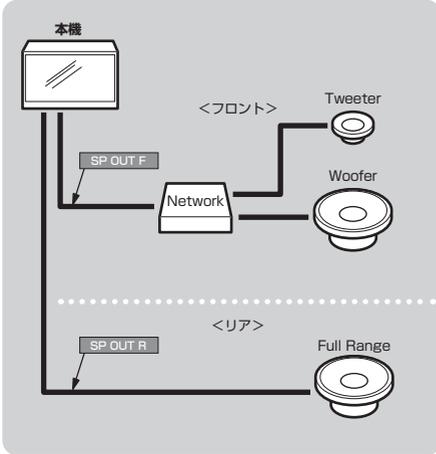
構成 F-2



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	あり
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	なし

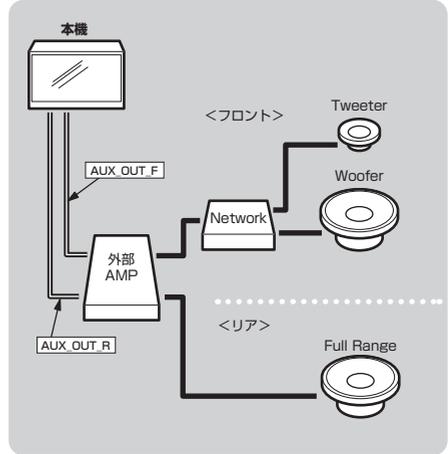
フロント2Way +リア

構成 G-1



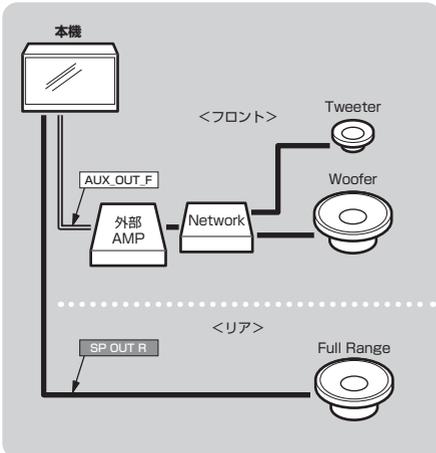
パッシブ2Way	あり
サブウーファー	なし
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

構成 G-3



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	なし
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	外部アンプ

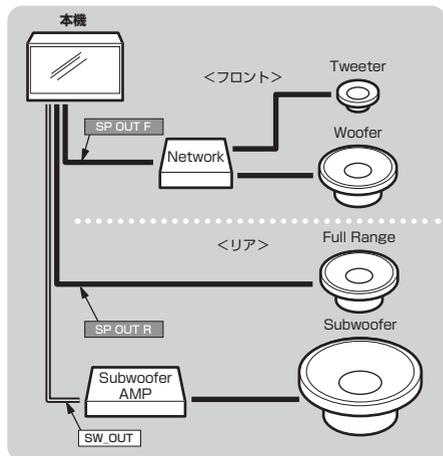
構成 G-2



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	なし
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

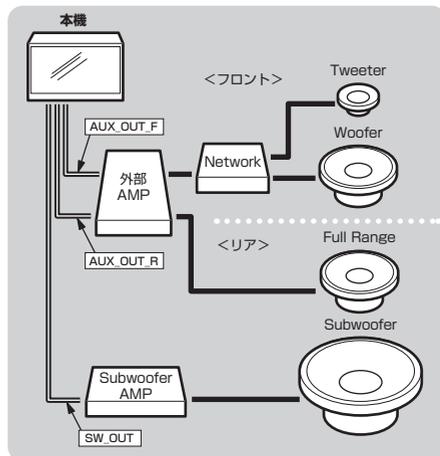
フロント2Way+リア+サブウーファー

構成H-1



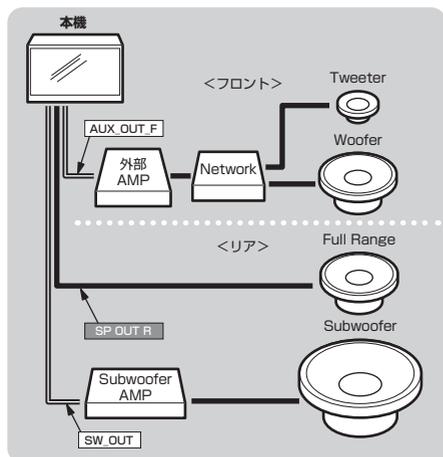
パッシブ2Way	あり
サブウーファー	あり
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

構成H-3



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	あり
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	外部アンプ

構成H-2



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	あり
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

音質の設定を変更する

AVメニュー (P60) → [Sound Settings] にタップすると表示する Sound Settings 画面で以下の設定が変更できます。

お知らせ

- Audio ON で「音質効果 ON/OFF 設定」が [ON] の状態で設定してください。
- オーディオ再生時、Sound Settings 画面に切り換わるときと元の画面に戻るときに音質設定の変更を準備するため、一時的に音声が消音 (ミュート) 状態になりますが故障ではありません。
- Sound Settings 中とそれ以外の再生状態では演算方式が異なるため、Sound Settings を抜けると音質が変化 (向上) します。
詳細はアジャスタブル FIR グラフィックイコライザー (P161) をご覧ください。
Sound Settings 中の FIR 方式の音質確認は IIR/FIR 切替を使用してください。
(→P53,54,55,56)

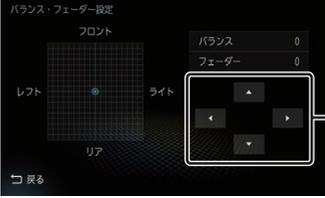
■ 設定できる項目について



設定名	設定値	設定内容	
イコライザー	ポップス	「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。 また、10バンドの周波数に対する調整が行えます。(→P58)	
	ロック		
	ジャズ		
	R & B		
	フラット		
	カスタム 1		イコライザー調整画面で登録したイコライザー設定を呼び出します。
	カスタム 2		
調整	イコライザー調整画面に切り換わります。調整後、[カスタム 1] または [カスタム 2] に登録できます。		
トーンコントロール	バス： -6 ~ 0 ~ +6dB	低音域 (100Hz以下) や高音域 (10kHz以上) の音量を 1dB ごとに強調/減衰させることができます。	
	トレブル： -6 ~ 0 ~ +6dB		
			

※ 「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

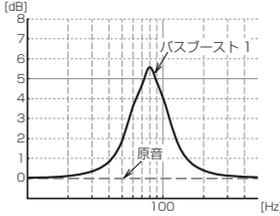
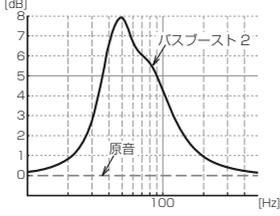
設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
バランス・フェーダー	バランス： 1～9 (レフト) 0 1～9 (ライト)	各スピーカーから出力する左右・前後のレベルをカーソルボタンまたは直接タップして調節できます。 
	フェーダー： 1～9 (フロント) 0 1～9 (リア)	
ラウドネス	OFF	小音量時に不足しがちな低音・高音を増幅できます。
	1	
	2	
PremiDIA RealPosition	オール	最適な音を聴くシートを変更します。 
	フロント	
	フロントL	
	フロントR	
	定位バランス -5～0～5	フロント、リアの中音域の周波数特性を調整できます。マイナス方向に補正すると音像が車両外側（窓側）に移動し、プラス方向に補正すると音像が車両中央側に移動します。[オール]または[フロント]設定時に調整が可能となります。
サラウンド設定	Standard Surround	DIATONE 独自のサラウンド処理を行わず再生します。DVDの5.1ch音源をフロント、リアの4chにダウンミックス再生し、リアスピーカーが無いシステムの場合は、2chにダウンミックスして再生します。また、CD、TV、ラジオ、SD、USBなどは2chで再生します。
	PremiDIA Surround	選択すると「Pure Extend Wide Surround」、「DIATONE SURROUND」の設定ができます。PremiDIA Surround設定は、DIATONE独自のサラウンド処理を付加して、サラウンド効果を高めます。2ch音声ソースの場合に「Pure Extend Wide Surround」が、5.1ch音声ソースの場合に「DIATONE SURROUND」が設定できます。
	Pure Extend Wide Surround for 2ch レベル 1～10	[PremiDIA Surround]を選択すると設定できます。フロントスピーカー（2ch）だけでCDなどのステレオ音源に高音質で自然な立体感のある音の広がりを与えます。（→P51）2ch音声再生時に調整が可能となります。
	DIATONE SURROUND for マルチch レベル 1～10	[PremiDIA Surround]を選択すると設定できます。フロント（2ch）およびフロント/リア（4ch）のスピーカーだけで5.1chのサラウンド音響を再現できます。（→P51）DVDの5.1ch音声再生時に調整が可能となります。
	リアミュートON/OFF	リアスピーカーの音がミュートになります。再度、タップするとミュートが解除されます。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

次のページにつづく

設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
DVD 音声モード切替	オート	DVD 再生時、音源のフォーマットに応じて2ch 信号処理とマルチ ch 信号処理が自動で切り替わります。その際に発生する音声の頭切れを防止するため2ch またはマルチ ch の固定モードが設定できます。
	マルチ ch	
	2ch	
DRC 設定	ON	DVD 再生時の DRC (ダイナミックレンジ圧縮) を設定できます。ディスクを取り出した状態にして設定してください。
	OFF	
DIATONE Volume	OFF	オーディオソース間や楽曲内の音量の差を自動的に軽減できます。数字が大きいくほど軽減する補正値が大きくなります。
	1	
	2	
車速連動 VOL 調整	OFF	車の速度に応じて音量が自動的に調節されます。数字が大きくなるほど調節幅が大きくなります。
	1	
	2	
	3	
PremiDIA HD	OFF	音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報を予測補完しオリジナル音声を持つ立体感、奥行き感を再現するための補正量を調節できます。
	1	
	2	
PremiDIA HD 補正対象	全体	すべてのオーディオソースを対象に PremiDIA HD の補正を行います。(DVD の 5.1 ch 音声は除く)
	オート	補正対象： MusicFolder、音楽ファイル、iPod、TV、AUX、Bluetooth Audio を対象に PremiDIA HD の補正を行います。 補正対象外： 音楽 CD、ラジオ (FM/AM)、交通情報、DVD-Video、DVD-VR は本設定の対象外となります。
バスブースト	OFF	バスブーストを使用しません。
	1	低音域を図のように強調補正します。 
	2	低音域を図のように強調補正します。 

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
PremiDIA Bass	OFF	時間軸方向の低音の残響時間を調整できます。(→P59)
	ON : 0 ~ 10	[ON]にすると低音の量感、厚みを増強できます。 フロント/リアでの個別の設定ができます。
PremiDIA VBL	OFF	自動で低音をカットする補正値を設定できます。(→P59)
	ON : 1 ~ 20	[ON]にすると大音量時の低音をカットし、大音量時特有の音の歪みを軽減させることができます。
Pure Audio Mode	ON	[ON]に設定するとTVを視聴していないときにTVチューナの電源がOFFになります。TVチューナの電源をOFFにすることでより高音質な音楽再生ができます。
	OFF	ただし、TVに切り換えた際のTV番組情報の表示が遅くなります(約5秒)。
音質効果 ON/OFF 設定	ON	音質調整を行う前と後を比較したいときに使用します。[OFF]にすると初期設定を除く音質調整内容を一時的に無効にします。(調整した内容が消えることはありません。)
	OFF	このとき、一部の音質設定項目は選択できないようになります。「バランス・フェーダー」、「DVD音声モード切替」、「DRC設定」、「Pure Audio Mode」は選択できます。
サウンドチューニング ^{※1 ※2}	TA/X'oを調整する	「タイムアライメント設定」や「クロスオーバー設定」が設定できます。(→P51)
サウンドチューニング設定選択	1	サウンドチューニングで登録した「User1」、「User2」に切り換えられます。
	2	
プレミアム認証	未認証	同梱のTuning Bridgeカードを使用してプレミアム認証を行います。プレミアム認証を行うことで、Sound Settingsを“プレミアムモード”でご使用になれます。通常の“スタンダードモード”でご使用の場合、本操作は必要ありません。
	認証済み	プレミアム認証が完了していることを示します。
	再認証	プレミアム認証完了後、Tuning Bridgeカードが抜かれた状態で、ACCをOFF→ONにするとこの表示になります。
初期設定 ^{※1}	未設定	オーディオの音質調整に必要な初期設定を行うことができます。(→P35)オーディオ機能がOFFの状態(P60)で行ってください。
	設定済み	[未設定]になっている場合は必ず行ってください。
音質設定の初期化	音質設定を初期化する	Sound Settingsの設定内容をすべて工場出荷時の状態に戻します。オーディオ機能がOFFの状態(P60)で行ってください。

※ 「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 “プレミアムモード”の場合、「プレミアム認証」が[再認証]のときは選択できません。

※2 「PremiDIA RealPosition」と「詳細車種設定」(P36)の「ハンドル位置」が同じシートでなければ選択できません。

音質効果OFF設定について

「音質効果 ON/OFF 設定」を [OFF] にすると、設定が以下のとおりに変わります。
[ON] にすると、元の設定に戻ります。

設定名	設定値	設定名	設定値
イコライザー	フラット	PremiDIA HD	OFF
トーンコントロール	バス：0dB	PremiDIA HD補正対象	-
	トレブル：0dB	バスブースト	OFF
ラウドネス	OFF	PremiDIA Bass	OFF
PremiDIA RealPosition	オール	PremiDIA VBL	OFF
サラウンド設定	OFF	サウンドチューニング (タイムアライメント設定)	全スピーカー： 0.00cm
DIATONE Volume	OFF	サウンドチューニング (クロスオーバー設定)	初期値
車速連動VOL調整	OFF	サウンドチューニング 設定選択	-

サラウンド設定

「Pure Extend Wide Surround」や「DIATONE SURROUND」の設定ができます。2ch音声ソースの場合は「Pure Extend Wide Surround」に、5.1ch音声ソースの場合は「DIATONE SURROUND」に自動で切り換わります。

Pure Extend Wide Surround

フロントスピーカー（2ch）だけでCDなどのステレオ音源に高音質で自然な立体感のある音の広がりを与えます。レベルを10方向へ補正すると音の広がりが大きくなります。2ch音声再生時に調整が可能となります。

DIATONE SURROUND

フロント（2ch）およびフロント/リア（4ch）のスピーカーだけで5.1chのサラウンド音響を再現できます。レベルを10方向へ補正すると5.1chのサラウンド効果が大きくなります。DVDの5.1ch音声再生時に調整が可能となります。

1 Sound Settingsの画面で「サラウンド設定」の項目にタップする
サラウンド設定画面を表示します。

2 「PremiDIA Surround」にタップする



3 左右のカーソルボタンでレベルを調整する



4 「戻る」にタップする

サラウンド設定が完了します。

アドバイス

- [リアミュートOFF]にタップすると、リアスピーカーの音がミュートになります。再度、タップするとミュートが解除されます。

サウンドチューニング

「タイムアライメント設定」や「クロスオーバー設定」が設定できます。

お知らせ

- 「初期設定」(P35)の「ハンドル位置」と「PremiDIA RealPosition」が同じシートでなければ本機能は使用できません。「音質効果ON/OFF設定」が[OFF]のときも使用できません。

1 Sound Settingsの画面で「サウンドチューニング」の「TA/X_oを調整する」にタップする



タイムアライメント設定画面(→P53)

2 画面を左にスライドする

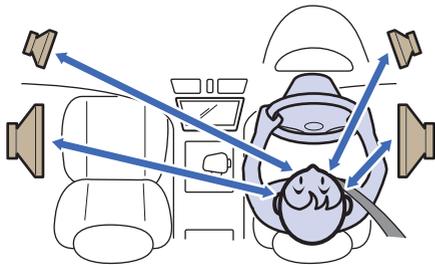


クロスオーバー設定画面(→P54)

3 画面を右にスライドする

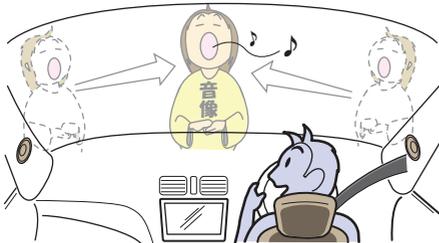
タイムアライメント設定画面に戻ります。

タイムアライメントについて



車の中では、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離がそれぞれ違うため、楽曲が本来持つ音像や音場が再現できていません。

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を本機に入力することで、リスニングポジションまでの音の到達時間を補正できます。



その結果、音が同時にリスニングポジションへ到達するようになり、音像や音場がより再現できるようになります。

→「タイムアライメント設定」(P53)

マルチウェイ・タイムアライメント

タイムアライメントを行うには、スピーカーユニットごとにパワーアンプを装備したマルチチャンネルシステムにする必要がありました。当社が開発した独自の引き算型 FIR デジタルネットワークアルゴリズムを搭載することにより、パッシブネットワークを使用したマルチウェイスピーカーシステムでも特性を乱さずに各スピーカーを独立かつ任意に時間補正することを実現しました。

2chのパワーアンプ1台でシステム構築ができることにより、高域から低域までのすべての音域を同一のパワーアンプがカバーするので、音色に統一感が得られます。

クロスオーバーについて

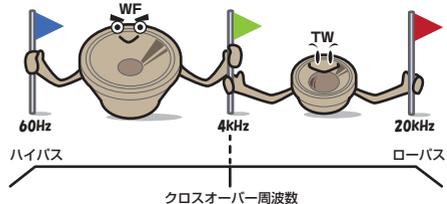


ツイーターやウーファーなどスピーカーにはそれぞれ再生可能な周波数帯域というものがあります。



しかし、再生可能な帯域であっても周波数が高すぎたり低すぎたりすると音の歪みや濁りが発生します。

クロスオーバー設定では、各スピーカーの特性(得意とする部分)を活かした再生周波数帯域に調整できます。



その結果、各スピーカーが余裕を持って動作するようになり、音の歪みや濁りを無くし、より音質を高めることができます。

→「クロスオーバー設定」(P54)

注意

- 各スピーカーの仕様(再生周波数帯域)を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。



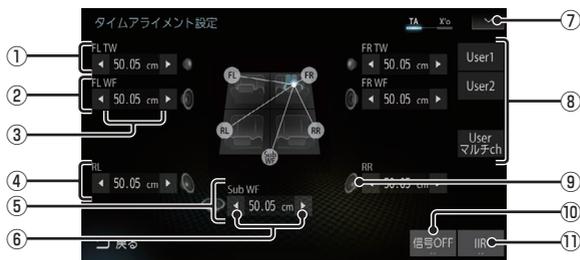
■ タイムアライメント設定

スピーカーユニットの中心から顔の中心までの直線距離をメジャーで直接測り、その距離を目安として入力してください。

また、一番遠いスピーカーユニットから他のスピーカーユニットの距離を引いた距離を入力することも同様に設定できます。スピーカーユニットの位置をすべて一番遠いスピーカーユニットと同じ距離にするイメージです。

お知らせ

- ・「初期設定」(P35)の「車種選択」で選んだ形状の値があらかじめ目安として入力されています。「車種選択」が「— — — —」の場合はすべての距離が「50.05cm」となります。



※ 画面例はフロント2Way + リア + サブウーファー装着状態です。

※ 初期設定 (P35) で、設定されていないスピーカーは選択できません。

① フロントツイーター

② フロントウーファー

③ 〇.〇〇cm

リスニングポジションまでの距離を示します。
サブウーファー以外：0.00 ~ 192.5cm
サブウーファーのみ：0.00 ~ 338.8cm

④ リアスピーカー

⑤ サブウーファー

⑥ ◀, ▶

タップすると、スピーカーの距離を変更できます。(0.77cm/1step)

⑦ ▼ (→P57)

タップすると、サブメニューを表示します。

⑧ [User 1], [User 2], [User マルチch]

タップすると、前回登録したタイムアライメント設定を呼び出します。ロングタップ (P27) すると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User 〇] に登録することをおすすめします。

⑨ スピーカーイラスト

タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

⑩ [信号OFF] / [信号ON] (→P57)

タップするたびに、[信号ON] → [信号OFF] → [信号ON] と切り換わります。信号は、タイムアライメント設定用のテスト信号です。

⑪ [IIR] / [FIR] ※1

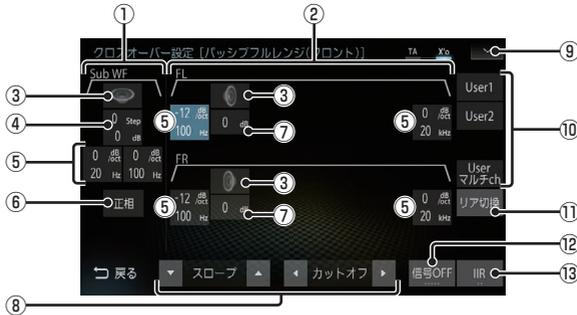
タップするたびに、IIR フィルターと FIR フィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

※1 FIR フィルターに切り換えると、タイムアライメントの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIR フィルターに切り換えてから行ってください。

■ クロスオーバー設定

アジャスタブルFIRクロスオーバーネットワークの設定を行います。
システム構成によって画面が異なります。

フロント (パッシブ フルレンジ)



※ 「システム構成図」(P39)のA-1、A-2、B-1、B-2、C-1、C-2、C-3、D-1、D-2、D-3のときに表示される画面です。

① サブウーファースの情報は

② フルレンジの情報は

③ スピーカーイラスト

タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

④ Step dB

選択すると、サブウーファースのローブースト(P162)とゲイン(0.5dB/1step)をファンクションボタンで調整できます。(上:ローブースト,下:ゲイン)

⑤ dB/oct Hz

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。(上:スロープ,下:カットオフ周波数)

⑥ 正相, 逆相

タップするたびに、サブウーファースの正相と逆相を切り換えることができます。

⑦ 0dB

選択すると、そのスピーカースのゲインをファンクションボタンで調整できます。(0.2dB/1step)

⑧ ファンクションボタン

選択状態によって以下の調整が行えます。

: ゲインの調整

: ローブーストの調整

: スロープの調整

: カットオフ周波数の調整

⑨ (→P57)

タップすると、サブメニューを表示します。

⑩ , ,

タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップ(P27)すると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○]に登録することをおすすめします。

⑪

リアスピーカース側の設定画面を表示します。

⑫ (→P57)

タップするたびに[信号1]→[信号2]→[信号3]→[信号4]→[信号OFF]→[信号1]と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。

⑬ / ※1

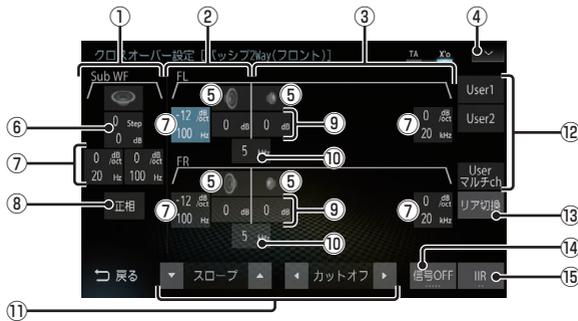
タップするたびに、IIRフィルターとFIRフィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

注意

- 各スピーカースの仕様(再生周波数帯域)を超えた設定を行うと、スピーカース破損の原因となります。必ず各スピーカースの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

※1 FIRフィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIRフィルターに切り換えてから行ってください。

フロント (パッシブ 2Way)



※ [システム構成図] (P39) の E-1, E-2, F-1, F-2, G-1, G-2, G-3, H-1, H-2, H-3 のときに表示される画面です。

① サブウーファースの情報

② ウーファースの情報

③ ツィーターの情報

④ ▼ (→P57)

タップすると、サブメニューを表示します。

⑤ スピーカーイラスト

タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

⑥ Step OdB

選択すると、サブウーファースのローブースト (P162) とゲイン (0.5dB/1step) をファンクションボタンで調整できます。(上:ローブースト, 下:ゲイン)

⑦ dB/oct Hz

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。(上:スロープ, 下:カットオフ周波数)

⑧ 正相, 逆相

タップするたびに、サブウーファースの正相と逆相を切り換えることができます。

⑨ dB

選択すると、そのスピーカースのゲインをファンクションボタンで調整できます。(0.2dB/1step)

⑩ kHz

選択すると、各スピーカース間のクロスオーバー周波数をファンクションボタンで調整できます。

⑪ ファンクションボタン

選択状態によって以下の調整が行えます。

▼ゲイン▲ : ゲインの調整

◀ローブースト▶ : ローブーストの調整

▼スロープ▲ : スロープの調整

◀カットオフ▶ : カットオフ周波数の調整

◀クロス▶ : クロスオーバー周波数の調整

⑫ User1, User2, Userマルチch

タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップ (P27) すると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○] に登録することをおすすめします。

⑬ リア切換

リアスピーカース側の設定画面を表示します。

⑭ 信号○ (→P57)

タップするたびに [信号1] → [信号2] → [信号3] → [信号4] → [信号OFF] → [信号1] と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。

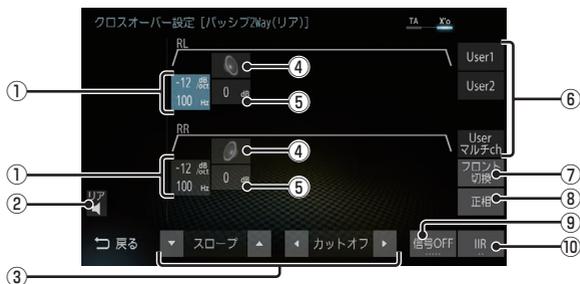
⑮ IIR / FIR ※1

タップするたびに、IIR フィルターと FIR フィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

注意

- 各スピーカースの仕様 (再生周波数帯域) を超えた設定を行うと、スピーカース破損の原因となります。必ず各スピーカースの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

※1 FIR フィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIR フィルターに切り換えてから行ってください。



※ 画面例はフロント2Way + リア装着状態です。

① **○.○dB/oct ○.○Hz**

ハイパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。(上:スロープ,下:カットオフ周波数)

② **リニア**

タップするとリアスピーカーがミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

③ **ファンクションボタン**

選択状態によって以下の調整が行えます。

▼ゲイン▲ : ゲインの調整

▼スロープ▲ : スロープの調整

◀カットオフ▶ : カットオフ周波数の調整

④ **スピーカーイラスト**

タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

⑤ **○.○dB**

選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションボタンで調整できます。(0.5dB/1step)

⑥ **User1** , **User2** , **Userマルチch**

タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップ (P27) すると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○]に登録することをおすすめします。

⑦ **フロント切換**

フロントスピーカー側の設定画面を表示します。

⑧ **正相** , **逆相**

タップするたびに、正相と逆相を切り換えることができます。

⑨ **信号○** (→P57)

タップするたびに [信号1] → [信号2] → [信号3] → [信号4] → [信号OFF] → [信号1] と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。

⑩ **IIR** / **FIR** ^{※1}

タップするたびに、IIR フィルターと FIR フィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

※1 FIR フィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIR フィルターに切り換えてから行ってください。

■ タイムアライメント設定のサブメニュー

タイムアライメント設定画面で [v] にタップして表示するサブメニューについて説明します。



2chからマルチchにコピー	2chの設定内容を [User マルチch] にコピーします。
[^]	サブメニューを閉じます。

■ クロスオーバー設定のサブメニュー

クロスオーバー設定画面で [v] にタップして表示するサブメニューについて説明します。

フロント



FLからFRにコピー	左側の設定内容を右側にコピーします。
FRからFLにコピー	右側の設定内容を左側にコピーします。
2chからマルチchにコピー	2chの設定内容を [User マルチch] にコピーします。
[^]	サブメニューを閉じます。

■ テスト信号について

タイムアライメント、クロスオーバー設定に使用するテスト信号について説明します。

タイムアライメント

タイムアライメント設定画面で [信号 OFF] にタップすると、[信号 ON] に変わりテスト信号が出力されます。

タップするたびに [信号 ON] → [信号 OFF] → [信号 ON] と切り換わります。テスト信号は低音の定位調整用です。周期的に「ポン、ポン」という音が出力されます。この音を聴きながらタイムアライメントの値を微調整することで、低音の定位位置やサブウーファースの音調整をスムーズに行うことができます。

クロスオーバー

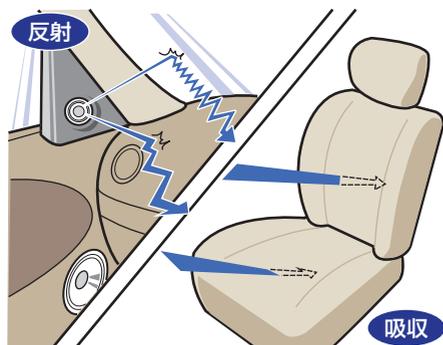
クロスオーバー設定画面で [信号 OFF] にタップすると、[信号 1] に変わりテスト信号が出力されます。タップするたびに [信号 1] → [信号 2] → [信号 3] → [信号 4] → [信号 OFF] → [信号 1] と切り換わります。テスト信号はピンクノイズが出力されます。

[信号 1]	FL+FRのみ出力されます。
[信号 2]	FR+RRのみ出力されます。
[信号 3]	RL+RRのみ出力されます。
[信号 4]	FL+RLのみ出力されます。

イコライザー設定

「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。また、音響特性の乱れやくせを調整し、補正できるアジャスタブルFIRグラフィックイコライザーの調整を行います。

イコライザー調整について



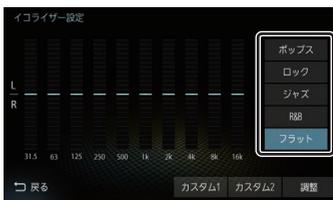
ガラスやダッシュボード、シートなどの影響で車の中は、音の反射や吸収が複雑に入り交じり音響特性が乱れがちです。



そんな乱れた音響特性をイコライザー調整することで補正できます。その結果、本機やスピーカーが本来持っているクオリティーをさらに引き出すことができます。

■ ジャンルを選ぶ

- 1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタップする
- 2 好みの“ジャンル”にタップする

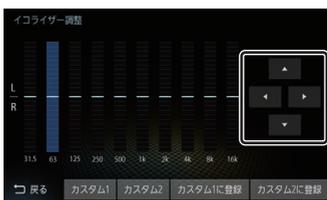


イコライザーの選択が完了します。

■ イコライザーを調整する

本調整はフロントスピーカーとリアスピーカーを同時に調整します。

- 1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタップする
- 2 調整のためのベースにしたい“ジャンル”にタップする
- 3 **調整** にタップする
- 4 カーソルボタンで各周波数のレベルを調整する



- 5 **カスタム1に登録** または、**カスタム2に登録** にタップする

[カスタム1]または、[カスタム2]に調整したイコライザー情報を登録します。

アドバイス

- 手順4で画面にタップすることでも直接変更できます。
- 手順5で[カスタム○に登録]を行わず[戻る]にタップした場合、変更内容は破棄されます。

PremiDIA Bass

時間軸方向の低音の残響時間を調整できます。この設定を行うと低音の量感、厚みを増強できます。フロント/リアでの個別の設定ができます。

1 Sound Settingsの画面で「PremiDIA Bass」の項目にタップする

PremiDIA Bass 設定画面を表示します。

2 フロントまたはリアの [ON] にタップする

3 左右カーソルボタンでレベルを調整する



レベルを 10 方向へ補正すると低音の量感、厚みを増強できます。

4 [戻る] にタップする

▼
PremiDIA Bass の設定が完了します。

アドバイス

- PremiDIA Bass を使用しない場合は、[OFF] にタップします。

PremiDIA VBL

自動で低音をカットする補正値を設定できます。この設定を行うと、大音量時の低音をカットし、大音量時特有の音の歪みを軽減させることができます。

1 Sound Settingsの画面で「PremiDIA VBL」の項目にタップする

PremiDIA VBL 設定画面を表示します。

2 [ON] にタップする

3 左右カーソルボタンでレベルを調整する



レベルを 20 方向へ補正するとより低音を抑えることができます。

4 [戻る] にタップする

▼
PremiDIA VBL の設定が完了します。

アドバイス

- PremiDIA VBL を使用しない場合は、[OFF] にタップします。

オーディオ機能について

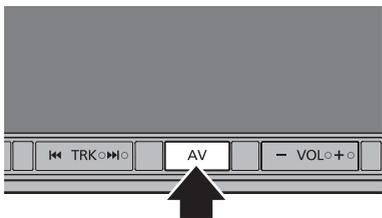
基本操作

お知らせ

- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。

AVメニューを表示する

1 AV キーを押す



AVメニューまたはAV再生画面を表示します。
AV再生画面が表示された場合は、手順2へ進みます。

2 再度、AV キーを押す



AVメニューを表示します。

アドバイス

- AV再生画面が表示されているとき、[AV Source]にタップすると、AVメニューを表示します。

オーディオをON/OFFする

オーディオ機能のON/OFFが行えます。

アドバイス

- 下記の操作でも、オーディオ機能のON/OFFを行うことができます。
 - [AV]キーを押し続ける。
 - 別売のドライビングリモコンの[AV on/off]キーを押す。

■ オーディオ機能がONのとき

1 AVメニューを表示する (→P60)

2 Audio ON/OFF にタップする



オーディオ機能がOFFになります。

■ オーディオ機能がOFFのとき

1 AVメニューを表示する (→P60)

2 Audio ON/OFF にタップする



オーディオ機能がONになります。

再生できるディスクの種類について

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。

種類	備考
DVDビデオ 	<ul style="list-style-type: none"> リージョン番号に「2」を含むもの。または、「ALL」。 NTSC方式で記録されたもの。
DVD+R/RW DVD-R/RW	<ul style="list-style-type: none"> CPRM/2層ディスクを含む DVD VIDEO/DVD-VRフォーマット規格で記録されたディスク MP3/WMA/AAC/WAVファイルが記録されたディスク
CD-DA 	—
CD-TEXT 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語以外の言語には対応しておりません。ウムラウト記号「Ää」など記号のついた文字には対応しておりません。
CD-R/RW 	<ul style="list-style-type: none"> MP3/WMA/AAC/WAVファイルが記録されたディスク

注意

- 8cm ディスクやアダプターを取り付けたディスクは使用できません。

■ CD 規格外ディスクについて

本機では音楽CDをお楽しみいただけますが、CDの規格について以下の点にご注意ください。

- ディスクレーベル面に  の入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。

音楽ファイルについて

再生できる音楽ファイル形式

本機ではディスク*1 やUSBデバイス、SDカードに記録された以下の音楽ファイルを再生できます。

- MP3
- WMA
- AAC
- WAV*2
- FLAC*3

*1 「再生できるディスクの種類について」(P61)をご覧ください。

*2 ディスクに書き込んだWAV形式の音楽ファイルはサンプリング周波数、ビット数によっては再生時に音飛びが発生することがあります。

*3 ディスクに書き込んだFLAC形式の音楽ファイルは再生できません。

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので上記形式の音楽ファイルをメディアに書き込む(コピーする)前に以下の内容をよくお読みください。

また、お手持ちのディスクドライブやライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。

音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

注意

- 音楽CDから書き込んだ(コピーした)ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- 拡張子(「.mp3」など)を異なったファイル形式のファイルに付けしないでください。そのようなファイルが書き込まれたメディアを再生すると誤認識して再生する可能性があるため、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

お知らせ

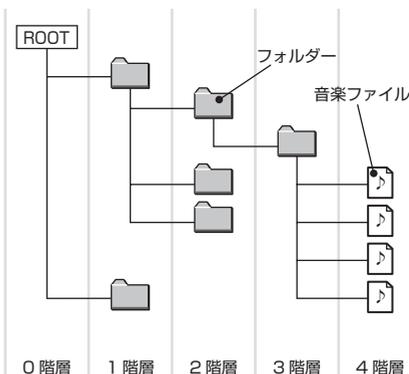
- WAVファイルおよびFLACファイルは24bit/192kHzまで再生可能です。

アドバイス

- 音楽ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子(「.mp3」など)を付けてからメディアに書き込んで(コピーして)ください。
- 2GBを超えるサイズのファイルは再生できません。
- 複数の形式の音楽ファイルが混在したメディアも再生できます。

フォルダーの構成について

フォルダーは8階層まで認識できます。ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック(再生可能な形式の音楽ファイル)といった階層を作成して曲を管理できます。



お知らせ

- 本機で表示されるフォルダーおよびファイルの順番はPCで表示される順番と異なる場合があります。

動画ファイルについて

再生できる動画ファイル形式

本機ではUSBデバイスやSDカードに記録された以下の動画ファイルを再生できます。

- MP4

- AVI 1.0/2.0 (DivXは除く)

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので上記形式の動画ファイルをメディアに書き込む(コピーする)前に以下の内容をよくお読みください。

注意

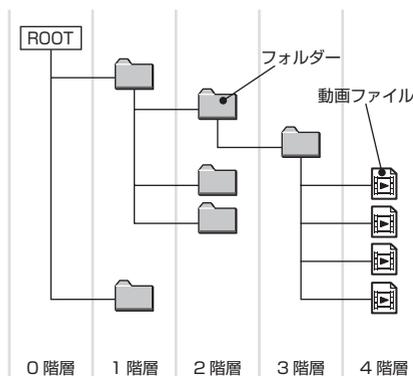
- 拡張子(「.mp4」など)を異なったファイル形式のファイルに付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたメディアを再生すると誤認識して再生する可能性があるため、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 動画ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子(「.mp4」など)を付けてからメディアに書き込んで(コピーして)ください。
- 2GBを超えるサイズのファイルは再生できません。
- 複数の形式の動画ファイルが混在したメディアも再生できます。

フォルダーの構成について

フォルダーは8階層まで認識できます。ジャンル→製作年月→タイトル(再生可能な形式の動画ファイル)といった階層を作成して動画を管理できます。



お知らせ

- 本機で表示されるフォルダーおよびファイルの順番はPCで表示される順番と異なる場合があります。

ラジオ / 交通情報

ラジオを聴く

表示内容について



① FM , AM

FM 放送、AM 放送へ切り換えるときに使用します。

FMは12局、AMは6局までお好みの放送局を登録できます。

② ◀ , ▶

周波数を変更するときに使用します。

③ 目盛り

現在選ばれている周波数を目盛りで確認できます。

④ 放送局名

現在選ばれている放送局名を表示します。

⑤ プリセットボタン

お好みの放送局を登録できます。

希望のプリセットCH番号のボタンに「ピッ!」と鳴るまでロングタップ (P27) すると、現在受信中の放送局を登録できます。

⑥ AV ソースボタン

各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。

[AV Source] にタップするとAVメニューを表示します。

→「AVメニュー」(P29)

⑦ 交通情報

交通情報画面を表示します。

→「交通情報を聴く」(P65)

⑧ ステレオインジケータ

ステレオ受信時に表示します。

⑨ StationList

受信できる放送局を探し、受信した放送局を表示します。

⑩ 周波数

現在選ばれている周波数を表示します。

⑪ ▼ , ▲

FM 放送選択時に、プリセットボタンの表示を切り換えます。

表示内容について



① **FM** , **AM**

FM 放送、AM 放送へ切り換えるときに使用します。

② **周波数**

現在選ばれている周波数を表示します。

③ **1620** , **1629**

交通情報の周波数、1620kHz もしくは 1629kHz を選ぶときにタップします。

④ **AV ソースボタン**

各ボタンにタップすると、AV ソースが切り換わります。
[AV Source] にタップすると AV メニューを表示します。
→「AV メニュー」(P29)

DISC

音楽CDを聴く

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P25)
また、工場出荷時の設定であれば本機に音楽CD挿入後、[録音する]にタップすることでMusicFolderへの録音を開始します。

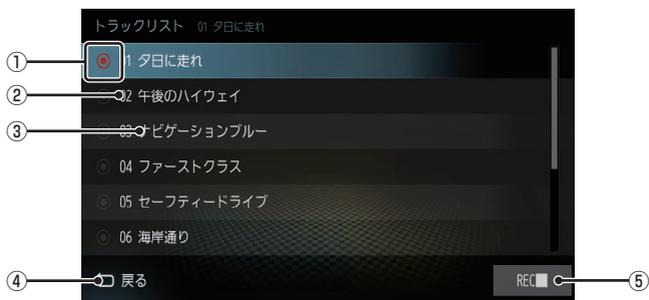
表示内容について

■ 再生情報画面について



- ① **アルバム名**
タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。
- ② **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。
- ③ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「No Name」と表示します。
- ④ **REC ● / REC ■ (→P81)**
録音の開始や停止が行えます。
- ⑤ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。
- ⑥ **◀◀, ||, ▶▶, ▶▶▶**
トラックの選択や一時停止、再生が行えます。
◀◀ または ▶▶▶ にロングタップ (P27) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⑦ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。
- ⑧ **AV ソースボタン (→P29)**
各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。[AV Source]にタップするとAVメニューを表示します。
- ⑨ **リスト表示**
トラックリストを表示します。
- ⑩ **タイトル取得**
手でタイトル情報を取得します。
- ⑪ **再生モードボタン**
タップするたびに、再生モードが切り換わります。
PScan : スキャンボタン
◀▶ : リピートボタン
X : ランダムボタン
- ⑫ **録音設定 (→P152)**
録音方法の設定が行えます。
- ⑬ **再生時間 / 曲の長さ**

■ リストについて



① 録音状態アイコン

■ : 未録音 (グレー)

● : 録音中 (赤)

※ 録音済みは表示されません。

② トラック番号

③ トラック名

トラック名を表示します。

トラック名の情報が空白だった場合は、「No Title」と表示します。

④ 戻る

音楽CDの再生情報画面に戻ります。

⑤ REC ● / REC ■

録音の開始や停止が行えます。

→「録音を開始/停止する」(P81)

タイトル情報を取得する

音楽CDを本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得します。

お知らせ

- タイトル情報は、本機に記録されているGracenoteデータベースを利用してタイトル情報を取得します。
- CD-TEXTの場合はCD内からTEXT情報を取得して表示します。TEXT情報がない場合は、本機内のGracenoteデータベースからタイトル情報を取得して表示します。
- タイトル情報が取得できない場合は、「No Title」や「No Name」などと表示され、NoTitleリストに登録されます。
- 本機の発売時期以降に発売された音楽CDのタイトル情報は本機に記録されたGracenoteデータベースから取得できません。また、それ以前の音楽CDでも情報を取得できない場合があります。
- 複数の情報を表示する場合や異なった情報を表示する場合があります。
- CD-TEXTは日本語と英語以外の言語には対応しておりません。また、ウムラウト記号「Ää」など記号の付いた文字には対応しておりません。
- タイトル情報の取得が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- スマートフォン(Wi-Fi通信)でタイトル情報を取得する場合は、スマートフォンの表示を待ち受け画面にしてください。

■ 取得できる情報について

- アルバム名
- アルバムのアーティスト名
- トラック名
- トラックのアーティスト名
- ジャンル名

ディスクの音楽ファイルを聴く

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P25)

表示内容について

■ 再生情報画面について



① アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダ名を表示します。

② ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。*1 *2

③ ◀, ▶

フォルダを選ぶときに使用します。タップすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

④ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。*2

⑤ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑥ AVソースボタン (→P29)

各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。[AV Source]にタップするとAVメニューを表示します。

⑦ FolderList (→P70)

フォルダリストを表示します。

⑧ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑨ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。*2

⑩ 再生モードボタン

タップするたびに、再生モードが切り換わります。

Scan: スキャンボタン

リpeat: リpeatボタン

ランダム: ランダムボタン

⑪ ◀◀, ||, ▶▶, ▶▶▶

ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。

◀◀ または ▶▶▶ にロングタップ (P27) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑫ 再生時間/曲の長さ

⑬ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば表示します。

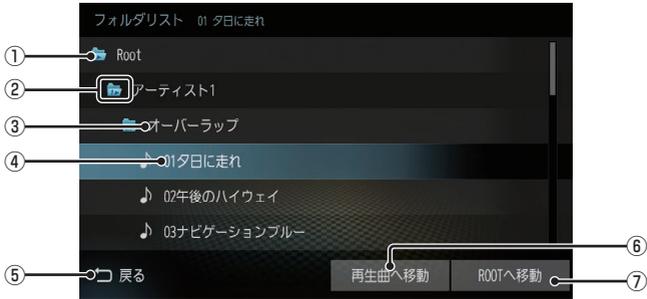
⑭ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

*1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

*2 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて



① ROOT

階層の最上位を示します。

② 階層番号

フォルダーの階層位置を示します。

③ フォルダー名

タップすると、フォルダーを展開します。

④ ファイル名

タップすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

⑥ 再生曲へ移動

再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。

⑦ ROOTへ移動

ROOTフォルダーへ移動します。

DVD ビデオを見る

注意

- DVD ビデオの映像は安全のため走行中は表示されません。(後席モニターには表示されます)
- DVD ビデオをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- DVD ビデオによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。また、DVD ビデオ側の規制から早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合があります。そのようなときは、 マークを表示します。
- MPEG2 オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
- DVD ビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他のメディアから DVD ビデオに切り換えると、音量に差が感じられることがあります。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P25)

DVD ビデオの操作画面を表示する

DVD ビデオを操作するためのメニューを表示します。

1 画面のいずれかにタップする



操作画面を表示します。

お知らせ

- 本書では DVD ビデオの各モードを区別するために以下のように表記しています。

DVD VIDEO	ビデオモードで記録されたディスク
DVD-VR	VRモードで記録されたディスク

■ 再生中の操作画面

DVD VIDEO の場合

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

③ 切換 ^{※1}

音声の言語 / 種別や字幕情報の選択や画面表示の切り換え、アングルの切り換えが行えます。

④ 数字入力

DVDビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

⑤ メニュー

記録されているタイトルメニューを表示します。

⑥ メニュー操作

メニュー操作パネルを表示します。

⑦ < TITLE >

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑧ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑨ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑩ 停止

再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。

→「*停止中の操作画面*」(P74)

⑪ スロー

タップするたびに

[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2]・・・
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑫ リターン

あらかじめDVDビデオ側で決められた特定の範囲を再生します。(リターン再生)

※1 一時停止中は、[音声]、[字幕]、[アングル]の選択ができません。

DVD-VR の場合



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、タイトル、チャプター番号、音声多重アイコン、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

③ 切換

音声の番号/種別や字幕 ON/OFF の選択や画面表示の切り換えが行えます。

④ タイトルリスト

記録されているタイトルリストを表示します。

⑤ 音声多重切換

二ヶ国語放送のような複数の音声収録されていた場合、タップするたびに[主音声]→[副音声]→[主/副]→[主音声]・・・のように音声を切り換えることができます。

⑥ < TITLE >

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑦ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑧ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑨ 停止

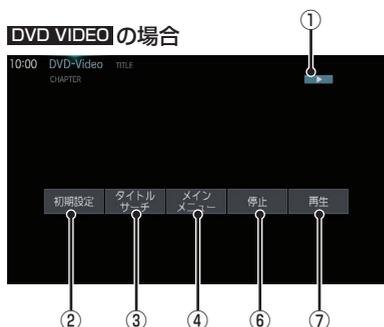
再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。
→「*停止中の操作画面*」(P74)

⑩ スロー

タップするたびに
[1/2]→[1/8]→[1/32]→[1/2]・・・
と再生速度が変わります。(スロー再生)

■ 停止中の操作画面

停止中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



① 状態アイコン

-  (点滅)：停止中(続き再生可能)
- ：停止中(続き再生不可)

② 初期設定

音声言語や字幕言語などの初期設定を行うことができます。毎回音声や字幕の言語を切り換えなくてもよくなります。
→「DVD 初期設定」(P152)

③ タイトルサーチ

タイトル番号を入力して選ぶことができます。

④ メインメニュー

記録されているメインメニューを表示します。

⑤ タイトルリスト

記録されているタイトルリストを表示します。

⑥ 停止

再生中から停止にしたとき(状態アイコン  が点滅状態)は続き再生ができます。再度[停止]にタップすると状態アイコンが  になり続き再生ができなくなります。

⑦ 再生

状態アイコン  が点滅状態であれば、続き再生ができます。状態アイコンが  であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

SDカードについて

お知らせ

- SDカードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本機でフォーマットしたSDカードをご使用ください。
→「メモリ初期化」(P153)
- SDカードの容量は設計上最大2TBまでサポートしております。SDカードのスピードクラスはClass10以上、容量は128GBまでを推奨いたします。なお、すべてのSDカードに対して動作を保証するものではありません。
- 音楽ファイルや動画ファイルが記録されたSDカードを本機のSDカードスロットに挿入した状態で操作してください。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)

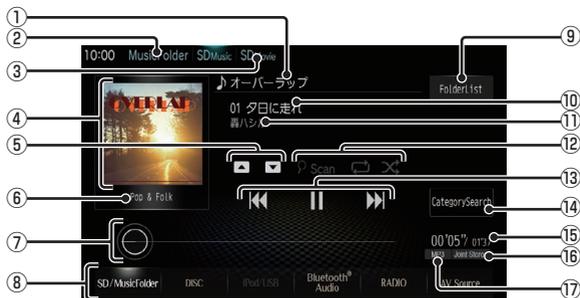
注意

- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- SDカードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

SDカードの曲を聴く

音楽ファイルが記録されたSDカードを本機で再生できます。

再生情報画面について



① アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。

② MusicFolder

再生情報画面をMusicFolderに切り換え、MusicFolderの再生を開始します。
→「MusicFolderを聴く」(P82)

③ SDMovie

SDカードの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。
→「SDカードの動画を見る」(P78)

④ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。*1 *2

⑤ ▲, ▼

フォルダーを選ぶときに使用します。タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑥ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。*2

⑦ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑧ AVソースボタン (→P29)

各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。[AV Source]にタップするとAVメニューを表示します。

⑨ FolderList

フォルダーリストを表示します。

⑩ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑪ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。*2

⑫ 再生モードボタン

タップするたびに、再生モードが切り換わります。

- 🔍 Scan : スキャンボタン
- 🔄 : リPEATボタン
- 🎲 : ランダムボタン

⑬ ⏮, ⏪, ⏩, ⏭

ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ (P27) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑭ CategorySearch

CategorySearchモードをON/OFFに切り換えます。

⑮ 再生時間/曲の長さ

⑯ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば表示します。

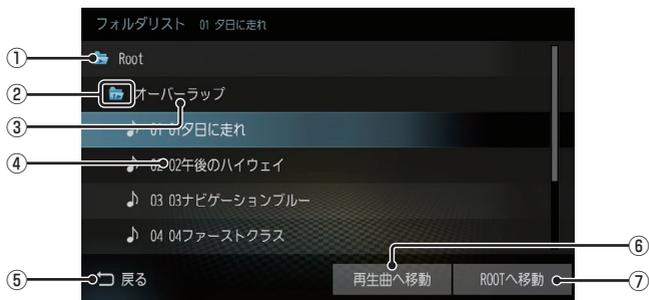
⑰ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

*1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

*2 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて



① ROOT

階層の最上位を示します。

② 階層番号

フォルダーの階層位置を示します。

③ フォルダー名

タップすると、フォルダーを展開します。

④ ファイル名

タップすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る

SDカードの再生情報画面に戻ります。

⑥ 再生曲へ移動

再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。

⑦ ROOTへ移動

ROOTフォルダーへ移動します。

SDカードの動画を見る

動画ファイルが記録されたSDカードを本機で再生できます。

表示内容について

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在の状態を表示します。詳しくは、「ソースプレートについて」(P79)をご覧ください。

② 表示モード

画面表示を切り換えます。

③ FolderList

フォルダーリストを表示します。
→「リストについて」(P77)

④ SDMusic

再生情報画面をSDカードの音楽ファイルに切り換え、再生を開始します。
→「SDカードの曲を聴く」(P76)

⑤ MusicFolder

MusicFolderの再生情報画面 (P83) を表示します。

⑥ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑦ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑧ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑨ スロー

タップするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2]・・・
と再生速度が変わります。(スロー再生)

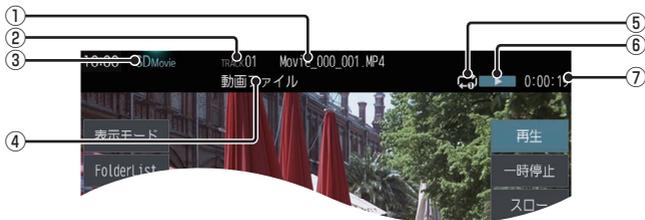
⑩ < Folder >

前後のフォルダーを選ぶときに使用します。選んだフォルダーの先頭ファイルの再生を開始します。

⑪ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。

■ ソースプレートについて



- ① **トラック名**
再生している動画のトラック名を表示します。
- ② **トラック番号**
再生している動画のトラック番号を表示します。
- ③ **ソース名**
- ④ **フォルダー名**
再生している動画ファイルのフォルダー名を表示します。

- ⑤ **再生モード**
現在の再生モードをアイコンで表示します。
- ⑥ **状態アイコン**
再生の状態をアイコンで表示します。



- ⑦ **再生時間**

MusicFolderに録音する

MusicFolderへの録音について

本機は、挿入した音楽CDの曲を約4倍速でSDカードに録音できます。工場出荷時の設定であれば、本機に音楽CDを挿入後、[録音する]にタップすることで音楽CD内の曲をすべてMusicFolderに録音します。

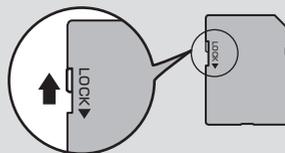


注意

- 録音したものを個人で楽しむ以外の目的で使用する場合は、著作権法上禁止されています。
- CPRM (著作権保護技術) が実装されたSDカードを使用してください。CPRM非対応のSDカードには録音できません。
- 市販されているSDカードを使用するには、あらかじめ「メモリ初期化」(P153)の[SDカードの初期化]で初期化しておく必要があります。
- MusicFolderに録音できるのは音楽CD (CD-DA) からのみです。MP3/WMA/AAC/WAV/FLACなどの音楽ファイルが記録されたディスクやその他のメディア (SDカードやUSBメモリーなど) からの録音はできません。
- DTS-CDの曲が一緒に収録されている音楽CD (CD-DA) を録音すると、DTS-CDの曲も録音されます。録音されたDTS-CDの曲を再生するとノイズが再生されますのでDTS-CDの曲は録音しないでください。
- 録音はエンジンがかかっている状態のときに行ってください。録音中にエンジンをかけると正しく録音できない場合があります。また、SDカードが破損する可能性があります。

お知らせ

- 読み書き可能なSDカードを本機のSDカードスロットに挿入した状態で操作してください。(SDカードのLockは解除しておいてください。)



- SDカードの容量は設計上最大2TBまでサポートしております。SDカードのスピードクラスはClass10以上、容量は128GBまでを推奨いたします。なお、すべてのSDカードに対して動作を保証するものではありません。
- SDカードによっては、正常に録音できない場合があります。
- Class10未満の場合は、十分な録音速度が出ないため正常に録音できない場合があります。
- 録音中に追いかけて再生またはMusicFolderの曲を再生したとき、SDカードによっては再生音が一瞬途切れることがあります。再生音が途切れても録音は正常にされています。
- 1枚のSDカードに最大CD99枚まで録音できます。
- 録音ビットレートは高速録音、高音質録音ともに128kbpsです。
- 録音したものは原音とは音質が異なる場合やノイズが混入する可能性があります。
- MusicFolderに録音した曲を別のメディア (CD-R/RW、ハードディスク、USBメモリー、SDカードなど) には複製/移動できません。
- すでに録音した曲は同じ音楽CDから重複して録音できません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- 高音質録音は高速録音より処理負荷がかかるため、録音に時間がかかります。

お知らせ

- 追いかけて再生準備のため、録音開始直後は再生に時間がかかることがあります。別のオーディオソースをお楽しみいただくことをおすすめいたします。
- 録音状況により再生を一時停止することがあります。(録音は続きます。)再生が一時停止すると、しばらく無音状態となりますので、別のオーディオソースをお楽しみいただくことをおすすめいたします。
- 読み込みエラーがあった場合は、次の曲に進み録音を開始します。
- 曲と曲の間に空白がない場合は、曲間に無音が録音されます。
- SCMS (孫コピー防止技術) の働きにより、音楽CDをデジタル録音したディスクからMusicFolderへは録音できません。
- 録音中はSDカードの動画を見ることができません。
- 最大999曲まで録音が可能です。
- AACファイルで録音されます。

録音を開始 / 停止する

ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

→「音楽CDを聴く」(P66)

アドバイス

- 録音方法を変更できます。
→「CD録音設定」(P152)
- 録音設定が「シングル録音」だった場合、1曲目以外は録音できません。

1 録音したい曲を再生する

2 音楽CDの再生情報画面で

REC ● にタップする

3 **開始する** にタップする



選んだ曲の録音を開始し、追いかけて再生を行います。

4 録音を停止するときは、

REC ■ にタップする



録音を停止します。

MusicFolder を聴く

MusicFolder とは、SD カードに音楽 CD の曲を録音し、再生する機能です。

注意

- SD カードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

お知らせ

- 本製品を譲渡するときなどは著作権法上、音楽録音した SD カードを必ず抜き取り譲渡対象外としてください。
→「メモリ初期化」(P153)
- SD カードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)

■ SD-Audio について

本機の MusicFolder は SD-Audio 規格に対応しています。

ご家庭のパソコンなどで SD-Audio 規格で録音した音楽ファイルの SD カードを本機の SD カードスロットに挿入することで、MusicFolder として再生できます。

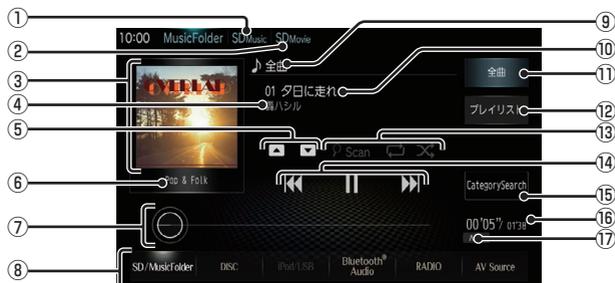
SD-Audio 規格は、著作権保護のため暗号化をしています。そのため暗号を解除できない音楽ファイルは再生できません。(音楽ファイルだけをそのまま SD カードにコピーした場合など)

他の機器で録音したプレイリストの情報について

他の機器で録音したプレイリストの情報を本機で編集すると、以下のようになります。

- プレイリスト名/トラック名/アルバム名/アーティスト名/ジャンル名以外の情報は消去されます。
- 各名称の 31 文字以降はカットされます。
- 規定外の文字コードで入力されている文字は“□”で表示されます。

再生情報画面について

① **SDMusic**

再生情報画面をSDカードの音楽ファイルに切り換え、再生を開始します。
→「SDカードの曲を聴く」(P76)

② **SDMovie**

SDカードの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。

③ **ジャケット**

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{※1}

④ **アーティスト名**

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「No Name」と表示します。

⑤ **▲, ▼**

プレイリストを選ぶときに使用します。(プレイリスト内の曲を再生しているときに選択できます。) タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑥ **ジャンル**

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑦ **シークバー**

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑧ **AVソースボタン (→P29)**

各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。[AV Source]にタップするとAVメニューを表示します。

⑨ **全曲/プレイリスト名**

全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

⑩ **トラック番号/曲名**

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。録音中であれば、「Now Recording」と表示します。

⑪ **全曲 (→P85)**

全曲のトラックリストを表示します。

⑫ **プレイリスト (→P84)**

プレイリスト選択画面を表示します。

⑬ **再生モードボタン**

タップするたびに、再生モードが切り換わります。

PScan : スキャンボタン

🔄 : リピートボタン

🎲 : ランダムボタン

⑭ **⏮, ⏸, ⏪, ⏩**

トラックの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または **⏩** にロングタップ (P27) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑮ **CategorySearch**

CategorySearchモードをON/OFFに切り換えます。

⑯ **再生時間/曲の長さ**⑰ **ファイル形式**

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ プレイリスト選択画面



① プレイリスト名

タップすると、そのプレイリスト内のトラックリストを表示します。
→「トラックリストについて」(P85)

② 戻る

MusicFolderの再生情報画面 (P83) に戻ります。

③ No Titleリスト

取得できなかったアルバムのタイトル情報をさまざまな方法で取得できます。

④ ^ PLAYLIST v

プレイリストを選ぶときに使用します。
タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ 編集・消去

プレイリストの編集または消去が行えます。

⑥ 再生順変更

プレイリストの再生順序を変更できます。

■ トラックリストについて



① 全曲/プレイリスト名

全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

② トラック番号/曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。録音中であれば、「Now Recording」と表示します。タップすると、選択した曲の再生を開始します。

③ No Title リスト

取得できなかったアルバムのタイトル情報をさまざまな方法で取得できます。

④ 戻る

全曲再生の場合は、再生情報画面 (P83) を表示し、プレイリスト内の曲を再生している場合は、プレイリスト選択画面 (P84) を表示します。

⑤ 再生画面

MusicFolderの再生情報画面 (P83) に戻ります。

⑥ ^ PLAYLIST v

プレイリストを選ぶときに使用します。タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑦ 編集・消去

トラックの編集または消去が行えます。

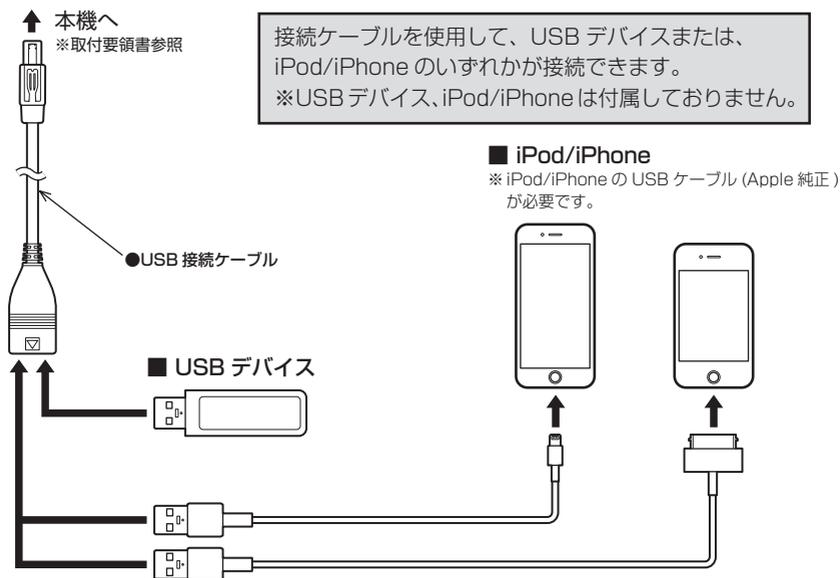
⑧ 再生順変更

トラックの再生順序を変更できます。

iPod/USB メモリ

接続する

接続ケーブルと iPod/iPhone および USB デバイスの接続方法を説明します。



注意

- Lightning コネクタータイプの iPod/iPhone に接続する場合は、Apple 純正の Lightning-USB ケーブル (0.5m 品) をご使用ください。
- iPod/iPhone の動画を再生する場合は AUX へ接続してください。
- 各コネクター方向に注意してください。コネクター方向を間違えた状態で無理に接続すると、接続ケーブルのコネクターや iPod/iPhone 本体、USB デバイスの破損の原因となります。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone 本体や Apple 純正の USB ケーブルを車内に放置しないでください。
- USB 接続ケーブルの対応規格は USB2.0 です。

■ iPod について

- iPod/iPhoneの世代や機種、ソフトウェアバージョンにより本機で再生できない場合があります。(→P12) また、本書で説明する操作方法どおりに再生できない場合があります。最新の接続確認結果については、三菱電機のホームページをご覧ください。
- iPod/iPhoneを本機に接続した状態で操作してください。
- 正しく動作しないときは、iPod/iPhoneを本機から外してリセットし、再度接続してください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone本体を車内に放置しないでください。
- 本機と接続して使用しているときにiPod/iPhoneのデータが消失しても、その補償はいたしかねます。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)

■ USB デバイスについて

- USBデバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- USBメモリーの推奨ファイルシステムは、exFATです。
- USBメモリーの対応容量は128GBまでを推奨します。なお、すべてのUSBメモリーに対して動作を保証するものではありません。
- 音楽ファイルが記録されたUSBデバイスを本機に接続した状態で操作してください。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)

注意

- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、USBデバイスを車内に放置しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合は車のイグニッションキーを“OFF”にしてから取り外してください。
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- USBデバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

iPodを再生する

USB 接続ケーブルおよび市販されている iPod 接続ケーブル、iPod を本機に接続することで、iPod の音声を本機で再生できます。

■ 再生情報画面について



① アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。

② ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。

③ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。

④ ◀◀, ||, ▶▶, ▶▶▶

トラックの選択や一時停止、再生が行えます。
◀◀ または ▶▶▶ にロングタップ (P27) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑦ AV ソースボタン (→P29)

各ボタンにタップすると、AV ソースが切り換わります。[AV Source] にタップすると AV メニューを表示します。

⑧ ARTIST

アーティストリストを表示します。

⑨ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。

⑩ ALBUM

アルバムリストを表示します。

⑪ 再生モードボタン

タップするたびに、再生モードが切り換わります。

◀▶ : リピートボタン

◀▶ : シャッフルボタン

⑫ TRACK

トラックリストを表示します。

⑬ iPod MENU

iPod メニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示できます。

⑭ 再生時間/曲の長さ

USB デバイスの曲を聴く

USB 接続ケーブルおよび市販されている USB デバイスを本機に接続することで、USB メモリーなどの USB デバイスに記録された音楽ファイルを本機で再生できます。

■ 再生情報画面について



① アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV 形式の場合はフォルダー名を表示します。

② USBMovie

USB デバイスの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。

→「USB デバイスの動画を見る」(P91)

③ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。*1 *2

④ ▲, ▼

フォルダーを選ぶときに使用します。タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。*2

⑥ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑦ AV ソースボタン (→P29)

各ボタンにタップすると、AV ソースが切り換わります。[AV Source]にタップすると AV メニューを表示します。

⑧ FolderList

フォルダーリストを表示します。
→「リストについて」(P90)

⑨ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV 形式の場合はファイル名を表示します。

⑩ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。*2

⑪ 再生モードボタン

タップするたびに、再生モードが切り換わります。

PScan : スキャンボタン

: リピートボタン

: ランダムボタン

⑫ <<, ||, >>, >>>

ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。

または にロングタップ (P27)

すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑬ CategorySearch

CategorySearch モードを ON/OFF に切り換えます。

⑭ 再生時間/曲の長さ

⑮ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば表示します。

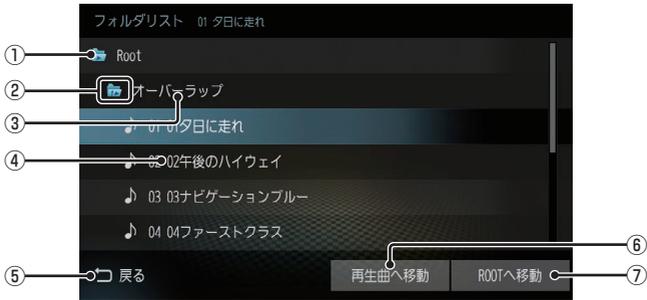
⑯ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

*1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

*2 WAV 形式は対応しておりません。

■ リストについて



① ROOT

階層の最上位を示します。

② 階層番号

フォルダーの階層位置を示します。

③ フォルダー名

タップすると、フォルダーを展開します。

④ ファイル名

タップすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る

USB デバイスの再生情報画面に戻ります。

⑥ 再生曲へ移動

再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。

⑦ ROOTへ移動

ROOT フォルダーへ移動します。

USB デバイスの動画を見る

USB 接続ケーブルおよび市販されている USB デバイスを本機に接続することで、USB メモリーなどの USB デバイ스에記録された動画ファイルを本機で再生できます。

表示内容について

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在の状態を表示します。
詳しくは、「ソースプレートについて」
(P79) を参考にご覧ください。

② 表示モード

画面表示を切り換えます。

③ FolderList

フォルダーリストを表示します。
詳しくは、「リストについて」(P90) を参考に
ご覧ください。

④ USB Music

再生情報画面を USB デバイスの音楽ファ
イルに切り換え、再生を開始します。
詳しくは、「USB デバイスの曲を聴く」
(P89) を参考にご覧ください。

⑤ シークバー

シークバーをタップまたはスライドするこ
とで、再生位置を指定できます。

⑥ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通
常の再生に戻ります。

⑦ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑧ スロー

タップするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] …
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑨ < Folder >

前後のフォルダーを選ぶときに使用しま
す。選んだフォルダーの先頭ファイルの再
生を開始します。

⑩ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。

テレビ機能について

本機では、地上デジタルTVチューナーを使った地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

受信について

走行にともない、受信状態が変わる場合や障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

注意

- テレビの映像は安全のため走行中は表示されません。(後席モニターには表示されます)
- テレビをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- 電車の架線や高圧線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなる場合があります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。
- PPV番組(有料番組)に対応しておりません。
- 地上デジタルTV放送は放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

テレビを見る

地上デジタルTVチューナーでは、フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になれます。

はじめてテレビを見るとき

(ホームCHスキャン)

はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定とホームCHスキャンを行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホームCHの“リモコン番号”に登録する操作です。

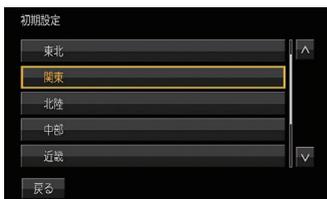
1 AVメニューを表示する (→P60)

2 TV にタップする

3 居住地域 にタップする



4 設定したい“地方”にタップする



5 設定したい“都道府県”にタップする



6 スキャン開始 にタップする



ホームCHスキャンを開始します。

お知らせ

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に[中止]にタップすると、中止します。
- スキャン中に中止した場合は、ホームCHへ登録される放送局が少なくなる場合があります。

7 完了 にタップする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

お知らせ

- ホームCHには最大12局まで登録できます。
- [キャンセル]にタップした場合はホームCHに登録されません。

表示内容について

画面をタップして表示するテレビの操作画面について説明します。

■ 操作パネルについて



① ノーマルバナー

受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号および番組名を表示します。

🏠 マーク

マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を示します。

- 🏠 : ホームCH
- 📺 : ドライブCH
- 📶 : エリアCH

(画面のリモコン番号は「1」)

② CHモード

ホーム にタップすると、ホームCHスキャンで登録した放送局を選べます。

ドライブ にタップすると、ドライブCHスキャンで登録した放送局を選べます。

エリア にタップすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ リモコン番号

タップすると、登録された放送局を表示します。ロングタップ (P27) することで“リモコン番号”の割り当てを変更できます。

④ 閉じる

操作パネルを消しテレビ映像のみにします。

⑤ メニュー (→P154)

各種設定を行います。

⑥ EPG

電子番組表 (EPG) を表示します。

⑦ 番組内容

現在選局中の番組の内容を表示します。

⑧ ワンセグ/フルセグ

フルセグとワンセグを切り換えます。

ロングタップ (P27) することで、自動ワンセグ切り換えの設定ができます。

⑨ 系列局

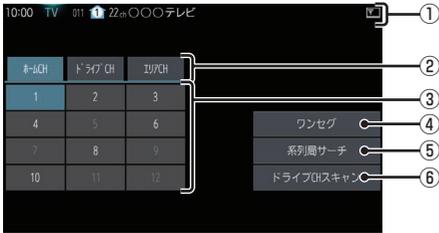
系列局の放送局を表示します。ロングタップ (P27) することで系列局サーチを開始します。

アドバイス

- **◀◀TRK** キーまたは **TRK▶▶** キーを押すと、登録した放送局をリモコン番号の順、または逆順に選局できます。
- CHモードが[ホーム]のとき、**◀◀TRK** キーまたは **TRK▶▶** キーを押し続けると、受信可能な放送局の自動選局を開始します。
- CHモードが[ドライブ]のとき、**TRK▶▶** キーを押し続けると、初期ドライブCHスキャンを行い、**◀◀TRK** キーを押し続けると再ドライブCHスキャンを行います。

■ 走行中の操作制限について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。



① ソースプレート

現在選ばれている受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号、放送局名および番組名を表示します。

② CHモード

ホームCH にタップすると、ホームCHスキャンで登録した放送局を選べます。

ドライブCH にタップすると、ドライブCHスキャンで登録した放送局を選べます。

エリアCH にタップすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ リモコン番号

タップすると、登録された放送局を選局します。映像は表示されません。

④ ワンセグ/フルセグ

フルセグとワンセグを切り換えます。

⑤ 系列局サーチ

系列局サーチを開始します。再度、タップすると中止します。

⑥ ドライブCHスキャン

タップすると、ドライブCHスキャンを行うことができます。

お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 走行中はホームCHスキャンを行うことができません。

外部入力機器

Bluetooth Audioを使う

本機では、市販されているBluetooth対応オーディオ機器の曲を再生できます。

お知らせ

- 外部入力機器は、Bluetooth接続以外にもAUX接続が可能です。
- Bluetooth対応オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合、カタログスペックどおりに動作しない場合があります。
- 市販されているBluetooth対応オーディオ機器の取扱説明書と合わせて確認してください。
- Wi-Fi接続している状態でBluetooth接続を行うと接続に失敗する場合があります。再度、Bluetooth接続の操作を行ってください。
- Bluetooth対応オーディオ機器を本機に接続している状態で、別機器のBluetooth接続によるデータ通信機能を使用したり、Bluetooth Audio再生中にWi-Fi機器を検索したりすると通信中または検索中に音飛びすることがありますが、故障ではありません。
- Bluetooth対応オーディオ機器の種類によっては、音量レベルが異なります。大音量になるおそれがありますので、ご使用前に音量を下げることをおすすめします。
- 本機で表示できない文字列は記号（細長い四角形）で表示されますが故障ではありません。（特殊文字など）

■ 対応プロファイルと対応機能について

各プロファイルの対応機能について説明します。

機能	A2DP
再生中の音声出力	○

※ サンプリングレート：16kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

機能	AVRCP		
	v1.0	v1.3	v1.4以上
再生/一時停止の操作	○	○	○
停止	×	×	×
早送り/早戻しの操作	○	○	○
トラックの選択操作	○	○	○
アルバムの選択操作	×	○	○
リピート/ランダム/スキャン再生の操作	×	○	○
再生状態の表示	×	○	○
アルバムリストの表示	×	×	○
アルバムリストからの選曲	×	×	○

Bluetooth対応オーディオ機器を接続する

本機とBluetooth対応オーディオ機器は、Bluetooth機能を使用して接続します。接続は「Bluetoothの設定」(P153)をご覧ください。以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

■ 再生情報画面について



① デバイス名*

接続中の機器のデバイス名を表示します。
情報がなければ「NO NAME」と表示します。

② アルバム名*

アルバム情報がなければ「No Title」と表示します。

③ アーティスト名*

アーティスト情報がなければ「No Name」と表示します。

④ ▲, ▼*

アルバムを選ぶときに使用します。
タップすると、前後のアルバムへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ ジャンル名*

⑥ AV ソースボタン (→P29)

各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。[AV Source]にタップするとAVメニューを表示します。

⑦ Bluetooth接続アイコン

⑧ MusicSearch

さまざまなカテゴリーから曲を選ぶことができます。

⑨ トラック名*

トラック情報がなければ「No Title」と表示します。

⑩ 再生モードボタン*

タップするたびに、再生モードが切り換わります。

▶Scan : スキャンボタン

▶Repeat : リピートボタン

▶Shuffle : ランダムボタン

⑪ ◀◀, ▶▶/||, ▶▶▶

トラックの選択や再生/一時停止が行えます。

◀◀ または ▶▶▶ にロングタップ (P27) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑫ 接続設定

Bluetooth接続設定画面を表示します。

⑬ 再生時間*

※ お使いのBluetooth機器が対応していない場合や、情報取得できないときは表示しません。

NAVI

ナビゲーション機能に関する操作方法を説明します。

基本操作

ナビゲーション機能について

ナビゲーションとは

ナビゲーションとは、自車の位置を測定して、設定した目的地までのルートを案内するシステムのことです。地図上に表示される自車の位置は、「GNSS」と「マップマッチング」という機能で測定されます。

■ GNSS (Global Navigation Satellite System)

人工衛星を利用して位置を検出するシステムを「GNSS」といいます。GNSSは、一般的な「GPS」の他に、ロシアの「GLONASS」や日本の「QZS (準天頂衛星)」の人工衛星を利用しています。

- 自車の位置を測位するには、見晴らしのよい場所で2分程度かかります。本機を最初に使用するときや、長時間使用しなかったときは、自車の位置を測位するまでに5分程度かかります。

■ QZS (Quasi-Zenith Satellite [準天頂衛星])

日本の天頂付近を通過する人工衛星です。なお、本機では、準天頂衛星による測位機能以外のサービスには対応しておりません。

■ マップマッチング

自車の走行軌跡データと地図データ上の道路形状を比較して、走行中の道を推測して地図に表示する機能を「マップマッチング」といいます。

注意

- ナビゲーションで表示される地図や交通規制は地図データ作成時の各種情報に基づいて作成されていますので、実際の道路や交通規制と異なる場合があります。実際の道路や交通規制に従って走行してください。

GPS アンテナについて

本機のGPSアンテナは、GPS衛星などの電波を受信します。

アドバイス

- 人工衛星からの電波がさえぎられると、自車の位置が正しく表示されないことがありますので以下のことをお守りください。
- ウィンドウガラスに鏡面タイプやカーボン含有のフィルムを貼らないでください。
 - GPSアンテナの上や周辺にものを置いたり、ETCアンテナを取り付けたりしないでください。
 - 携帯電話やPHS、パソコンなどをGPSアンテナの近くで使用しないでください。

地図データについて

地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。

人工衛星の受信状況について

人工衛星が稼働を停止したり、技術的問題が生じたりした場合には、測位の精度が落ちたり電波を利用できなくなったりすることがあります。

ナビ画面について

ナビの地図画面や各メニュー画面の表示内容について説明します。

お知らせ

- 各メニューの項目はナビの設定や走行状態により変化し、表示されない項目もあります。
- 本書のナビ画面は説明用に一部ランドマークを非表示にしています。

地図表示内容について

■ 現在地画面（ルートなし）

[現在地] キーを押したときに表示される現在地画面の表示内容について説明します。



- ① 一時停止標識 / 制限速度標識 (→P102)
- ② TEL/通信アイコン (→P102)
電話を使用しているときや、通信中のときに表示します。
- ③ 時計
24時間制で現在時刻を表示します。
- ④ カメラアイコン (→P102)
カメラが装着されている場合に表示します。
- ⑤ マイメニュー (→P33)
よく使う機能をまとめておけるメニューを表示します。
- ⑥  (VICS ボタン) (→P134)
VICSの提供時刻を表示します。タップすると、VICSメニューを表示します。
- ⑦ ビュー切替 (→P114)
タップすると、ビュー切替画面を表示します。また、ランドマークや地図の文字サイズ、地図色などの設定ができます。
- ⑧ 縮尺アイコン (→P115)
表示されている地図の縮尺を示します。[広域]または[詳細]にタップすると、縮尺を変更できます。
- ⑨  (→P105)
ショートカットメニューを表示します。
- ⑩ 各アイコン (→P102)
エコスコアやBluetoothの接続状態などを表示します。また、青信号までの残時間をお知らせする「信号情報案内」を表示します。→「信号情報案内について」(P102)
- ⑪ 自車位置マーク
矢印が車の位置を示し、矢印の向きが進行方向を示します。
- ⑫ 周辺検索アシスト認識施設 / 現在地名 / AV再生情報
周辺検索アシスト(P107)の認識キーワードや現在地名、AV再生情報を表示します。タップするたびに、現在地名または現在のオーディオ再生情報を切り換えます。

■ 現在地画面（ルートあり）



① (赤色の丸マーク)

次に曲がる交差点を示しています。

② ルート

目的地までの道のりを色分けした線に表示します。

一般道		(緑色)
細街路		(うすい緑色)
高速 / 有料道 フェリー航路		(水色)

③ (黄色の三角マーク)^{※1}

レーン案内、または一般道方面看板を表示している交差点を示しています。

④ 目的地目安線 (→P151)

目的地の方向を示す直線を表示します。[表示の設定]の「目的地目安線」で[目的地]、[次の経由地]または[表示しない]を選ぶことができます。

⑤ 交差点案内アイコン (→P127)

次に曲がる交差点 (赤色の丸マーク) および2番目に曲がる交差点までの距離と曲がる方向を示します。タップすると、交差点案内図を表示します。

⑥ 交差点名^{※1}

(黄色の三角マーク) が示している交差点名を表示します。

交差点名がない場合、ルート案内中は「案内交差点」、非案内中は「交差点」と表示します。

⑦ レーン案内^{※1}

(黄色の三角マーク) が示している交差点にレーン情報が存在すると表示します。

⑧ 一般道方面看板^{※1}

前方の交差点に一般道方面看板の情報が存在すると表示します。

⑨ 目的地 / 経由地情報

目的地または経由地の到着予想時刻、距離を示します。自転車が経路から外れるとグレーで表示されます。

※1 ルートを設定していなくてもレーン情報、一般道方面看板情報があれば、表示します。

■ スクロール画面

地図スクロール(P115)を行ったときや検索後に表示するスクロール画面の表示内容について説明します。



① ① マーク

設定された経路地を ① マークで示します。経路地は5つまで設定でき、通過する順に ①, ②, ③, ④, ⑤ と表示します。

② ② マーク

スクロールした場所の中心地点に表示されます。地点の設定(目的地、経路地、登録地の設定)ができるときはオレンジ色、地点の設定ができないときは白色で表示します。

③ ③ マーク

設定された目的地(P117)を ③ マークで示します。

④ ④ 戻る

1つ前に戻ります。

⑤ ⑤ 微調整

⑤ マーク位置を微調整できます。

⑥ ⑥ ランドマーク

商標や観光地などをマークで示します。

⑦ ⑦ 地点メニュー

目的地や経路地、登録地の設定が行えます。

詳細情報	⑦ 地点が ② に変わるとその地点の建物情報やVICS規制アイコンの詳細情報を表示できます。
周辺施設	⑦ 地点周辺の施設を探ることができます。
登録する	⑦ 地点を登録できます。
ここへ寄る	⑦ 地点を経路地に設定できます。
ここへ行く	⑦ 地点を目的地に設定できます。

⑧ ⑧ 自車位置までの距離

⑧ マークから自車位置までの距離を表示します。

アドバイス

- 道幅の狭い一部の道路(細街路)は走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。
- ⑥ランドマークは[ビュー切替]→[ランドマーク]にタップして、[表示しない]に設定すると地図画面から表示を消すことができます。
- ⑥ランドマークは種類ごとに表示有無を選ぶことができます。

■ 各アイコンについて

現在地画面 (P99) に表示されるアイコンについて説明します。

	※1 自車前方に一時停止標識情報がある場合に表示します。 [表示の設定]の「一時停止標識」を[表示する]にしておく必要があります。 →「NAVIの設定」(P151)
	※1 自車走行中の道路に制限速度情報がある場合に表示します。 [表示の設定]の「制限速度」を[表示する]にしておく必要があります。→「NAVIの設定」(P151) 自車前方に一時停止標識情報がある場合は、一時停止標識を優先して表示します。
	本機に接続した電話を使用しているときや、通信機器が通話中のときに表示します。 タップすると、通話画面または通信中の画面を再表示します。
	※2 シフトポジションを「R」にすると、リアカメラ映像を表示します。 シフトポジションを「R」にしたまま現在地画面に戻ったときのみ  を表示します。  にタップすると、リアカメラ映像を表示します。
	ルート案内中、燃費に良い運転方法の評価を確認できます。バーの点灯が多いほど良い評価となります。 →「エコスコア」(P140)
	準天頂衛星 (P98) を受信時に表示します。
	Wi-Fi 接続されていると、Wi-Fi の電波強度を表示します。 →「Wi-Fi の設定」(P153)
	Bluetooth 接続されていると表示します。 →「Bluetooth の設定」(P153)
	携帯電話の電波強度を表示します。
	MusicFolder へ音楽 CD を録音中に表示します。
	周辺検索アシストが使用できるときに表示します。 →「周辺検索アシスト」(P107)

※1 実際の道路標識と一致しない場合があります。

※2 別売のカメラを接続する必要があります。

■ 信号情報案内について

別売のETC2.0車載器(光VICS対応)を接続することで、信号情報の配信区間を走行したとき、赤信号から青信号に変わるまでの残時間を案内します。



- 配信される情報を元に信号情報案内を行います**が、実際の点灯状況と異なる場合があります。**
走行時は実際の信号や周囲の状況を確認の上、交通状況に従って走行してください。

注意

- 信号情報案内は情報の配信区間走行時に案内されます。配信区間および情報は情報配信元(各都道府県警)にて整備されており、すべての路線で案内されるわけではありません。
- 配信された信号情報を元に案内しますので、同一地点でも通過タイミングによって、案内されない場合があります。
- 感応式信号(押しボタン式信号など)では、案内されない場合や実際の点灯状況にずれが発生する場合があります。
- 急加速、急減速などを行うと、正確な案内が行えないことがあります。
- 工事や管制センターの都合により、配信区間であっても案内されない場合があります。
- 雨、雪、樹木などの遮蔽物、または強い日光、フロントガラスの特性などによって、光ビーコンの情報を正しく受信できず、信号情報案内が行えない場合があります。

お知らせ

- 案内を有効にするには、「NAVIの設定」(P151)で「信号情報案内」を[案内する]に設定する必要があります。

信号情報の受信状態 (支援エリア内)

信号情報を受信している場合に表示します。



信号情報の案内表示

赤信号から青信号に変わるまでの残時間を案内します。



信号情報の受信状態 (支援中)

前方の信号が支援対象の場合に表示します。支援対象の情報案内は赤信号から青信号に変わるまでの残時間を案内します。



アドバイス

- 配信区間走行中は、地図画面のステータスバーに支援状態が表示されます。

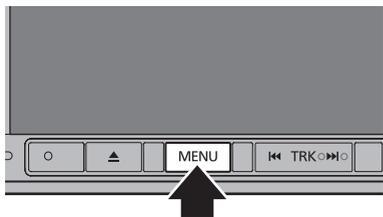
支援エリア内	信号情報の配信区間を走行中です。
支援中	配信区間を走行中かつ、支援状態です。
残時間	青信号までの時間が表示されます。
まもなく	青信号に変わるまで、約5秒です。

- 赤信号の残時間は、支援中の状態で停車した場合に案内されます。
- 別売のHUDを本機に接続すると、HUDに赤信号減速支援が表示されます。
- 支援表示は自車が直進する想定で表示しています。
- 減速支援は前方の信号を対象としています。

NAVIメニューを表示する

目的地の設定や地点登録がこのメニュー画面から行えます。

1 MENU キーを押す



NAVIメニューを表示します。

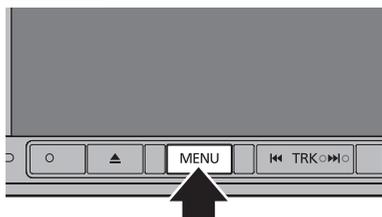
ROUTEメニューを表示する

ルート編集はこのメニュー画面から行えます。

お知らせ

- 目的地を設定すると、ROUTEメニューを表示できます。

1 MENU キーを押す



2 画面を右へスライドする

画面をフリック (P27) しても切り換えることができます。



ROUTEメニューを表示します。

アドバイス

- NAVIメニュー画面で [ROUTE] にタップしても表示できます。

ショートカットメニューを表示する

ここでは、現在地画面 (P99) から表示するショートカットメニューの表示方法を説明します。

1 現在地画面で **>>** にタップする



ショートカットメニューを表示します。

アドバイス

- 本書ではショートカットメニューを表示するためのボタンを **>>** と記載しています。
- **<<** にタップするとショートカットメニューを閉じます。 **<<** にタップするまで、ショートカットメニューは表示したままです。

現在地画面を表示する

スクロール画面 (P101) やNAVIメニュー (P30) などから現在地画面 (P99) を表示できます。

アドバイス

- AV画面やINFO画面などその他の機能からも現在地画面を表示できます。

1 現在地 キーを押す



ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。

音声認識

本機では、NAVI機能の一部を音声認識によって操作することができます。

お知らせ

- 以下のような場合、音声認識の性能が低下することがあります。
 - 音楽を大音量で再生している
 - 音楽を外部アンプ接続で再生している
 - 外部からの雑音が大きい

また、助手席や後部座席の同乗者の会話を誤認識してしまう可能性があります。

- 認識性能が悪い状態がしばらく続く場合、「音声認識の設定」(P153)から「学習データリセット」を実施することで改善されることがあります。

音声認識について

■ 目的地や登録地などの設定

音声認識による操作のみで周辺の施設などを検索でき、目的地や経由地、登録地の設定が行えます。

詳しくは、「音声認識で操作する」(P110)をご覧ください。

アドバイス

- 音声認識のみの操作で行うには、「音声認識の設定」(P153)で「ウェイクアップコマンド」を[使用する]に設定しておく必要があります。

■ サーバー音声認識

Wi-Fi機器(スマートフォンなど)のデータ通信機能を利用して、音声認識サーバー上でも音声認識を行えます。通常の音声認識よりも柔軟に、様々な言い回しに対応できます。

お知らせ

- Wi-Fi接続可能な機器が必要です。
- 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。
- 通信状況によっては利用できない場合があります。
- 本機取り付け直後など、GPSによる時刻取得ができていない状態では、サーバー音声認識が使用できません。

アドバイス

- サーバー音声認識を利用するには、「音声認識の設定」(P153)で「サーバー音声認識」を[使用する]に設定しておく必要があります。
- サーバー音声認識を使用した検索結果の場合は、サーバーアイコンが表示されます。



■ 周辺検索アシスト

本機は、運転手の発話や車内の会話に含まれる施設ジャンルやブランド名に対応するキーワードを認識しています。
周辺検索アシストとは、認識したキーワードをショートカットメニューに反映し、周辺検索をアシストする機能です。

アドバイス

- アシストインジケータが表示されている画面（現在地画面）で認識が可能です。



アシストインジケータ

	認識可能な状態です。
	認識中です。
	認識不可の状態です。

- 「音声認識の設定」(P153)で「周辺検索アシスト」を[使用する]に設定しておく必要があります。
- キーワードは、最新のキーワードを認識してから約10分間記憶しています。

ショートカットの[検索]をタップしたとき認識したキーワードに基づいた周辺の施設候補を最新の3件まで表示できます。



キーワードに基づいた周辺の施設候補

→「ショートカットメニューを表示する」(P105)

■ バージイン発話

本機は、音声認識後の音声ガイダンス中でも次の発話を行うと、音声認識コマンドを認識します。

バージイン発話とは、音声ガイダンス中でも次の発話を受け付けて、次の操作状態に移行する機能を言います。

アドバイス

- 本機能を有効にするには、「音声認識の設定」(P153)で「バージイン発話」を[使用する]に設定しておく必要があります。

キーワードを認識したとき



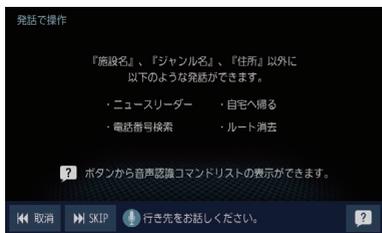
認識したキーワードのテロップ

キーワードを認識したとき、このテロップを約10秒間表示します。

テロップにタップすると、下記のショートカットメニューを表示します。

音声認識の開始方法について

音声認識は、以下のいずれかの方法で開始することができます。



	音声認識が可能な状態です。
	音声認識できません。上記の発話マークが表示されてから発話してください。

アドバイス

- [取消]にタップすると、音声認識を1つ前の状態に戻します。
- [SKIP]にタップすると、音声ガイダンスを中断し、次の発話を受け付けることが可能な状態になります。

■ ウェイクアップコマンドによる開始



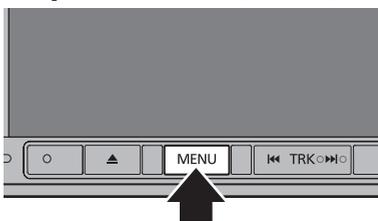
現在地画面または発話マークが表示されている画面など、音声認識が可能な状態であれば、「声で操作」と発話することで開始できます。

アドバイス

- 「音声認識の設定」(P153)で「ウェイクアップコマンド」を[使用する]に設定しておく必要があります。

■ キー操作による開始

現在地画面または発話マークが表示されている画面など、音声認識が可能な状態であれば、[MENU]キーを長押しすると開始できます。



アドバイス

- 「システムの設定」(P153)の「ハードキー動作の設定」で[音声認識]を選択しておく必要があります。

■ NAVIメニューからの操作



[MENU]キーを押し、[発話で操作]にタップすると開始します。

■ ショートカットメニューからの操作



現在地画面で、[>>] → [発話]にタップすると開始します。

■ 発話マークが表示されている画面からの操作



発話マークにタップすると開始します。

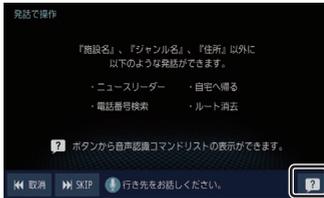
音声認識コマンドリストを確認する

操作する上で発話する言葉がわからない場合に確認できます。

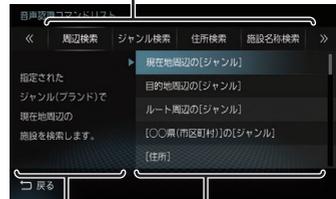
1 現在地画面で、>> → **発話** にタップする

発話で操作の画面が表示されます。

2 **?** にタップする



操作する分類



操作の説明

コマンド

音声認識で操作できるコマンドのリスト画面を表示します。

■ 最初に認識できる音声認識コマンド

下記の発話例を参考に音声認識を始めてください。

種類	発話例
検索コマンド	“電話番号検索”
登録地名	“会社”、“実家”
周辺検索	“現在地周辺のコンビニ”、“コンビニ”
住所+ジャンル	“横浜市のコンビニ”
住所	“神奈川県横浜市”
住所+施設名	“横浜市の〇〇ホテル”
施設名	“〇〇ホテル”
ニュースリーダー	“ニュースリーダー”
有名施設名+ジャンル*	“〇〇タワー周辺のコンビニ”

※ サーバー音声認識の機能となります。

アドバイス

- “神奈川県横浜市”と発話することで横浜市の地図が表示されます。
この住所指定では、自車がある都道府県内の場合には都道府県名を省略することができます。

音声認識で操作する

音声認識では、住所やジャンル、登録地(“会社”など設定した名称)を発話することで場所を探すことができます。また、“電話番号検索”と発話することで電話番号から場所を探すことができます。ここでは、音声認識での操作の一例を説明します。

■ あいまい検索

施設名などのキーワードを発話して、検索することができます。

1 現在地画面で、**>>** → **発話** にタップする

発話で操作の画面が表示されます。

2 探している施設のキーワードを発話する

“とうきょう〇〇”や“〇〇公園”などと発話します。
キーワードを発話すると、あいまい検索リストを表示します。

3 リストを絞り込む

“東京都”や“駅”など都道府県名やジャンルなどを発話することでリストを絞り込むことができます。



発話対象	内容
都道府県名	都道府県のタブを切り換えます。
市区町村名	都道府県より下の住所を発話します。発話した住所でリストを絞り込みます。
ジャンル	ブランド名または、“ファミレス”や“コンビニ”などを発話します。発話したジャンルでリストを絞り込みます。

4 “次ページ”または“前ページ”と発話し、施設を探す

5 “1番目”と発話する

探している施設周辺の地図を表示します。引き続き、“ここへ行く”と発話すると目的地設定、“ここを登録”と発話すると登録地設定などの操作が行えます。

アドバイス

- 手順5の操作で“1番目へ行く”または“1番目を登録”と発話すると施設周辺の地図を表示することなく目的地設定、登録地設定を行うことができます。
- “東京都の～”や“横浜市の～”といった地域を限定した検索も可能です。
- 工場出荷時の状態であれば、手順1の操作を“声で操作”と発話するだけで行えます。

■ 近くのコンビニエンスストアを検索して目的地に設定する

1 現在地画面で、<>> → 発話 にタップする

発話で操作の画面が表示されます。

2 “近くのコンビニ”と発話する

現在地周辺のコンビニエンスストアのリストが表示されます。

3 “次ページ”または“前ページ”と発話し、行きたい地点を探す



4 “3番目の地点に行く”と発話する

ルート設定が完了します。

アドバイス

- 工場出荷時の状態であれば、手順1の操作を“声で操作”と発話するだけで行えます。
- “コンビニ”などと発話しても現在地周辺の施設が検索可能です。

■ 検索結果のリストからの操作

1 検索結果のリストで“発話マーク”にタップする



2 “次ページ”または“前ページ”と発話し、登録したい地点を探す



3 “2番目の地点を登録”と発話する

場所の登録が完了します。

アドバイス

- 工場出荷時の状態であれば、手順1の操作を“声で操作”と発話するだけで行えます。

文字入力のかた

文字入力キーボードの各メニューについて説明します。

文字入力用キーボード



※画面は説明用に作成したものです。

① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。
「背景が白色」のときは確定前の文字で[変換]で漢字に変換できます。
「背景が黒色」のときは、確定済みで変換はできません。

② カーソル

「|」で表示され、「|」の左側に文字が入力されます。

③ 変換

確定前の文字を変換するための変換候補リストを表示します。

④ 入力キーボード

タップで表示されている文字を入力できます。

⑤ 半角 / 全角

入力キーボードに表示される文字が半角→全角→半角と切り換わります。

⑥ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

⑦ 小文字 / 大文字

タップで入力キーボードに表示される文字が小文字→大文字→小文字と切り換わります。

⑧ X

入力中の文字を一文字削除します。

⑨ ◀, ▶

「|」の位置を移動します。

⑩ 無変換

確定前の文字を変換せずに確定します。

⑪ かな

入力キーボードに表示される文字が「ひらがな」に切り換わります。

⑫ カナ

入力キーボードに表示される文字が「カタカナ」に切り換わります。

⑬ 英数

入力キーボードに表示される文字が「アルファベット」、「数字」および簡単な「記号」に切り換わります。

⑭ 記号

入力キーボードに表示される文字が「数字」と「記号」に切り換わります。

⑮ 特殊

入力キーボードに表示される文字が「特殊文字」に切り換わります。

⑯ 入力完了

入力された文字をすべて確定し、文字入力モードを終了します。

⑰ 全消去

入力中の文字をすべて削除します。

アドバイス

- 機能や文字の種類によって、表示されないボタンや別のボタンになることがあります。



① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。
 “背景が白色”のときは確定前の文字です。
 “背景が黒色”のときは、確定済みの文字です。

② 入力候補リスト

入力した文字に続く文字や言葉を予測し候補を表示します。

タップで入力文字表示部へ入力します。

◀ または ▶ にタップして候補リストを左右に送ったり戻したりできます。

③ 入力キーボード

タップで表示されている文字を入力できます。

④ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

⑤ X

未確定の文字を1文字削除します。未確定の文字列がない場合は、1つ前に確定した文字列を未確定の状態に戻します。
 ロングタップ (P27) するとまとめて削除できます。

⑥ &条件

①入力文字表示部に「&」が入力され別のキーワードを追加できます。
 キーワードは最大3語まで指定できます。

⑦ 確定

未確定の文字を確定します。

⑧ 小文字 / 大文字

タップで入力キーボードに表示される文字が小文字→大文字→小文字と切り換わります。

⑨ 検索する

入力した文字の検索結果を表示します。

地図画面を設定する

地図の表示状態を切り換えたり、ランドマークの表示や地図色を変更したりすることができます。

地図画面を選択する

1 [ビュー切換] にタップする



2 切り換えたい設定にタップする



3 [戻る] にタップする

地図の画面分割方法または向き、種類が切り換わります。

アドバイス

- 地図の画面分割方法と向き、種類は別々に選択できます。
- スタンダード2画面の右画面を変更する場合は、右画面側の [ビュー切換] にタップします。



ただし、右画面に3Dビューマップは表示できません。

地図の種類について

切り換えることのできる地図の種類について説明します。

■ 2D マップ

「自転車基準」または「北基準」の地図向きが選べる一般的な地図を表示します。



■ 3D ビューマップ

上空から見下ろした地図を表示します。



アドバイス

- 3Dビューマップ表示中、[ビュー切換] → [3D視点切換] にタップすると、角度を切り換えることができます。
- 地図をスクロール (P115) すると、**[左]**、**[右]** ボタンが表示され、タップすると方位を切り換えることができます。

地図を操作する

縮尺の切り換えや、地図スクロールなどの操作のしかたについて説明します。

縮尺の切り換え

広い範囲や詳しい範囲を見ることができます。

1 ピンチインまたはピンチアウトして、縮尺を変更する

→「操作のしかた」(P28)



指の動きに合わせて縮尺が切り換わります。

アドバイス

- 走行中に、ピンチイン/ピンチアウトを行うと、縮尺が1段階ずつ切り換わります。
- 1段階ずつ広域にするにはマルチタップ(P27)、詳細にするにはダブルタップ(P27)をすると便利です。
- [詳細]または[広域]をタップすることでも縮尺を切り換えることができます。また、ロングタップ(P27)すると連続的に縮尺の切り換えができます。

地図をスクロールする

現在地画面から別の場所に移動し、地図を確認したいときに使用します。

アドバイス

- スクロール中、地図の一部が表示されなくなる場合がありますが故障ではありません。
- スタンダード以外の地図をスクロールすると画面はスタンダードになります。

1 フリックまたはスライドして見たい場所まで画面をスクロールする

→「操作のしかた」(P27)



✚ マークを探している場所に合わせます。

アドバイス

- [戻る]にタップすると現在地画面(P99)に戻ることができます。
- ロングタップ(P27)することで連続的にスクロールすることができます。
- 地図にタップすると、タップした地点まで画面をスクロールします。

高速道路情報について

高速道路を走行すると高速略図を表示します。サービスエリアやパーキングエリアの施設情報、ジャンクションの情報を確認できます。

アドバイス

- 高速略図は、都市間高速道路、都市高速道路および一部の有料道路や自動車専用道路について表示されます。但し、開通道路情報で更新した区間は表示できません。

本書で使用している高速道路の略語は以下のとおりです。

- SA：サービスエリア
- PA：パーキングエリア
- IC：インターチェンジ
- JCT：ジャンクション

表示内容について



① 所要時間

施設に到着するまでの所要時間を表示します。所要時間は、最大999分まで表示します。

② VICS 記号表示

IC、JCTなどの施設を拠点とした規制は右側に表示します。各区間中にある規制は左側に表示します。→「VICS記号について」(P136)

③ 渋滞情報

混雑（橙）、渋滞（赤）、通行止め（灰）、その他（白）の状況を色で表示します。

④ 路線名

現在、高速略図に表示されている高速道路の路線名を表示します。

⑤ 出口情報

目的地を設定しているときに表示します。出口ICの名称と自車位置からの距離、所要時間を表示します。

⑥ 施設名と残距離表示

SA、PA、IC、JCTの名称と自車位置からの距離を表示します。降りることができないインターチェンジは表示されません。1km未満は「---」と表示し、最大999kmまで表示します。

⑦ ,

施設名のリストを前に進めたり戻したりできます。

⑧ ETC専用アイコン

スマートICがある施設に表示します。

⑨ 施設情報

この場所にある施設のマークを表示します。

⑩ 自車位置マーク

リストを現在地の位置まで戻します。

⑪

SA/PAの施設だけを前に進めたり戻したりできます。ルートを設定していないときは、JCTの施設も選択できますので、路線を選んでください。

目的地の設定

自宅を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた自宅 (P129) を目的地に設定します。

1 **MENU** キーを押す
NAVIメニューを表示します。

2 **自宅** にタップする



探索条件設定画面 (P126) を表示します。

アドバイス

- 自宅を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され設定画面を表示します。
→「自宅を登録する」(P129)

3 **案内開始** にタップする



自宅を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を [回避する] または [回避しない] をうながすポップが表示されます。



- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

特別登録地を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた、特別な場所 (P130) を目的地に設定します。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 いずれかの“特別登録地名”にタップする



探索条件設定画面 (P126) を表示します。

アドバイス

- 特別登録地を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され、設定画面を表示します。

→「特別登録地を設定する」(P130)

3 案内開始 にタップする



特別登録地を目的としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を「回避する」または「回避しない」をうながすテロップが表示されます。



- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

探した場所を目的地に設定する

探した場所を目的地に設定する一連の操作を説明します。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す



3 探した場所が表示されたら地点メニュー (P101) の「ここへ行く」にタップする



アドバイス

- 検索方法の種類によって、登録地情報に施設名や電話番号が表示されない場合があります。

4 案内開始 にタップする



探した場所を目的地としたルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を[回避する]または[回避しない]をうながすテロップが表示されます。



- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

DriveConnectを利用する

特定のWEBサイトからお店などの情報を検索し、活用することができます。



お知らせ

- DriveConnectを利用するには、あらかじめOpenInfo サービスサイトからユーザー登録が必要です。詳しくは、三菱電機のホームページをご覧ください。<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/openinfo>
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。
- あらかじめ、本機とインターネット接続可能な通信機器をWi-Fi接続(P153)しておく必要があります。
- お使いの通信機器の受信状況によっては、通信に時間がかかる場合があります。
- DriveConnectにより取得した情報は、一部収録されていない情報や、実際の表記や位置などが異なる場合があります。

■ はじめて利用するとき

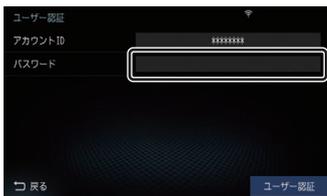
本機能をご利用になるには、ユーザー認証を行う必要があります。

- 1 **MENU** キーを押す
NAVIメニューを表示します。
- 2 **DriveConnect** にタップする
- 3 “アカウントID” にタップし、入力する



OpenInfo アカウントID (メールアドレス) を入力します。

- 4 “パスワード” にタップし、入力する



OpenInfo アカウントのパスワードを入力します。

- 5 **ユーザー認証** にタップする

認証が完了します。

アドバイス

- 次回以降、本操作をする必要はありません。(自動認証)
自動認証中は、通常より通信に時間がかかることがあります。
- パスワードを変更後、最長で2日を過ぎると操作途中で再度、認証する画面が表示されます。

■ ネットDEサーチを使う

お店などを検索し、目的地や経由地に設定ができます。

1 MENU キー→ DriveConnect にタップする

2 ネットDEサーチ機能 にタップする 検索条件画面を表示します。

3 “検索地点” にタップする



4 いずれかの“検索地点” にタップする



[指定エリア周辺]にタップした場合は、
「検索エリアを指定する」(P122)を参照
してください。

5 “検索ジャンル” にタップする



6 いずれかの“ジャンル” にタップする



リストに ① と表示されている“ジャンル”
を選んだ場合は、さらに詳細な分類を選択
できます。

画面の内容は、実際の配信情報の内容に
よって異なります。

7 店舗検索 にタップする

検索地点から半径約3kmの範囲で検索を
行います。



設定した条件の検索が完了し、検索結果画面
を表示します。

アドバイス

- 検索結果は、最大100件まで表示します。

検索エリアを指定する

検索したいエリアを指定できます。

1 「ネットDEサーチを使う」 (P121)の手順3まで操作する

2 指定エリア周辺 にタップする

3 検索したい“都道府県”にタップする

4 検索したい“市区町村”にタップする

指定した周辺の地図を表示します。

5 任意の場所に を合わせる



6 決定 にタップする

検索条件画面に戻ります。

■ スマホ DE メモを使う

スマートフォン(スマホDEメモアプリが利用できる端末)から、お気に入りのお店や気になるお店などを登録しておく、本機から登録した情報を呼び出すことができます。

注意

- あらかじめ、スマートフォンに「スマホDEメモ」アプリをダウンロードして、お店などの情報を登録しておく必要があります。詳しくは、三菱電機のホームページをご覧ください。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/driveconnect/sumahodememo>

- 「スマホDEメモ」アプリは、iOS 端末のみに対応しています。Android 端末には対応していません。

iOS 端末についても、端末やiOSのバージョンによってはお使いいただけないことがあります。

[動作確認環境]

OS : iOS Ver.8.0 以降

端末 : iPhone5s 以降

1 MENU キー→ DriveConnect にタップする

2 スマホDEメモ機能 にタップする



リストにタップすると、確認したいお店を選択できます。

アドバイス

- [詳細情報]にタップすると、選択している店舗情報を表示します。
- [地点表示]にタップすると、選択している店舗を中心とした周辺地図を表示します。地点メニュー (P101) のいずれかにタップすると、目的地や経由地の設定ができます。但し、登録地の設定はできません。
- スマホDEメモで登録した場所を目的地または経由地に設定したとき、実際のお店の場所からずれることがあります。
- 情報更新をするには必ず[リスト更新]をタップしてください。自動更新はされません。なお、一度に取得できる件数は100件までです。

リストを並び替える

1 「スマホDEメモを使う」(P122)の手順2まで操作する

2 にタップする

3 **距離順** または **登録順** にタップする

リストを並び替えます。

距離順	自車位置を基準に店舗までの距離が短い順に並び替えます。
登録順	登録日時が新しい順に並び替えます。

NaviConを使う

スマートフォン (NaviCon アプリが使用できる端末) から目的地を探し、本機に転送することができます。

転送後、本機からルートの探索を行います。



注意

- 運転中にスマートフォンを手に持って操作する行為はたいへん危険ですので絶対に行わないでください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、スマートフォンを車内に放置しないでください。

お知らせ

- 本機能を iPod/iPhone でご使用になるときは、iPod/iPhone を iPod/iPhone の USB ケーブル (Apple 純正) で本機に接続しないでください。ケーブルとの同時接続を行うと本機能はご使用になれません。
- スマートフォンに「NaviCon」アプリを事前にダウンロードしておく必要があります。詳しくは、NaviCon サポートサイトをご覧ください。

<https://navicon.com/user/support/>



次のページにつづく

お知らせ

- 最新の接続確認結果については、三菱電機のホームページをご覧ください。
- NaviCon アプリが表示する地図の縮尺はスマートフォンによって異なります。また、NaviCon 側の地図と本機側との地図の縮尺に差異を感じる場合があります。
- NaviCon アプリを操作中、スマートフォンの操作音が本機を經由して車両のスピーカーから鳴る場合があります。この現象は、スマートフォン側の操作音を OFF すると改善します。
- 本機で表示できない文字列は記号（細長い四角形）で表示されますが故障ではありません。（絵文字や特殊文字など）

■ 対応機能について

NaviCon アプリとの連携機能は以下のとおりです。

NaviCon との連携	対応
地図スクロールの遠隔操作	○
地図縮尺変更の遠隔操作	○
目的地送信	○
友達マップとの連携	○

■ 目的地を送信する

- 1 スマートフォンを本機に接続する
あらかじめ本機とスマートフォンを Bluetooth 接続 (P153) しておく必要があります。
- 2 スマートフォンで目的地を探し、本機に転送する

▼
本機にスマートフォンから転送した地点周辺の地図が表示されます。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P101) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
- NaviCon アプリでピンをドロップすると、マップコードが表示されます。このマップコードを利用すれば、スマートフォンを本機に接続することなく本機に地点を設定できます。
→「NAVIメニュー」(P30)

■ 友達マップの全体表示

友達マップとの連携を行います。

1 スマートフォンを本機に接続する

あらかじめ本機とスマートフォンをBluetooth接続 (P153) しておく必要があります。

2 スマートフォンで友達マップの機能を開始する

3 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

4 設定・編集 → INFO にタップする

5 NaviConの設定 にタップする

6 「友達マップ全体表示」の表示する にタップする



友達マップを全体表示します。

アドバイス

- 友達マップを利用する場合は、NaviConを最新バージョンに更新してください。ただし、NaviConのサポートが終了しているiOS、Androidのバージョンでは最新バージョンに更新しても本機能をご利用になれない可能性があります。
- [リスト]にタップすると、メンバーのリストを表示します。リスト表示中は、友達マップの情報を更新しません。



- 友達マップに表示可能なメンバーは最大30件です。
- 全体表示の友達マップとリスト表示中の友達マップの最大縮尺は100kmです。
- 「NaviConの設定」(P152)で「友達マップ」を[ON]に設定すると、現在地画面に自動的にメンバーのアイコンを表示させることができます。
- 以下の場合、友達マップの情報を表示できません。
 - 自分のアイコン (NaviConで表示されている青い友達アイコン)
 - 本機に表示できない (海外など) 友達アイコン
 - スマートフォン側で友達マップの機能を停止した
 - 認証キーで認証エラーとなった
 - ご自身のスマートフォン側で確認メッセージが表示されている

探索条件設定画面について

目的地にする場所が決まったときに表示される画面です。
この画面でできる操作について説明します。



① ルートの情報^{*1}

現在探索されているルートの総距離、料金、所要時間を表示します。

② 利用するインターチェンジ

最初に利用する高速道路の入口と出口のインターチェンジを表示します。

③ ルート表示

現在探索されているルートの概略を表示します。

④ 経由地

経由地の追加や変更が行えます。

⑤ ルート詳細

現在探索されているルートの詳細情報を表示します。

⑥ 探索条件

目的地までのルートの探索条件を変更できます。
→「探索条件の種類について」(P128)

⑦ 探索条件表示

現在探索されているルートの探索条件を表示します。

⑧ 省エネ度

推奨で探索したルートと比べてどのくらい燃費節約ができてきているかの度合いを確認できます。

度合い	葉っぱの状態
とても節約できる	
節約できる	
少々節約できる	
節約できない	

⑨ 乗降IC指定

ルート上に入口または出口のインターチェンジがある場合、利用したいインターチェンジを選ぶことができます。

⑩ 案内開始

現在探索されているルートの案内を開始します。

⑪ 渋滞予測経路^{*2} / 通常経路

[渋滞予測経路]にタップすると、過去の統計データに基づいて予測した渋滞情報(渋滞や混雑しやすいポイント、時間帯など)を考慮したルートを探索します。
[通常経路]にタップすると、通常のルートを探索します。

⑫ 5ルート

異なる条件で探索する5つのルートから好みのルートを選ぶことができます。

お知らせ

- 省エネ度は、[5ルート]→[省エネ]を選んだときに表示します。
- 省エネ度は、標準的なガソリン車を想定しています。
- 省エネ度は、ルートによっては、推奨とほぼ同じ消費燃費となる場合があります。
- 実際の消費燃費は交通状況などさまざまな条件で変動することがあります。そのため、省エネ度と異なる結果となる場合があります。

^{*1} 表示される料金は料金改定、税率変更などにより、実際の料金と異なる場合がございます。

^{*2} 渋滞予測経路の元となる道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センター (JARTIC) から提供されています。また、道路交通情報データ作成には、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター (VICSセンター) の技術が用いられています。

ルートの確認・変更

ルートの確認

ルートを設定している場合に、設定したルートについて確認します。

次に曲がる交差点を確認する

走行中のルートで前方に右左折する必要がある交差点がある場合は、前もって音声案内と交差点案内図を表示させることができます。

アドバイス

- ルートを走行している必要があります。
- 地図の状態によっては音声のみの案内となります。
- 直進を示すアイコンの場合は、タップしても案内図を表示しません。

1 現在地画面で“交差点案内アイコン”にタップする



次に曲がる交差点の拡大図を表示します。

全ルートを確認する

現在地から目的地までのルートを画面上で確認できる縮尺の地図を表示します。

1 現在地画面で >> にタップする



2 変更 → [全ルート表示] にタップする



ルート全体を表示した地図画面を表示します。

■ 地図上のアイコン種類

	出発地を表します。
	目的地を表します。
	設定された経由地を表します。
	高速道路の入口を表します。
	高速道路の出口を表します。

アドバイス

- ROUTEメニュー (P104) から[全ルート表示]にタップしても表示できます。

ルートの変更

設定したルートは迂回ルートや別ルートを設定できます。また、ルートの探索方法を変更できます。

探索条件を変更する

ルートの探索条件を変更できます。

1 ROUTEメニューを表示する
(→P104)

2 **探索条件変更** にタップする

探索条件を変更できます。

アドバイス

- 現在地画面表示中に **[>>]** → [変更] → [探索条件] にタップ、または探索条件設定画面 (P126) の [探索条件] にタップしても探索条件を変更できます。

■ 探索条件の種類について

探索条件は以下の中から選ぶことができます。

推奨	目的地(経由地)まで一般的と思われるルートを探します。
省エネ	目的地(経由地)までなるべく燃費節約となるルートを探します。
有料優先	目的地(経由地)の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探します。
一般優先	目的地(経由地)までなるべく有料道路を使用しないルートを探します。
距離優先	目的地(経由地)までできるだけ距離が短くなるルートを探します。

お知らせ

- 省エネルート選択時に遠回りに見える探索ルートが設定される場合があります。省エネルートはルートの距離以外にも渋滞予測情報や道の勾配、信号の数などさまざまな項目を総合的に判断し、燃料消費量が最小となるルートを探しているためです。

ルートを消去する

作成した目的地や経由地を消去し、ルートを消します。

1 ROUTEメニューを表示する
(→P104)

2 **ルート消去** にタップする

3 **消去する** にタップする

ルートの消去が完了し、現在地画面 (P99) を表示します。

登録地の設定

登録地を設定する

出かけた場所や行ってみたい場所などを登録地に設定しておく、ルート設定が簡単に行えます。

アドバイス

- 登録地は最大200件まで登録できます。

自宅を登録する

自宅を登録しておく、出かけた場所から自宅に帰るルートを簡単に設定できます。

アドバイス

- 自宅に帰るルートを設定するときは、「自宅を目的地に設定する」(P117)をご覧ください。
- 自宅を変更するときは、「登録地を変更する」(P131)をご覧ください。
- 自宅を消去するときは、「登録地を消去する」(P132)をご覧ください。
- 自宅は1件のみ登録できます。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 自宅 にタップする

3 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す

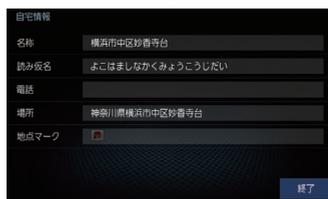
検索方法選択画面



アドバイス

- 現在地が自宅の場合、[地図から探す]にタップすると簡単に自宅を登録できます。

4 探した場所が表示されたら 決定 にタップする



探した場所に  マークが表示され、自宅の登録地情報 (P131) を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更できます。「登録地情報を変更する」(P131)の手順6以降の操作を行ってください。

5 終了 にタップする

自宅の登録が完了します。

現在地を登録する

現在地画面から、今いる場所(自車位置)を登録します。

1 現在地画面で 現在地 キーを押し続ける

現在地の登録が完了します。

アドバイス

- 登録地情報の画面は表示されず、名称を空白とした登録地が設定されます。
- 登録地情報の空欄は目的に応じて入力してください。
→「登録地情報を変更する」(P131)

特別登録地を設定する

よく行く場所や施設など特別な場所を登録することで、NAVIメニューからすぐに目的地を設定できます。

アドバイス

- 特別登録地は3件まで登録できます。
- 特別登録地を変更するときは、「登録地を変更する」(P131)をご覧ください。
- 特別登録地を消去するときは、「登録地を消去する」(P132)をご覧ください。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更できません。
「登録地情報を変更する」(P131)の手順6以降の操作を行ってください。
- 検索方法の種類によって、登録地情報に施設名や電話番号が表示されない場合があります。

5 終了 にタップする

特別登録地の登録が完了します。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 いずれかの 特別登録地 にタップする



3 いずれかの “検索方法” にタップし、場所を探す

検索方法選択画面



4 探した場所が表示されたら 決定 にタップする



探した場所に 1 マークが表示され、登録地情報画面 (P131) を表示します。

登録地を変更する

自宅や登録地の変更および消去が行えます。

アドバイス

- あらかじめ場所を登録しておく必要があります。
- [MENU] キー→[設定・編集]→[NAVI]→[登録地の編集]または[自宅・特別登録地の編集]にタップしても、登録地情報の変更ができます。

登録地情報を変更する

自宅や登録地の各情報を変更できます。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 登録地 にタップする



自宅または特別登録地を変更したい場合でも、[登録地]にタップします。

3 登録地 または 自宅・特別登録地 にタップする

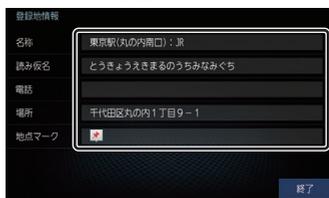
4 編集・消去 にタップする

5 上下にスライドして、変更したい“登録地”にタップする



6 変更したい“情報”にタップし、変更する

登録地情報画面



7 終了 にタップする

登録地情報の変更が完了します。

登録地情報画面について

変更できる登録地情報について説明します。

名称	地図画面で表示される登録地の地点マークの名称を変更できます。
読み仮名	登録地名称の読み仮名を変更できます。
電話	登録地に電話番号を登録しておくことができます。
場所	自宅や登録地の場所を変更できます。
地点マーク	地図画面に表示される登録地のマークを変更できます。

登録地を消去する

設定した登録地を消去します。

- 1 「登録地情報を変更する」(P131)の手順4まで操作する
- 2 消去したい登録地の“チェックボックス”にタップし、選択する



アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべての登録地を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

- 3 **消去** にタップする

- 4 **消去する** にタップする



選んだ登録地の消去が完了します。

VICS 機能

VICSについて

VICSセンターに集められた交通情報を利用できます。

VICSのメディアと特徴

VICSのメディアには、FM多重放送、光ビーコン、電波ビーコン、ETC2.0、オンライン受信があります。

■ FM多重放送

FM放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地のFM放送局から放送されています。

本機は、VICS WIDEにも対応しています。

■ 光ビーコン

光を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に主要幹線道路に設置されておりサービス範囲は狭くなります。(光ビーコン設置場所通過時)

※ 別売の光/電波ビーコン受信機が必要です。

■ 電波ビーコン

電波を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に高速道路に設置されておりサービス範囲は狭くなります。(電波ビーコン設置場所通過時)

※ 別売の光/電波ビーコン受信機が必要です。

■ ETC2.0

専用狭域(きょういき)通信を用い、画像・文字情報に加え音声情報などを提供しています。サービスエリアは限定されますが高速大容量通信が可能のためタイムリーで広範囲の情報を送信しています。ETC2.0については、「ETC2.0」(P138)をご覧ください。

※ 別売の接続ケーブルおよびETC2.0車載器が必要です。

■ オンライン受信

Wi-Fi機器(スマートフォンなど)のデータ通信機能を利用して渋滞情報などを受信する機能です。

オンライン受信は、以下の2種類があります。また、あらかじめ登録作業が必要です。

詳しくは「オンラインの情報を受信する」(P137)をご覧ください。

※ Wi-Fi接続可能な通信機器が必要です。

オンデマンドVICS

Wi-Fi機器(スマートフォンなど)のデータ通信機能を利用して、全国の渋滞情報、

駐車場情報、規制情報などのVICS情報を取得できます。この機能を利用することで出発地から遠く離れた目的地までの情報を取得できます。

※ オンデマンドVICSの情報は、インクリメントP株式会社が運営する「インクリメントP交通情報サービス」からの提供です。

※ 本サービスで使用するVICS交通情報は公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されるデータを利用して作成しています。また、道路交通情報データの作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの技術が用いられています。

※ 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

スマートループ渋滞情報

本製品のスマートループ渋滞情報は、パイオニア ロツェリア カーナビゲーションと三菱電機カーナビゲーションのリアルタイムプローブデータを共有し、リアルタイムの渋滞情報を提供します。VICS渋滞情報と合わせて全国約70万kmにおよぶ道路状況に対応。渋滞している道路を回避しながら、より早く目的地に到着できます。

※ 本製品はパイオニア(株)が運営・管理するスマートループ渋滞情報を使用しています。

スマートループ渋滞情報はパイオニア(株)の登録商標です。

※ ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

表示内容について

地図上に表示される VICS 情報について説明します。



① 駐車場情報

VICS 情報で表示される駐車場情報では、空車または満車などの状況を VICS 記号で確認できます。

② (VICS ボタン)

VICS 情報の提供時刻を表示します。
(受信した時刻ではありません。)
緊急情報を受信すると、点滅表示します。
タップで VICS メニューを表示します。
→「VICS メニューについて」(P135)

③ 規制情報

通行止めや車線規制などの交通規制を VICS 記号で確認できます。

④ 渋滞情報

渋滞・混雑の状況を線で表示し確認できます。

■ VICSメニューについて



① 駐車場情報

現在地周辺の駐車場情報を確認できます。
高速略図表示中は、表示しません。

② 規制情報

現在地周辺の規制情報を確認できます。
高速略図表示中は、ボタン名称が[規制/
SA情報]に変わります。

③ FM多重情報

文字または図形によるVICS情報を確認
できます。

④ ビーコン情報

ETC2.0の安全運転支援情報(P138)、光
ビーコン、電波ビーコンから取得した文字
または図形によるVICS情報を確認できます。

⑤ 緊急注意情報

割り込んだ緊急情報を再度表示して確認
できます。

⑥ VICS渋滞情報表示

地図上にVICS渋滞情報を表示します。

⑦ 予測渋滞情報表示

地図上に予測渋滞情報を表示します。

⑧ 提供時刻

各メディアのVICS情報提供時刻を表示します。

⑨ オンラインで受信する

Wi-Fi機器(スマートフォンなど)の通信機
能を利用して、オンデマンドVICS情報およ
びスマートループ渋滞情報を取得できます。
→「オンラインの情報を受信する」(P137)

■ VICS 記号について

地図上に以下のマークで各交通情報を案内します。

駐車場情報

- 空車 (青色) 満車 (赤色)
 混雑 (オレンジ色) 不明 (黒色)
 閉鎖

渋滞情報

灰色 (実線)	通行止め
赤色 (実線)	一般道路渋滞
赤色 (点線)	高速道路渋滞
橙色 (実線)	一般道路混雑
橙色 (点線)	高速道路混雑
紫色 (実線)	一般道路渋滞 (予測)
紫色 (点線)	高速道路渋滞 (予測)
桃色 (実線)	一般道路混雑 (予測)
桃色 (点線)	高速道路混雑 (予測)

アドバイス

- 通行止めは高速路図 (P116) で表示します。
- VICS WIDE の地図表示 (レベル3) では、「現在情報」と「統計情報」が同一の渋滞表示となります。

規制情報

- 事故 通行止め
 路上障害 速度規制 (例60km)
 作業 車線規制
 進入禁止 対面通行
 徐行 入口閉鎖
 片側交互通行 冬期通行止め
 チェーン規制 その他の規制情報
 入口制限 気象警戒速報
 故障車 災害速報
 工事 大型通行止
 凍結 緊急情報

■ VICS センターへのお問い合わせ

VICS の状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にし、「三菱電機カーインフォメーションセンター」までご連絡ください。

- VICS 車載器の調子や使用方法
- VICS 車載器の受信可否に関して
- 地図表示 (レベル3) の内容に関して
- VICS 情報の受信エリアについて
- VICS 情報の内容の概略に関して

以下の内容は、「VICS センター お客様相談窓口」までご連絡ください。

- 文字表示 (レベル1) の内容に関して
- 簡易図形表示 (レベル2) の内容に関して
- VICS の概念
- サービス提供エリアに関して

■ VICS センター お客様相談窓口

電話番号	0570-00-8831 (PHS、IP 電話などからはご利用できません)
受付時間	平日 9:30 ~ 17:45 (土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
FAX 番号	03-3562-1719(24 時間受付)
URL	https://www.vics.or.jp/

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店または、別紙に記載の「三菱電機カーインフォメーションセンター」にご連絡いただくことをおすすめします。

オンラインの情報を受信する

Wi-Fi 機器（スマートフォンなど）のデータ通信機能を利用して、オンデマンドVICS 情報およびスマートループ渋滞情報を受信します。

お知らせ

- あらかじめWi-Fi 機器（スマートフォンなど）を本機と接続しておく必要があります。→「通信の設定」(P153)
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。
- オンラインの情報を受信するには登録が必要となります。
さらに、[VICSの設定]の「走行情報（オンライン）」を[送信する]にしておく必要があります。未登録の場合や[送信しない]に設定されていると、オンデマンドVICS 情報(P133)のみを受信します。

→「NAVIの設定」(P151)

詳しくは、三菱電機のホームページをご覧ください。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/openinfo>

ユーザー登録	[VICSの設定] →「走行情報（オンライン）」	オンデマンドVICS	スマートループ 渋滞情報
未登録	送信しない	○	×
	送信する	○	×
登録済み	送信しない	○	×
	送信する	○	○

1 現在地画面で  にタップする

2 **オンラインで受信する** に
タップする

3 **はい** にタップする

渋滞情報の取得を開始します。



アドバイス

- 「走行情報（オンライン）」の送信では、より充実した道路交通情報の提供に役立てるために、お客様の走行情報などをサービス事業者に提供します。
- オンライン受信の受信方法は、[VICSの設定]の「オンライン受信」で自動または手動を選ぶことができます。
→「NAVIの設定」(P151)

ETC2.0

ETC2.0サービスとは

別売の接続ケーブルおよびETC2.0車載器を本機に接続すると、さまざまな機能がご利用になれます。

ETC2.0サービスの概要

専用狭域(きょういき)通信方式を用いて情報提供や料金決済などができるサービスのことです。

今後幅広いサービスが提供される予定です。本機に別売の三菱電機製ETC2.0車載器を接続すると、交通情報などの表示や音声情報の案内が行われます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売の三菱電機製ETC2.0車載器とETCカードおよび接続ケーブルが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ETCカード未挿入やETC2.0車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し、ETC2.0車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- 料金所は名称で表示する場合と番号で表示する場合があります。
- 本機側でETC利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、またはETCマイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC2.0車載器本体の詳細については、ETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。

ETC2.0サービスについて

今後、さまざまなサービスが始まる予定です。

お知らせ

- ETC2.0サービスは、一部開始されていない場合があります。
- 本機は情報接続サービス(道の駅における情報接続、SA・PAにおける情報接続など)には対応しておりません。

■ 音声情報

音声情報を受信すると音声で読み上げを行います。受信した音声情報を、自動で読み上げないように設定する場合は[VICSの設定]で「受信情報読み上げ」を[手動]に設定します。

→「VICSの設定」(P151)

■ アップリンク機能

走行情報などをサービス事業者に提供し、より充実した道路交通情報や、安全運転支援情報の提供に役立てます。

走行情報を提供しない場合は、[VICSの設定]で「走行情報(ETC2.0(DSRC))」を[送信しない]に設定します。

→「VICSの設定」(P151)

■ 安全運転支援情報

「前方の障害物情報」や「合流支援情報」、「事故多発地点情報」がリアルタイムに提供されます。

注意

- 安全運転支援情報は参考情報で、実際の交通状況とは異なる場合があります。必ず実際の交通状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

お知らせ

- 状況によってはその他の情報が表示される場合があります。

INFO

主に情報確認や各種設定が行えます。

各種情報を確認する

エコ情報を確認する

アクセルペダルやブレーキの使いかた（加速度情報）を元に判断し、運転操作がどれくらい燃費に良いかの評価（エコ運転評価）を確認できます。

お知らせ

- ・ エコ情報は省エネを保证するものではありません。あくまで参考情報としてご使用ください。また、道路交通法に従い、実際の交通規制や道路状況に合わせて走行してください。

表示内容について

[MENU] キー→ [INFO] → [エコ] にタップすると表示するエコ情報画面について説明します。



① エコ運転評価

エコ運転評価を表示します。

② eスタートマスターレベル

アクセルペダルやブレーキの踏みかたから採点し、採点した得点量によってバーが増減します。バーが満タンになれば、レベルがアップします。（最大レベル5まで）

③ 今回のeスタートスコア

車のエンジンをかけてから現在までのeスタートスコアを表示します。

④ 前回のeスタートスコア

前回車を利用したとき（エンジンをかけてエンジンを切るまで）のeスタートスコアを表示します。

⑤ エコ情報履歴

走行アドバイスが必要な地点を表示します。

⑥ eスタートマスター消去

eスタートマスターレベルを消去できます。

⑦ eスタートスコア消去

eスタートスコアを消去できます。

お知らせ表示について

走行中や目的地到着後に表示されるお知らせ表示について説明します。

■ エコスコア

ルート案内中、燃費に良い運転方法の評価をバーグラフで表示します。



	渋滞などが原因による低速走行が続いたとき、エコスコアが計算できなくなったときに表示します。
	よい状態です。
	やや良い状態です。
	普通の状態です。
	やや悪い状態です。
	悪い状態です。

エコスコアに表示されているバーの点灯が多いほど、燃費に良い運転ができています。(5段階で表示します。)

アドバイス

- エコスコアを表示させたくない場合は、[エコ情報の設定]の「エコスコア表示」で[表示しない]にします。
→「エコ情報の設定」(P152)

■ エコアドバイス

走行中、良い燃費に必要な運転方法のアドバイスを表示し、アナウンスを行います。



エコアドバイスは次のとき案内します。

- 燃料消費が少ない運転
- eスタート発進
- 急発進、急加速、急減速

アドバイス

- エコアドバイスを使用したい場合は、[エコ情報の設定]の「エコアドバイス」で[使用する]にします。
→「エコ情報の設定」(P152)

■ 目的地到着後のお知らせ

目的地の手前に近づくと、ルート走行中の評価をeスタートスコアおよびエコスコアでお知らせします。

eスタートスコア表示



エコスコア表示



アドバイス

- 目的地到着後のお知らせを表示させたくない場合は、[エコ情報の設定]の「エコ情報お知らせ表示」で[表示しない]にします。
→「エコ情報の設定」(P152)

ETC 情報を確認する

ETCの使いかたについて説明します。

ETCとは

ETCとは、有料道路などにおけるノンストップ自動料金収受システム (Electronic Toll Collection System) のことです。

本機に別売の接続ケーブルおよびETC車載器またはETC2.0車載器を取り付けることで本機能をご利用になれます。

- 有料道路などの料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。
- 料金所の出入り口で通行料金を音声で案内します。
- ETCの通行履歴を表示できます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売の三菱電機製ETC車載器またはETC2.0車載器とETCカードおよび接続ケーブルが必要です。但し、モデルによっては接続できない場合がありますので、詳しくは販売店にお問い合わせください。
- ETC車載器とETC2.0車載器が同時接続されている場合、ETCゲートを正しく通過できないことがありますので、同時接続はしないでください。
- ETCカード未挿入やETC車載器またはETC2.0車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- ETCゲート、ETCカード未挿入お知らせアンテナもしくは予告アンテナを通過した場合に、料金案内図やお知らせなどを表示する場合があります。
- 料金所は名称で表示される場合と番号で表示される場合があります。

お知らせ

- 本機側でETC利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、またはETCマイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC車載器またはETC2.0車載器本体の詳細については、車載器の取扱説明書をご覧ください。

ETCの履歴を確認する

全履歴情報画面を表示して確認できます。

注意

- 履歴読み込み中にETCカードを抜かないでください。通信エラーなどが発生します。

お知らせ

- ETCに関するエラー表示があった場合、ETCカードを正しくETC車載器に挿入するまでETC履歴の画面を表示できません。
- 2002年度以前に発売されたETC車載器をご使用の場合は、履歴に時刻が表示されません。

アドバイス

- 履歴は最大100件まで新しいものから順に表示します。
- 料金は、-99,999円~999,999円まで表示できます。

1 **MENU** キーを押し、
画面を左にスライドする
INFOメニューを表示します。

2 **ETC** にタップする



全履歴情報画面を表示します。

ニュースリーダーを使う

Wi-Fi機器(スマートフォンなど)のデータ通信機能を使って取得したニュースの表示、読み上げができます。

お知らせ

- あらかじめWi-Fi機器(スマートフォンなど)を本機と接続しておく必要があります。→「通信の設定」(P153)
- 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。
- お使いの通信機器の受信状況によっては、通信に時間がかかる場合があります。
- 本機取り付け直後など、GPSによる時刻取得ができていない状態では、ニュース情報の取得ができません。
- ニュースリーダー画面に切り換えると、オーディオが消音(ミュート)状態になります。
- ニュースを取得すると、24時間保存されます。ニュースが保存されている間は、通信機器との接続がなくても保存されているニュースを表示できます。
- ニュースリーダーは当社または当社へニュースを提供する時事通信社の事由により、お客さまに事前の通知をすることなくサービスを変更、停止、中断または終了することがあります。あらかじめご了承ください。
- 読み上げ音声の音量は、「システムの設定」(P153)の「案内音量」に連動しています。
- 読み上げにおいては、単語の読み方を誤ったり不自然なイントネーションとなったりする事があります。

ニュースリーダーを起動/終了する

■ 起動するには

- 1 **MENU** キーを押し、画面を左にスライドする
INFOメニューを表示します。

- 2 **ニュースリーダー** にタップする



ニュースリーダーのホーム画面を表示します。

■ 終了するには

ニュース読み上げ中に、ニュースリーダーを終了すると、読み上げは停止します。

- 1 **現在地** キーなどを押す
[現在地]、[AV]、[MENU]、[▲]キーのいずれかを押します。

ニュースリーダーを終了します。

アドバイス

- ニュースリーダーのホーム画面から[戻る]にタップしても、ニュースリーダーを終了できます。

① カテゴリ^{*1、*2}

タップしたカテゴリのニュースを表示し、読み上げます。

② 発話マーク

タップすると音声認識^{*3}が利用できます。

③ 戻る

ニュースリーダーを終了し、1つ前に戻ります。

④ 電波強度アイコン

⑤ ニュース更新^{*2}

最新のニュース^{*4}を取得します。

⑥ 新着アイコン^{*5}

初めて取得したニュースには、新着アイコンが表示されます。

⑦ リスト^{*2}

タップすると選択されたニュースの見出しを読み上げます。

⑧ ◀▶⏸▶▶^{*2}

ニュースの選択や一時停止、再生が行えます。

⑨ 戻る

1つ前に戻ります。

⑩ 詳細^{*2}

選択されたニュースの詳細画面を表示します。

※1 過去3日間に配信されたニュースがない場合や「取得カテゴリ」で[取得しない]を選択しているときは、対象のカテゴリを選択できません。

※2 音声認識モードにて音声操作可能です。詳しくは音声認識コマンドリスをご覧ください。

※3 ニュースリーダー専用の音声認識モードになります。

※4 ニュースは、取得してから24時間経過すると削除されます。

※5 一度取得したニュースが削除された後に、同一ニュースを再取得する場合があります。再取得したニュースでも新着アイコンは表示されます。

電話を使う

電話の使いかたについて説明します。

警告



禁止

- **運転中は運転中に携帯電話を手にもって使用しない。**
走行中に携帯電話を手にもって使用することは法律で禁止されています。また、事故の原因になります。
- **携帯電話を放置しない。**
停車したときやカーブを曲がるときに携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



必ず行う

- **ご使用になる前に、安全な場所に車を止めた状態で、着信音量、受信音量、送信音量の確認を行ってください。**
事故の原因となることがあります。
[電話の設定]の「○○音量」で適度な音量に設定し、ご使用ください。
→「**INFOの設定**」(P152)
音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。

お知らせ

- 通話中に Wi-Fi 機器の検索を行うと通信中にノイズが発生することがありますが、故障ではありません。
- 外部アンプを使用した場合、外部アンプのゲイン(増幅度)によっては、電話音声にエコーがつくなど、聞き取りにくくなる場合があります。
- 本機の取り付け位置、別売の外部マイクの取り付け位置によっては、通話相手に聞こえる電話音声聞き取りにくくなる場合があります。

お知らせ

- Wi-Fi 接続している状態で Bluetooth 接続を行うと接続に失敗する場合があります。再度、Bluetooth 接続の操作を行ってください。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(絵文字や特殊文字など)

電話画面を表示する

電話帳や発信履歴を利用して電話をかけることができる電話画面を表示します。

- 1 **MENU** キーを押し、**画面を左にスライドする**
INFO メニューを表示します。

- 2 **電話** にタップする

▼
電話画面を表示します。

携帯電話を接続する

本機と携帯電話は、Bluetooth 機能を使用して接続します。

- 1 **電話画面を表示する** (→P144)

- 2 **接続設定** にタップする

接続は「**Bluetooth の設定**」(P153)をご覧ください。
以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

お知らせ

- Bluetooth 接続ができる携帯電話が必要です。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態に接続してください。
- 最新の接続確認結果については、三菱電機のホームページをご覧ください。

電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

注意

- なるべく走行中の通話は控え、安全な場所に停車してから使用してください。

お知らせ

- 同じ相手に電話をかける場合は携帯電話の制約により3分間に4回以上かけることができない場合があります。

1 電話画面を表示する (→P144)

2 [番号入力] にタップする

3 “電話番号” を入力する



オフフックアイコン

アドバイス

- [*+] または [#P] にロングタップ (P27) すると、[+] または [P] を入力できます。
- 誤入力した場合は、◀ または ▶ で位置を選び、✕ にタップして消去します。
- 電話 (Android スマートフォン) に複数の通話アプリが存在する場合、電話側に確認画面が表示されますので、使用するアプリを選択してください。一定時間選択されない場合、Bluetooth 接続が解除されます。
- [リダイヤル] にタップすると、前回、本機からかけた電話番号に電話をかけることができます。

4 “オフフックアイコン” にタップする

電話がかかります。

電話がかかってくると

着信音があり、着信中の画面が表示されます。



お知らせ

- 着信時、携帯電話の着信音が取得できた場合は、携帯電話の着信音が鳴ります。取得できなかった場合は、本機が用意した着信音が鳴ります。(いずれも車両のスピーカーから鳴ります。)

1 [応答] にタップする



通話できます。

アドバイス

- 運転中など、通話できない状況では [拒否] にタップすることで通話を拒否できます。

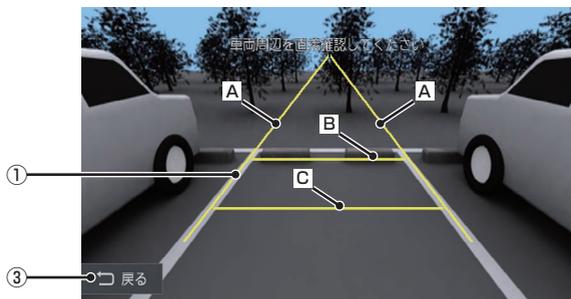
カメラを使う

別売のリアカメラが接続されている場合、ディスプレイにリアカメラの映像を表示できます。

お知らせ

- 接続するカメラによっては、本書で記載する内容で動作しない場合があります。リアカメラを取り付けた場合はあらかじめ[リアカメラの設定]の[リアカメラの接続設定]で[接続あり]を選択する必要があります。詳しくは取付要領書をご覧ください。

表示内容について



① ガイド線(目安線)

車両の幅や距離の目安となる線。

A: 車幅 + 約 20cm の目安

B: 車両最後尾から約 2m の目安

C: 車両最後尾から約 50cm の目安

② 戻る

カメラ映像を消して直前の画面に戻ります。

お知らせ

- ガイド線は、[リアカメラの設定]の[カメラガイド線の設定]で[ガイド線表示]にタップして表示しておく必要があります。→「リアカメラの設定」(P152)
- [リアカメラの設定]の[カメラガイド線の設定]でガイド線をあらかじめ調整しておく必要があります。詳しくは取付要領書をご覧ください。

警告

- カメラの映像は、注意義務を免除または軽減するものではありません。カメラが装着されていない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。

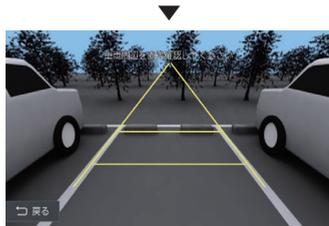
注意

- 泥や雪などが付着して固まったときは、堅い棒などでたたかず水または、ぬるま湯をかけ、柔らかい布で拭き取ってください。
- 乗車人数や積載状態によっては、カメラ映像とガイド線が一致しない場合があります。
- 坂道や車両が傾いている場合は、カメラ映像とガイド線が一致しない場合があります。

表示するには

■ リアカメラの映像を表示する

1 シフトポジションを「R」にする



リアカメラの映像を表示します。

アドバイス

- シフトポジションを「R」にしたまま [現在地] キーを押して現在地画面を表示すると、現在地画面に  が表示されます。 にタップするとリアカメラの映像に戻ることができます。
- 車両取付確認 (P153) の画面や設定の初期化中、地図の更新中では、シフトポジションを「R」にしてもリアカメラの映像は表示されません。

メンテナンス情報を確認する

お車の各パーツの交換時期を管理できます。

メンテナンス情報を表示する

エンジンオイルやオイルフィルタなどの交換時期を確認できます。

お知らせ

- メンテナンス情報で使用する走行距離は本機で計算したものであり、車両の距離計と必ずしも一致しません。
- 地図更新中、プログラム更新中などは走行距離の計算ができないため、この間に走行した距離はメンテナンス情報に反映されません。

1 MENU キーを押し、画面を左にスライドする

INFOメニューを表示します。

2 「メンテナンス」にタップする



メンテナンス情報を表示します。

アドバイス

- 各パーツの交換予定日または交換後の走行距離が近づくと黄色、過ぎると赤色で表示されます。
- 交換時期の通知は交換予定日の10日前もしくは交換後の走行距離が残り200km以下となります。

3 確認したいパーツの「詳細」にタップする



詳細情報を表示します。

アドバイス

- 「前回交換日」は、メンテナンスを実施した日付を表示します。
- 「次回交換予定日」はメンテナンス実施日を表示します。
- 「交換後走行距離」はメンテナンス実施日までの残走行距離を表示します。

■ メンテナンス情報の種類について

お知らせ

- 以下、あらかじめ用意しているパーツのメンテナンス期日およびメンテナンス距離は、工場出荷時の値を示しています。
- 工場出荷時の値については、お車のメンテナンスブックなどを参考に变更しておくことをおすすめいたします。

名称	メンテナンス期日	メンテナンス距離 (km)
エンジンオイル	1年	15,000
オイルフィルタ	1年	15,000
AT/MTオイル	4年	40,000
ブレーキオイル	4年	40,000
デフオイル	8年	80,000
タイヤ交換	1年	10,000
タイヤローテーション	6ヶ月	5,000
ブレーキパッド(F)	1年	5,000
ブレーキパッド(R)	1年	5,000
空気圧チェック	1ヶ月	1,000
ワイパーブレード	1ヶ月	1,000
ラジエタークーラント	4年	40,000
バッテリー	1ヶ月	1,000
エアフィルタ	5年	50,000
ウォッシュャー液	1ヶ月	1,000
ユーザー項目1	-	-
ユーザー項目2	-	-
ユーザー項目3	-	-

バージョンアップする

本機のバージョンアップには、無償地図更新用ディスクを使う方法と別売のSDカードを使う方法の2通りがあります。

お知らせ

- 無償地図更新用ディスクを入手するためには、OpenInfo サービスサイトよりユーザー登録をする必要があります。
登録・申請期限は、2024年7月31日までとなります。
- 無償地図更新用ディスクは、2021年度版、2022年度版、2023年度版より最大2回のお申し込みが可能です。

バージョンを確認する

「Pure Audio Mode」を[OFF]にしてください。(→P49)

DTVバージョンが「不明」となり、バージョンの確認ができません。

1 **MENU** キーを押し、 画面を左にスライドする

INFOメニューを表示します。

2 **バージョン** にタップする



地図データバージョンを表示します。

本機の設定

その他の設定

NAVIの設定

ナビゲーション機能に関する各設定を変更します。

- MENU** キーを押す
NAVIメニューを表示します。
- 設定・編集** にタップする
- NAVI** にタップする
- 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

設定できる項目について

登録地の編集	登録地の新規登録や情報の変更、消去、並べ替えが行えます。このボタンをタップした後の操作は、「登録地情報を変更する」(P131)の手順5以降と同様に行います。
検索履歴の消去	登録されている検索履歴を消去できます。
自宅・特別登録地の編集	自宅や特別登録地の新規登録や情報の変更、消去が行えます。このボタンをタップした後の操作は、「登録地情報を変更する」(P131)の手順5以降と同様に行います。
表示の設定	表示に関する設定の変更が行えます。
音声の設定	音声案内に関する設定の変更が行えます。 (操作音などの設定については、「案内音・操作音の設定」(P153)をご覧ください。)
探索の設定	ルート探索に関する設定の変更が行えます。
VICSの設定	VICSに関する設定の変更が行えます。
信号情報案内の設定	信号情報案内に関する設定が行えます。
DriveConnectの設定	DriveConnectに関する設定の変更が行えます。
自転車位置の補正	センサー学習情報の消去や現在地の補正が行えます。

AVの設定

AV機能に関する各設定を変更します。

- 1 **MENU** キーを押す
NAVIメニューを表示します。
- 2 **設定・編集** にタップする
- 3 **AV** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

録音方法の設定	CDの録音に関する設定の変更ができます。
DVD 初期設定	DVDの初期設定の変更ができます。
録音速度の設定	「高速録音」と「高音質録音」を選ぶことができます。

INFOの設定

電話やETC、カメラなどに関する設定が行えます。

- 1 **MENU** キーを押す
NAVIメニューを表示します。
- 2 **設定・編集** にタップする
- 3 **INFO** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

登録番号の編集	登録電話番号の編集、消去が行えます。
電話の設定	着信や受話 / 送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。
NaviConの設定	友達マップとの連携設定や友達マップの表示が行えます。
ETCの設定	別売の接続ケーブルおよびETC車載器またはETC2.0車載器を接続すると、ETCに関する設定が行えます。
HUDの設定	別売のヘッドアップディスプレイを本機に接続するとヘッドアップディスプレイに関する設定が行えます。
デバイスIDの表示	デバイスIDの確認ができます。
リアカメラの設定	リアカメラに関する設定が行えます。詳しくは取付要領書をご覧ください。
エコ情報の設定	エコ情報に関する設定が行えます。
ニュースリーダーの設定	ニュースリーダーの受信に関する設定が行えます。

通信の設定

BluetoothやWi-Fi接続に関する設定が行えます。

※ Bluetooth機器やWi-Fi機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が使用しています。他の機器の影響や、Bluetooth機器とWi-Fi機器を同時に使用した場合、通信性能が低下することがあります。

- 1 **MENU** キーを押す
NAVIメニューを表示します。
- 2 **設定・編集** にタップする
- 3 **通信** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

Bluetooth® の設定	市販されているBluetooth機器をBluetooth機能を使って本機に接続できます。
Wi-Fi® の設定	市販されているWi-Fi機器(スマートフォンの場合はデザリング可能な機器)を本機に接続できます。

システムの設定

本機の操作音やパワーアンテナの設定、車両取付確認などが行えます。

- 1 **MENU** キーを押す
NAVIメニューを表示します。
- 2 **設定・編集** にタップする
- 3 **システム** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

案内音・操作音の設定	操作音量の設定が行えます。
音声認識の設定	音声操作に関する設定が行えます。
セキュリティロックの設定	盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。 また、セキュリティロックLEDを点滅させることができます。
ハードキー動作の設定	[MENU]キー長押し動作の変更が行えます。 [音声認識]と[カメラ]を選択できます。工場出荷時は、[音声認識]に設定されています。
ステアリングリモコンの設定	純正ステアリングリモコンから操作ができるように設定できます。自動車メーカー/リモコン種別を設定します。
マイクの設定	マイクに関する設定が行えます。
パワーアンテナの設定	パワーアンテナに関する設定が行えます。
車両取付確認	取付業者様用の機能です。車両に取り付けた後の信号チェックが行えます。
メモリ初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻します。

TVの設定

テレビ機能に関する各種設定が行えます。

- 1 AVメニューを表示する
(→P60)
- 2 **TV** にタップする
- 3 **画面** にタップする
テレビの操作画面を表示します。
- 4 **メニュー** にタップする
- 5 設定したい“項目”にタップする



- 6 設定したい“内容”にタップする



- 7 “設定”にタップする



▼
設定内容を変更します。

■ 設定項目について

視聴設定	字幕や音声の設定が行えます。
情報確認	チャンネル一覧や各種情報を確認できます。
受信機設定	自動ワンセグ切り換えの設定の他、表示に関する設定が行えます。
初期設定	ホームCHスキャンのやり直しや地上デジタルTVチューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。

Other

困ったときは、用語解説、用語索引などの参考情報を記載しています。

困ったときは

画面にメッセージが表示されたときや「故障かな?」と思ったときに確認してください。

こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせて画面にメッセージを表示します。

■ ナビゲーション機能

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行中、操作してはいけないボタンを操作した。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて操作してください。
地図データがありません。	地図データがないエリアに地図スクロールした。	地図スクロール先を変更してください。
縮尺を変更します。	自車またはカーソルの中心が、設定している縮尺の地図情報がない場所に移動した。または、再びある場所に移動した。	—
該当する施設の情報がありません。	施設ジャンル検索で都道府県を指定したが当該都道府県の施設情報が本機に登録されていない。	別の都道府県を選択するか、ジャンルを変更してください。
周辺に情報がありません。	周辺施設の情報が本機に登録されていない。	位置を移動して検索してください。
入力された局番はデータがありません。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	住所、施設など別の検索手段で検索してください。
入力された番号はデータがありません。 代表地点を表示します。		
該当するデータがありません。 周辺の地図を表示します。	住所検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	電話番号、施設など別の検索手段で検索してください。
キーワードに該当する施設がありません。	キーワード絞り込みで入力したキーワードに該当する施設が本機に登録されていない。	キーワードを変更し、再度絞り込みを実施してください。
現在の検索結果に、この絞り込み方法は選択できません。	何らかの原因で絞り込みが実行できない。	絞り込み方法を変更するか、設定済みの絞り込み条件を解除してから再度絞り込みを実行してください。

次のページにつづく

「ナビゲーション機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
上限に達したため、これ以上指定できません。	地域またはジャンルで絞り込む際に上限の数を超える絞り込み候補を指定しようとした。	絞り込み候補の件数は5件以内で指定してください。
絞り込み条件はこれ以上設定できません。	キーワード絞り込みを3回実行した後で、さらにキーワード絞り込みを実行しようとした。	キーワード絞り込みは3回以内となるように実行してください。
ルートを探索できませんでした。	何らかの原因で、探索に失敗した。	探索条件などを再度確認し探索してください。
経由地を設定できません。	目的地に到着している状態で、経由地を設定した。	目的地を再度設定してから、経由地を再度設定してください。
経由地を消去できません。	通過済みの経由地を消去しようとした。	通過した経由地は再度案内することはありませんので、そのままご使用いただいても問題ありません。 それでも経由地を消去したい場合は、目的地を再度設定してから、立ち寄らない経由地を除いた経由地を再度設定してください。 (経由地の消去は、当該経由地を通過する前に行ってください。)
入力されたマップコードはデータにありません。	入力した MAPCODE の該当地点がなかった。	MAPCODE を再度確認してください。
通信中のため回線接続できません。	通信に使用している機器が他の機能で通信中となっている。	通信に使用している機器が他の機能で通信中となっている場合は、情報を取得できません。 通信が終わってから再度取得してください。

■ オーディオ機能

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません。	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでも問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりがあるディスクを挿入しないでください。
再生できません。 ディスクを確認してください。	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 →「再生できるディスクの種類について」(P61)
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
高温のため再生できません。 しばらくお待ちください。	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
低温のため再生できません。	本機の内部温度が低い。	SDカードを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
この iPod は再生できません。	認証に失敗した。	iPod を接続しなおしてください。
	認識できない未対応フォーマットの iPod が接続されている。	本機に対応している iPod (P12) を使用してください。
	iPod のソフトウェアバージョンが正しくない。	対応するソフトウェアバージョンを使用してください。
この USB メモリは再生できません。	認証に失敗した。	USB デバイスを接続しなおしてください。
再生可能なデータがありません。	再生可能な音楽ファイルが入っていない。	再生できる音楽ファイルを入れてください。 →「音楽ファイルについて」(P62)
	曲が入っていない iPod/USB デバイスを接続した。	曲が入った iPod/USB デバイスを接続してください。
再生できませんでした。	対応していない音楽ファイルを再生した。	再生できる音楽ファイルを確認してください。
	著作権保護のファイルを再生した。	著作権保護付きのファイルは再生できません。著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルが破損している。	正しい音楽ファイルを入れてください。
リージョンコードが違います。 ディスクを確認してください。	本機のリージョン番号と異なる DVD ビデオを挿入した。	リージョンコード [2] を含む DVD ビデオに交換してください。
このディスクの映像方式 (PAL) には対応していません。	PAL 方式で記録された DVD ビデオを使用している。	NTSC 方式で記録された DVD ビデオを使用してください。
このディスクは再生できません。	DVD-VR の読み込みに失敗した。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。数回試して正常に動作しない場合は、ディスクに何らかの異常がある可能性があります。

「オーディオ機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
このSDカードは使用できません。	SDカードの読み込みに失敗した。	SDカードを挿入しなおしてください。
	本機に対応していないSDカードを挿入した。	本機に対応しているSDカードを挿入してください。 →「SDカードの曲を聴く」(P76)
SDカードに書き込みできません。SDカードを確認してください。	SDカードが「Lock」状態になっており、書き込みできない。	SDカードを取り出し、「Lock」を解除してください。
SDカードの空き容量が不足しています。これ以上録音できません。	SDカードの容量がいっぱいになったため、MusicFolderに録音できなくなった。	不要な曲またはプレイリストを消去して、再度録音してください。
録音できませんでした。	何らかの原因で録音できない。	別の音楽CDに交換してください。
		別のSDカードに交換してください。
CD録音中のため、SD内のビデオは再生できません。	MusicFolderに録音中。	録音が終わってからSDカードの動画をご覧ください。

■ テレビ機能

メッセージ	原因	処置
放送局が登録されていません。ホームCHスキャンを実行してください	ホームCHに放送局が登録されていない。	ホームCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「はじめてテレビを見るとき」(P93)
放送局が登録されていません ドライブCHスキャンを実行してください	ドライブCHに放送局が登録されていない。	ドライブCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「表示内容について」(P94)

■ ETC機能

別売のETC車載器またはETC2.0車載器を本機に接続したときに表示するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ETC車載器が未接続のため表示できません。	ETC車載器が接続されていない。 ETC車載器が故障している。	販売店にご相談ください。
ETCカードが挿入されていません。	ETCカードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETCカードをETC車載器に正しく挿入してください。
ETCカードの有効期限が近づいています。 有効期限は○月末です。	ETCカードの有効期限が近づいている。	ETCカードの有効期限が切れる当月から案内します。 有効期限が過ぎる前に新しいETCカードを挿入してください。

用語解説

ナビ関連用語

ナビに関する用語を説明します。

細街路

道幅の狭い一部の道路。縮尺100m以下の地図で表示できます。

走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。

市街地地図

縮尺10/25/50mで表示されるビルや家の形まではっきりと見える地図です。

自転車

本機を装着しているお客さまのお車のことです。

ジャイロセンサー

車の進行方向を調べる部品です。

車速センサー

車の走行距離を調べる部品です。

スマートIC

スマートIC(スマートインターチェンジ)は、ETC車載器またはETC2.0車載器装着車に限定したインターチェンジで、高速道路の本線・サービスエリア・パーキングエリアなどに設置されたインターチェンジです。

センシングリルート

ルート案内時、故意にルートを外れたとナビが判断した場合に元のルートに戻るリルートではなく、その時点での最適と思われるルートを案内する機能です。

走行軌跡

地図には、自転車が走ってきた道に印(点線)がつけます。この印(点線)を走行軌跡と言います。

測位

人工衛星からの電波を受信して、その情報を元に自転車の位置を割り出すことを言います。

マップコード

特定の場所の位置データをコード化し、1～12桁の番号と「*」(アスタリスク)でその場所を特定することができるものです。

従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソーコミュニケーションズ

お問い合わせホームページ

<http://www.denso-communications.jp/mapcode/>

受付時間 10:00～12:00

13:00～16:00

(土・日、会社休日を除く)

マップマッチング

実際に走行している道路から外れた位置に自転車位置マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自転車位置マークを道路上に表示させる機能です。

ランドマーク(→P101)

お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

ETC2.0(→P138)

ETC2.0は従来のETCの機能であるノンストップ自動料金収受システムに加え、渋滞回避や安全運転支援サービスなどの総称です。

GNSS

GNSSは、Global Navigation Satellite System (全地球測位システム) の略称です。米国が開発運用している人工衛星「GPS」の他に、ロシアの「GLONASS (グロナス)」、日本の「QZS (準天頂衛星)」などを利用した測位システムの総称です。

GPS (→P98)

GPSは、Global Positioning System (グローバル・ポジショニング・システム) の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で、周回しているGPS衛星から地上に放射される電波を受信し、現在位置を知ることができます。

VICS (ビックス)

VICSは、Vehicle Information and Communication System (道路交通情報通信システム) の略称です。VICSレシーバーセットを装着すると、事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

Wi-Fi

Wi-FiはWireless Fidelity (無線LAN) の略称です。スマートフォンやタブレットなどを無線でLAN (ローカルエリアネットワーク) 接続する技術です。

3Dリアルジャンクション

高速道路の分岐点が近づくと、3Dの静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。

オーディオ関連用語

オーディオに関する用語を説明します。

追いかけて再生

音楽CDを録音中にすでに録音済みの曲を頭から再生します。その間も録音はつづけられます。

プレイリスト

MusicFolderに音楽CDの曲を録音すると、アルバムごとに格納される場所が自動的に作成されます。その場所のことをプレイリストと言います。

ID3タグ

MP3ファイルの終わりに、曲名/アーティスト名/アルバム名/製作年度/コメント/音楽ジャンルを128バイトの固定の長さにし、ファイルとして格納しています。

MusicFolder (→P82)

挿入した音楽CDの曲を、SDカードに録音する機能です。

Sound Settings 関連用語

音質調整に関する用語を説明します。

アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー

現在イコライザーの主流となっているIIR（無限インパルス応答）方式は、調整は容易ですが演算回数が多く演算誤差が蓄積されるため音質が著しく劣化します。

一方FIR（有限インパルス応答）方式は、演算回数が少なく音質劣化は最小限に抑えられますが、任意の周波数ポイントでの個別調整が難しいという特性があり、イコライザーへの使用は困難でした。

「アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー」は、調整時は40bitIIR方式で演算し、再生時には一旦64bit演算コアに高精度演算変換をした後、さらにFIR演算方式に変換するため、容易な調整操作と高音質の両立を実現しています。

アジャスタブルFIRクロスオーバーネットワーク

スピーカーユニットごとに再生周波数帯域や音量バランスを任意に設定できるのが、クロスオーバーネットワークです。

この機能も「アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー」と同一の信号処理によって実現されており、64bit演算コアの高精度演算をFIR演算に変換することで、音質を飛躍的に高めました。

イコライザー

周波数特性を調節することができる装置や機能のことを言います。

音像

スピーカーから出力された音で再現されるボーカル、楽器などの位置や輪郭を言います。

音場

スピーカーから出力された音で再現される演奏状況や空間を言います。

カットオフ周波数

ハイパスフィルターやローパスフィルターで減衰させたポイントの周波数を言います。

クロスオーバー

クロスオーバーネットワークとも言い、2Wayや3Wayスピーカーで再生周波数帯域を分割する機能や装置のことを言います。

クロスオーバー周波数

クロスオーバーネットワークで分割された周波数帯域の境目を言います。

ゲイン

電気回路の増幅器によって電気信号を増幅すること、またはその増幅の値のことを言います。

スロープ

ハイパスフィルターやローパスフィルターでの減衰度合いを言います。

1オクターブあたり何デシベル落ちるかを設定するもので、マイナスの値が大きいほど急激に減衰し小さいほど緩やかに減衰します。

タイムアライメント

各スピーカーからリスニングポジションまでの音の到達時間を補正する機能のことを言います。

この機能を使用することで、中央で聴くことができない車の中で音の聴こえるタイミングを合わせることができます。

ハイパスフィルター

ローカットフィルターとも言い、高い再生周波数帯域を持つスピーカーに対して低い周波数をカットする装置または機能のことを言います。

パッシブクロスオーバーネットワーク

アンプ（本機または別売の外部アンプ）とスピーカーとの間に設置するもので、各スピーカーが持っている再生周波数帯域に分割した信号を送り込む装置（コイル、コンデンサなど）のことを言います。

フルレンジスピーカー

高域から低域までの周波数帯域を1つのユニットでカバーするスピーカーのことを言います。実際には音楽CDの周波数帯域をすべてカバーすることが難しいため、2Wayや3Wayなどのスピーカーを使用することが一般的とされています。

次のページにつづく

マルチアンプシステム

2Wayや3Wayなどで用いられる方法で、高音/中音/低音のそれぞれの音域に対して、専用のアンプを接続し動作させるシステムです。

リスニングポジション

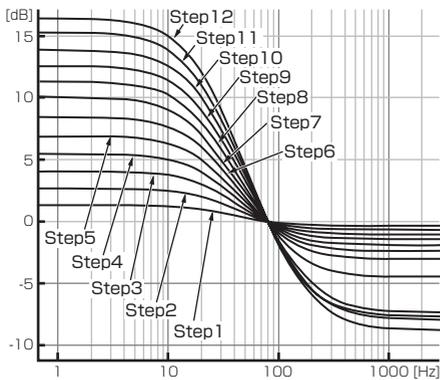
音を最適に聴く位置のことを言います。

ローパスフィルター

ハイカットフィルターとも言い、低い再生周波数帯域を持つスピーカーに対して高い周波数をカットする装置または機能のことを言います。

ローブースト

低域だけを持ち上げる機能のことを言います。



表示	特性 (dB/oct)
Step 0	Flat
Step 1	0.5
Step 2	1.0
Step 3	1.5
Step 4	2.0
Step 5	2.5
Step 6	3.0
Step 7	3.5
Step 8	4.0
Step 9	4.5
Step 10	5.0
Step 11	5.5
Step 12	6.0

FIRフィルター

有限インパルス応答方式のデジタルフィルターです。

任意の周波数ポイントでの個別調整には向きませんが、演算誤差が蓄積されないため、音質劣化を最小限に抑えることができます。

IIRフィルター

無限インパルス応答方式のデジタルフィルターです。任意の周波数ポイントでの個別調整が容易に行える反面、演算誤差が蓄積されるためFIRフィルターと比べると音質が劣化する傾向にあります。

2Wayスピーカー

ツイーターとウーファーなど2つのユニットで構成されるスピーカーです。2つのユニットを組み合わせることで高域と低域をカバーすることが可能となります。

2つのスピーカーに分かれたセパレートタイプや1つのスピーカーに2つのユニットが装着されたコアキシャルタイプがあります。

3Wayスピーカー

ツイーターとミッドレンジ、ウーファーと3つのユニットで構成されるスピーカーです。3つのユニットを組み合わせることで高域、中域、低域をカバーすることが可能となります。2Wayよりもそれぞれのスピーカーの特性を活かすことができるため、余裕を持って動作させることができます。

DVDビデオ関連用語

DVDビデオに関する用語を説明します。

言語コード

DVDビデオを再生するときに設定する各言語のコード。

タイトル

DVDビデオにはいくつかの大きな区切りが設定されており、その1つの区切りをタイトルと呼びます。また、各タイトルに設定された番号をタイトル番号と呼びます。

チャプター

各タイトルにはさらにいくつかの区切りが設定されており、その1つの区切りをチャプターと呼びます。また、各チャプターに設定された番号をチャプター番号と呼びます。

続き再生

ビデオ再生中に停止などで再生を中断後、再度再生したときに同じ場面から再生を開始する機能です。レジューム再生とも呼びます。

※ 続き再生ができるときは  が点滅し、できないときは  が表示されます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術。

マルチアングル

1つの場面のアングルを変えて見ることができる機能です。

※ マルチアングル対応のDVDビデオのパッケージには  が記載されています。

レターボックス画面

ワイドソフトを4:3の画面で再生したときに、上下に黒い帯を入れた状態で再生する画面。ビデオのパッケージに  と表示されているワイドソフトを4:3の画面で再生するとレターボックス画面で表示されます。

ワイドソフト

ワイドテレビ(横16:縦9)で再生するように画像を16:9で収録したソフト。

CPRM

記録型DVDディスクなどに使われている著作権保護技術のこと。

DTS Digital Surround

デジタルシアターシステムズ社の開発したデジタル音声圧縮の技術。DVD-VIDEOではオプション規格のため必ず収録されているとは限りません。

MPEG

画像(動画)圧縮の国際標準フォーマット。

NTSC

カラーテレビの方式。

日本ではNTSC方式が採用されており、本機もNTSC方式専用となっています。他のテレビ方式(PAL方式、SECAM方式)で記録されたビデオは再生できません。

(リニア)PCM

音楽CDなどに使用されている音楽記録方式。

テレビ関連用語

本書で説明するテレビ機能の用語について説明します。

エリアCH

位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができ放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

ドライブCH

旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録するためにあります。

物理チャンネル番号

リモコン番号とは異なり、実際に送信されているテレビのチャンネル番号（13ch～52chまで）のことを言います。

フルセグ

家庭用の地上デジタルTV放送のことで、ハイビジョン放送（HDTV）がご覧いただけます。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち12個のセグメントを使用しています。本書では「フルセグ」と表現しています。

放送モード

本書では、「フルセグ」と「ワンセグ」の総称を「放送モード」と表記しています。

ホームCH

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録するためにあります。

マルチ編成

1つのチャンネルで複数のテレビ番組を放送できるサービスです。

リモコン番号

放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。本機では、画面に表示します。

ワンセグ

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルTV放送のことで、1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち1つのセグメントを使用していることから、「1セグ＝ワンセグ」と呼ばれています。

CHモード

各用途に応じて、放送局を登録する「ホームCH」、「ドライブCH」、「エリアCH」の総称を本書では「CHモード」と表記しています。

EPG

Electronic Program Guideの略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことで、

3桁チャンネル番号

複数の番組が放送されているとき、それぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わせられた番号のことで、フルセグでは011番から、ワンセグは611番から始まります。

その他の機器への接続について

機器やケーブルの仕様および型番は2021年1月現在のもを記載しております。仕様および型番は予告なく変更されることがあります。本書の記載内容と異なる場合がございますがご容赦ください。

ETC車載器	三菱電機製ナビゲーション接続用ETC車載器 ※ ETC車載器のみ接続する場合は接続ケーブル (EP-9CN9T) を使用します。 ※ VICSと同時接続する場合は接続ケーブル (LE-90BEC-7L) を使用します。
ETC2.0車載器	三菱電機製ETC2.0車載器 ※ 接続ケーブル (LE-64FF-2SSまたはEP-9CN18) を使用します。
ETC2.0車載器 (光VICS対応)	三菱電機製ETC2.0車載器 (光VICS対応) ※ 接続ケーブル (LE-68FF-2SS) を使用します。
HUD	三菱電機製HUD (DU-200HU) ※ ETC2.0車載器 (光VICS対応) と同時接続する場合は、USB-KIT (KIT-200UH) が必要です。
VICS	光/電波ビーコン受信機 (CJ-95H) ※ ETC車載器と同時接続する場合は接続ケーブル (LE-90BEC-7L) を使用します。
リアカメラ	BC-100シリーズ推奨
外部マイク	LE-50MIC

ソフトウェアについて

オープンソースソフトウェア

FreeType

Portions of this software are copyright 1996-2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

LibJPEG

this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

EGL

Copyright © 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.
<http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>

ZLib

OpenGL ES 2.0

Copyright © 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.
<http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>

unicode

Copyright © 1991-2013 Unicode, Inc. All rights reserved.

PowerVR

Copyright © Imagination Technologies Limited.

OpenVG

Copyright © 2008 The Khronos Group Inc.

libFLAC

Copyright © 2004-2009 Josh Coalson, 2011-2014 Xiph.Org Foundation

picojson.h

Copyright 2009-2010 Cybozu Labs, Inc.
Copyright 2011-2014 Kazuho Oku
All rights reserved.

libwebsockets

[program] is based in part on the work of the libwebsockets project (<https://libwebsockets.org>)
Copyright © 1995, 1996, 1997, and 1998 WIDE Project. All rights reserved.
Copyright © 2001 Bob Trower, Trantor Standard Systems Inc.

Wcecompat

Bitmap Font Generator

BASIC BMFont example implementation with Kerning, for C++ and OpenGL 2.0

This is free and unencumbered software released into the public domain.

Anyone is free to copy, modify, publish, use, compile, sell, or distribute this software, either in source code form or as a compiled binary, for any purpose, commercial or non-commercial, and by any means.

In jurisdictions that recognize copyright laws, the author or authors of this software dedicate any and all copyright interest in the software to the public domain.

We make this dedication for the benefit of the public at large and to the detriment of our heirs and successors. We intend this dedication to be an overt act of relinquishment in perpetuity of all present and future rights to this software under copyright law.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

For more information, please refer to <http://unlicense.org/>

These editors can be used to generate BMFonts:

- <http://www.angelcode.com/products/bmfont/> (free, windows)
- <http://glyphdesigner.71squared.com/> (commercial, mac os x)
- <http://www.n4te.com/hiero/hiero.jnlp> (free, java, multiplatform)
- <http://slick.cokeandcode.com/demos/hiero.jnlp> (free, java, multiplatform)

Some code below based on code snippets from this gamedev posting:

<http://www.gamedev.net/topic/330742-quick-tutorial-variable-width-bitmap-fonts/>

Although I'm giving this away, I'd appreciate an email with fixes or better code!

aaedev@gmail.com 2012

LZ4

LZ4 - Fast LZ compression algorithm
Copyright © 2011-2014, Yann Collet.
BSD 2-Clause License (<http://www.opensource.org/licenses/bsd-license.php>)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

libSVM

Copyright © 2000-2014 Chih-Chung Chang and Chih-Jen Lin All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither name of copyright holders nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenBLAS

Copyright © 2011-2014, The OpenBLAS Project All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the OpenBLAS project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES

(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a double license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts.

OpenSSL License

Copyright © 1998-2018 The OpenSSL Project. All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES,

INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.

The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) "

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

オープンソースソフトウェアのソースコード配布について

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されており、それぞれに当社または第三者の著作権が存在します。

また、本製品には、以下のオープンソースソフトウェアが搭載されています。

- GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 (以下、LGPL) に基づき当社に利用許諾されるソフトウェア
- 第三者の著作権が存在し、上記以外の利用許諾条件にて配布されるソフトウェア

これらに基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示されるライセンス詳細をご参照ください。

<http://www.gnu.org/licenses/lgpl-2.1-standalone.html>

これらのうち、LGPL の条件により利用許諾されるソフトウェアは、ソースコードの入手、再配布の権利があり、当社は本条件に基づきソースコードを開示します。

また、上記以外のオープンソースソフトウェアについても当社判断によりソースコードを開示する場合があります。

但し、これらは単体で有用であることを期待して開示されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

本製品に搭載された下記リストに示すオープンソースソフトウェアのソースコードは三菱電機ホームページより入手いただけます。下記リストに示すソフトウェア以外については、ソースコードの開示対象ではありません。なお、オープンソースソフトウェアのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

開示対象となるオープンソースソフトウェアリスト

libwebsockets-2.1.0	wcecompat-1.2
openssl-1.1.0i	

Gracenote サービス

Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ:copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。

Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、“Powered by Gracenote” ロゴ、Gracenote MusicID は、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。



本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを読み取り、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。

Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。

また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000-present Gracenote.

地図記号について

※ 以下に説明する地図記号は本書作成時の情報にもとづいて記載しております。
 本書に記載していない地図記号や表示されなくなった地図記号がある場合があります。

● 道路・その他

 [青色] 高速道路 / 都市高速 / 有料道路

 [赤色] 一般国道

 [緑色] 主要地方道

 [橙色] 一般都道府県道

 [灰色] その他の道路

 [水色] 水域

 都道府県界

 JR (市街地地図以外)

 JR (市街地地図のみ)・私鉄

※ 地図色は、ライト、ダーク、ユニバーサルデザインの3種類の設定があります。本記載の道路色は、ライト設定時の一例となります。

● 一般記号

- | | | |
|--|---|--|
|  一般国道 |  美術館 |  店舗 |
|  主要地方道 |  博物館 |  ショッピングセンター |
|  インターチェンジ |  ホール・劇場・文化会館 |  飲食店 |
|  サービスエリア |  イベントホール |  ファーストフード |
|  パーキング |  城跡 |  ガソリンスタンド |
|  ジャンクション |  史跡・名勝 |  駐車場 |
|  料金所 |  神社 |  学校 |
|  ランプ |  寺院 |  幼稚園 |
|  スマートインターチェンジ |  教会 |  保育園 |
|  都道府県庁 |  タワー・展望台 |  自動車学校 |
|  市役所 |  灯台 |  病院 |
|  区役所 |  港湾 |  警察署 |
|  役場・支所・出張所 |  山岳 |  消防署 |
|  その他施設 |  野球場 |  郵便局 |
|  空港 |  陸上競技場等のスポーツ施設 |  その他の公共施設 |
|  フェリーターミナル |  ゴルフ場 |  銀行 |
|  道の駅 |  スキー場 |  NTT |
|  公園 |  キャンプ場 |  自衛隊 |
|  遊園地 |  海水浴場 |  米軍 |
|  その他娯楽施設他 |  プール |  墓地 |
|  動物園 |  テニスコート |  工場 |
|  水族館 |  ボウリング場 |  発電所 |
|  植物園 |  ヨットハーバー・マリーナ |  都道府県営・市営団地 |
|  温泉 |  牧場 |  ビル |
|  サーキット場 |  宿泊施設 |  トンネル |
|  競輪・競馬・競艇場 |  百貨店 |  信号機 |

● 主な施設



● 季節情報



● サービスエリア・パーキングエリア情報



Other

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

(約款の適用)

第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランプラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章 契約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICS デスクランプラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランプラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができます。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条

- (1) 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
- (2) 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章 保守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条

- (1) 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
- (2) 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。(免責)

第 17 条

- (1) 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
- (2) VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表視聴料金

視聴料金：300 円（税抜き）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

ニュースリーダーサービス利用規約

三菱電機株式会社（以下「当社」といいます）のニュースリーダーサービス（以下、「本サービス」といいます）は、当社が定めるこの利用規約に従い、当社からお客様に提供されます。お客様が本規約の内容を承諾されない場合、本サービスを利用することはできません。お客様が本サービスの利用を開始された場合は、お客様が本規約を承諾したものとみなされます。

第1条（定義）

本規約で使用する用語の定義は、以下のとおりとします。

1. 「本サービス」とは、株式会社時事通信社（以下、「時事通信社」といいます）から提供されるニュースコンテンツ（以下、「コンテンツ」といいます）をニュース配信サーバーからダウンロードし、本製品と連携して利用できるサービスを意味します。
2. 本製品で本サービスを利用するには、通信機器を介してインターネットに接続する必要があります。本製品の他に通信機器、インターネット回線等、必要なもの全てをお客様の費用と責任において用意いただくものとします。

第2条（知的財産権の保護）

1. 本サービスにより提供される製品、サービス、技術などに関する情報は、産業財産権法・著作権法その他の知的財産権関連法令で保護されております。
2. 当社が本サービスで提供するコンテンツに関する一切の権利は、時事通信社または時事通信社への情報提供者に帰属します。

第3条（禁止行為）

1. お客様は、本サービスを利用するにあたり、または本サービスの利用に関連して次の各号に該当する行為を行ってはならないものとします。
 - (1) 当社または第三者の財産権（著作権、商標権等の知的財産権を含む）を侵害する行為
 - (2) 当社または第三者に対する誹謗中傷行為、肖像権、プライバシー権等を侵害する行為
 - (3) 犯罪に関連する行為
 - (4) 公序良俗に反する行為
 - (5) 選挙運動、またはこれに類似する行為
 - (6) 本サービスを通じて入手した情報の複製、転載、翻訳、翻案、引用、蓄積、頒布、販売、出版、公衆送信（送信可能化を含む）、伝達、放送、口述、展示等
 - (7) 当社の事前の承諾を得ることなく本サービスを使用して営業活動、または営利を目的とした情報提供活動を行う行為
 - (8) 当社の管理する本サービスその他の業務の運営・維持を妨げ、または当社の信頼を毀損するような行為、もしくはそのおそれのある行為
 - (9) 本サービスに関する情報または本サービスを通じて提供される情報を改ざんする行為
 - (10) 有害なコンピュータープログラム等を送信、または書き込む行為
 - (11) 法令、条例等に違反する行為、またはそのおそれのある行為
 - (12) その他当社が不適切と判断する行為

第4条（サービス内容の変更、停止、終了等）

1. 当社は、お客様への事前の通知なく、本サービスの内容の追加、変更、一部終了等を行うことができるものとします。
2. 当社は、天災、その他の非常事態が発生し、もしくは発生するおそれがあるとき、当社が設置する電気通信設備の障害その他やむを得ない事由により通信の全部を提供できないおそれが生じたとき、または当社の電気通信設備の保守上または工事上等のやむを得ない事由を生じたときは、本サービスの提供を停止することができるものとします。

第5条(免責)

1. 本サービスで提供するコンテンツは、作成時点までの信頼できるとされる各種情報やデータに基づいて作成されています。お客様または第三者がコンテンツに関連して損害を被ったとしても、当社、時事通信社および時事通信社への情報提供者は一切責任を負いません。
2. 本サービスで提供するコンテンツの読み上げ機能については、コンテンツの内容によっては不完全な読み上げ(不適切な部分の読み上げ、読み上げ音声聞き取れない、読み誤りがある等)が行われる場合があります。これは読み上げ機能の能力に起因するものであり、これによってお客様または第三者が損害を被った場合でも、当社は一切の責任を負いません。
3. 利用中に建物内、物陰およびネットワーク接続エリア外の場所等へ移動することによってネットワーク接続できない等により本サービスが利用できない、または更新できず過去の情報を提供する可能性があります。当社は一切責任を負いません。
4. 当社は、理由のいかんを問わず、本サービスを利用または利用できなかったことに起因してお客様及び第三者に生じたいかなる損害についても、一切の責任を負わないものとします。

仕様

ナビゲーションユニット		
受信周波数		1575.42MHz
受信方式		パラレル18チャンネル
受信感度		-145dBm
測位更新時間		約1秒
メディア容量		16GB (eMMC)
オーディオ		
アンプ部	最大出力	45W × 4
	適合スピーカーインピーダンス	4Ω
イコライザー部	10バンドイコライザー	31.5/63/125/250/500/1k/2k/4k/8k/16k Hz 調整幅レベル：±12dB (1dB/1step)
DVD プレーヤー部	対応ディスク	DVD-VIDEO、DVD-R/RW ^{*1} 、DVD+R/RW、 CD-DA、 CD-R/RW (MP3、WMA、AAC、WAVフォーマット) ※1) VR/CPRMフォーマット対応
	周波数特性	5Hz ~ 20,000Hz (CD-DA)
	S/N	90dB
	全高調波ひずみ率	0.01%以下
FM/AM部	受信周波数範囲	FM：76.0 ~ 95.0MHz AM：522 ~ 1629kHz
	実用感度	FM：12dBf、AM：32dBμ
	S/N	FM：60dB IHF-A、AM：50dB
	左右分離度	FM：20dB (1kHz)
TV部	放送方式	地上デジタル放送方式 (日本)
	受信チャンネル	13 ~ 52ch
	アンテナ	専用アンテナ
MusicFolder部	形式	SD-Audio規格
	S/N	90dB
	全高調波ひずみ率	0.01%以下
SDカード部	対応容量	最大2TB (推奨128GBまで) (SDXC規格対応/CPRM対応)
	対応圧縮音声フォーマット	MP3、WMA、AAC、WAV、FLAC
	S/N	90dB
	全高調波ひずみ率	0.01%以下

GPS アンテナ		
防水		防噴流仕様
方式		マイクロストリップ平面アンテナ
モニター		
画面サイズ		8 インチ WVGA
タッチパネル		静電容量式 (Mutual 方式) タッチパネル
外部接続		
外部入力	Audio 機器など (RCA 1 系統)	映像 : NTSC 1.0Vp-p 音声 : 2.0Vrms MAX (1kHz)
外部出力	アンプ用 (4ch)	音声 : 2.1Vrms MAX (1kHz 0dB)
	サブウーファー用 (2ch)	音声 : 1.8Vrms MAX (100Hz 0dB)
	後席モニターなど (RCA 1 系統)	映像 : NTSC 1.0Vp-p
カメラ入力 (RCA 1 系統)		映像 : NTSC 1.0Vp-p
電源・寸法・質量		
使用電源		DC13.2V (マイナスアース)
最大消費電流		MAX13A
動作温度		-10℃ ~ +60℃
外形寸法		約 幅 200 × 高さ 125.4 × 奥行き 183.9mm
質量		約 3.1kg

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。

保証とアフターサービス

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入<販売店印><お買い上げ日>および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、保証書に記載している期間に基づきます。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は	▶	保証書の記載内容に基づいて修理いたします。 詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	▶	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償修理いたします。

- 三菱電機は各機器の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店が弊社代理店、「お客様相談窓口一覧表」に記載されている最寄りのお店もしくは下記三菱電機カーインフォメーションセンターにお申しつけください。

お問い合わせ先 三菱電機カーインフォメーションセンター

フリーダイヤル **0120-182-710**

(土・日・祝日・弊社の休日は除く / 9:00 ~ 17:30)

音質調整メモ

プレミアム認証後 (プレミアムモード) の音質調整メモは「NR-MZ300 PREMI シリーズ取扱説明書 (Tuning Bridge)」に掲載しておりますのでそちらをご活用ください。

お客さまへ

❗ メモを取っておいてください

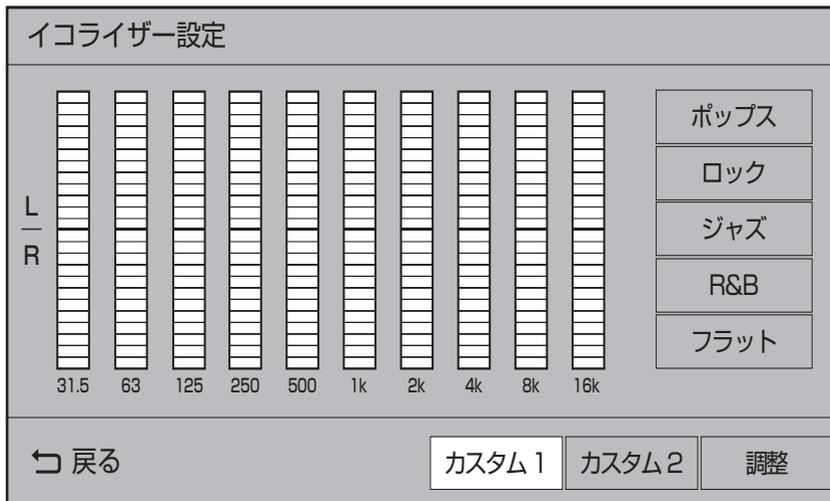
- 「イコライザー設定」および「イコライザー調整」、「タイムアライメント設定」、「クロスオーバー設定」の内容をメモを取っておいてください。
- 本紙は大事に保管し、万が一設定内容が消えてしまった場合に確認し、設定してください。

イコライザー設定

オーディオ再生中に、**AV** キー→ **Sound Settings** → “イコライザー” の **カスタム1** または **カスタム2** にタップすると表示する画面です。

イコライザーのレベルを塗りつぶしてください。

カスタム1用



イコライザー設定

L
—
R

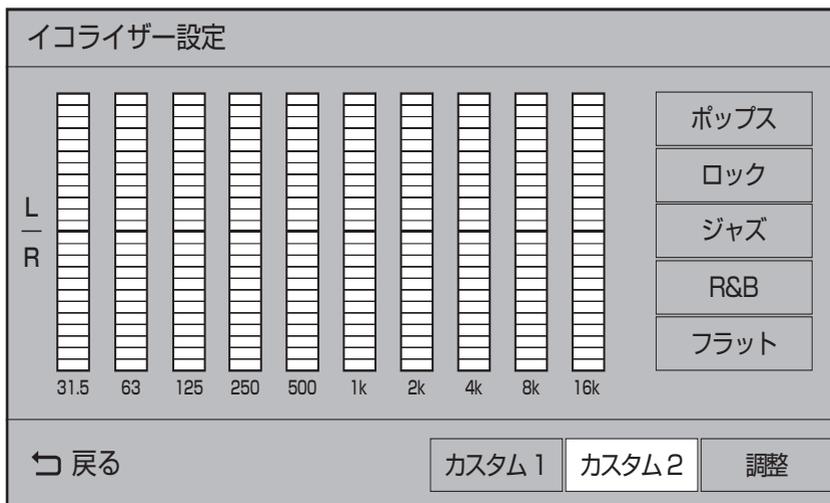
31.5 63 125 250 500 1k 2k 4k 8k 16k

ポップス
ロック
ジャズ
R&B
フラット

戻る カスタム1 カスタム2 調整

The image shows the EQ settings screen for Custom 1. It features ten frequency sliders labeled 31.5, 63, 125, 250, 500, 1k, 2k, 4k, 8k, and 16k. The sliders are currently set to a flat level. On the right, there are five preset buttons: ポップス, ロック, ジャズ, R&B, and フラット. At the bottom, there is a back button (戻る), three tabs (カスタム1, カスタム2, 調整), and the 調整 tab is selected.

カスタム2用



イコライザー設定

L
—
R

31.5 63 125 250 500 1k 2k 4k 8k 16k

ポップス
ロック
ジャズ
R&B
フラット

戻る カスタム1 カスタム2 調整

The image shows the EQ settings screen for Custom 2. It features ten frequency sliders labeled 31.5, 63, 125, 250, 500, 1k, 2k, 4k, 8k, and 16k. The sliders are currently set to a flat level. On the right, there are five preset buttons: ポップス, ロック, ジャズ, R&B, and フラット. At the bottom, there is a back button (戻る), three tabs (カスタム1, カスタム2, 調整), and the カスタム2 tab is selected.

タイムアライメント設定

オーディオ再生中に、**AV** キー→ **Sound Settings** → “サウンドチューニング” の **TA/X'o**を調整する にタップすると表示する画面です。
各数字を記入してください。

User1用

タイムアライメント設定 TA X'o

FL TW cm

FL WF cm

RL cm

Sub WF cm

FR TW cm

FR WF cm

RR cm

User1

User2

Userマルチ ch

戻る

信号OFF

IR

User2用

タイムアライメント設定 TA X'o

FL TW cm

FL WF cm

RL cm

Sub WF cm

FR TW cm

FR WF cm

RR cm

User1

User2

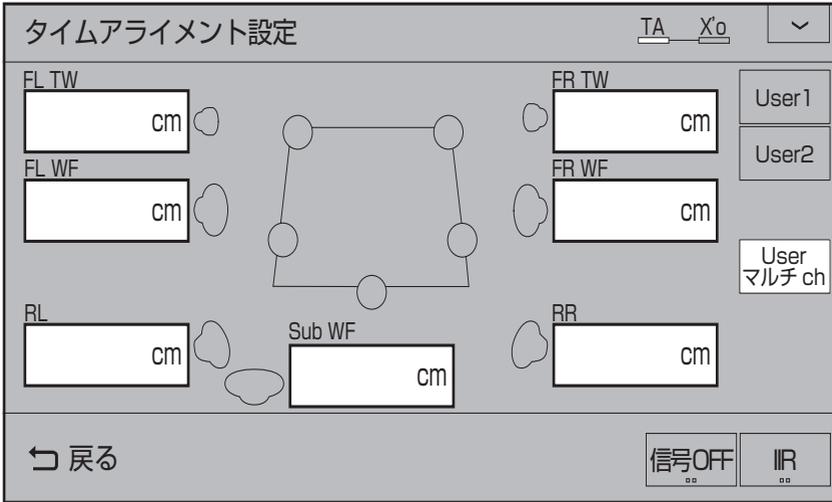
Userマルチ ch

戻る

信号OFF

IR

次のページにつづく

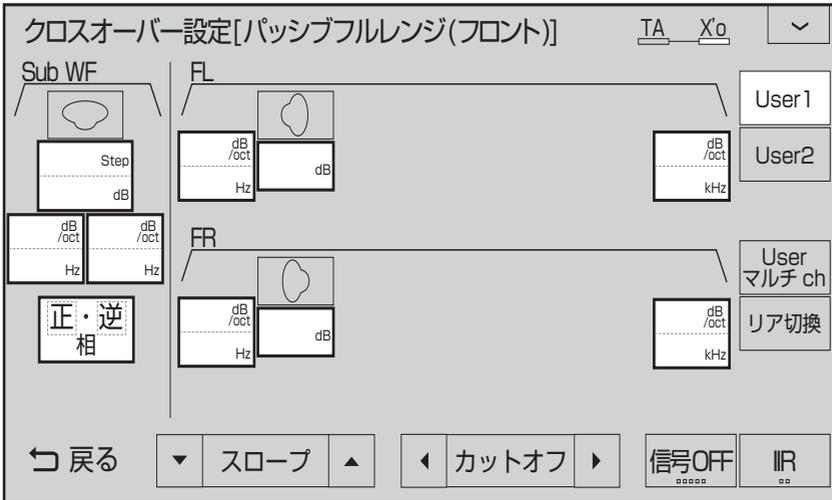


クロスオーバー設定 (フロント)

オーディオ再生中に、**AV** キー→ **Sound Settings** → “サウンドチューニング” の **TA/X'oを調整する** にタップし、画面を左にスライドすると表示される画面です。各数字を記入してください。

■ フロント [パッシブフルレンジ] の場合

User1用



User2用

クロスオーバー設定[パッシブフルレンジ(フロント)]

TA X'o

Sub WF

FL

FR

Step
dB

dB/oct Hz dB

dB/oct kHz

dB/oct Hz dB

dB/oct kHz

正・逆
相

User1

User2

User
マルチ ch

リア切換

戻る

スロープ

カットオフ

信号OFF

IR

Userマルチch用

クロスオーバー設定[パッシブフルレンジ(フロント)]

TA X'o

Sub WF

FL

FR

Step
dB

dB/oct Hz dB

dB/oct kHz

dB/oct Hz dB

dB/oct kHz

正・逆
相

User1

User2

User
マルチ ch

リア切換

戻る

スロープ

カットオフ

信号OFF

IR

■ フロント[パッシブ2Way]の場合

User1用

クロスオーバー設定[パッシブ2Way(フロント)] TA X'o

Sub WF



Step
dB

$\frac{\text{dB}}{\text{oct}}$ $\frac{\text{dB}}{\text{oct}}$
Hz Hz

正・逆
相

FL



$\frac{\text{dB}}{\text{oct}}$ $\frac{\text{dB}}{\text{oct}}$
Hz dB dB

kHz

FR



$\frac{\text{dB}}{\text{oct}}$ $\frac{\text{dB}}{\text{oct}}$
Hz dB dB

kHz

User1

User2

User
マルチ ch

リア切換

戻る
▼ スロープ ▲
◀ カットオフ ▶
信号OFF
IR

User2用

クロスオーバー設定[パッシブ2Way(フロント)] TA X'o

Sub WF



Step
dB

$\frac{\text{dB}}{\text{oct}}$ $\frac{\text{dB}}{\text{oct}}$
Hz Hz

正・逆
相

FL



$\frac{\text{dB}}{\text{oct}}$ $\frac{\text{dB}}{\text{oct}}$
Hz dB dB

kHz

FR



$\frac{\text{dB}}{\text{oct}}$ $\frac{\text{dB}}{\text{oct}}$
Hz dB dB

kHz

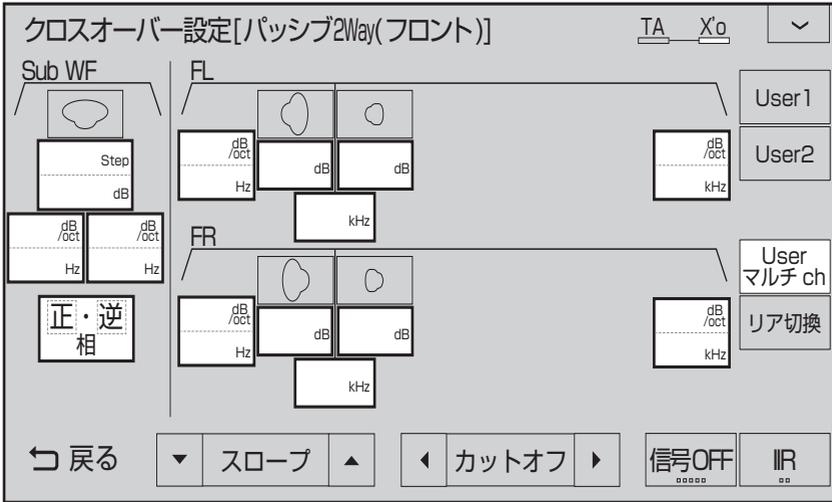
User1

User2

User
マルチ ch

リア切換

戻る
▼ スロープ ▲
◀ カットオフ ▶
信号OFF
IR

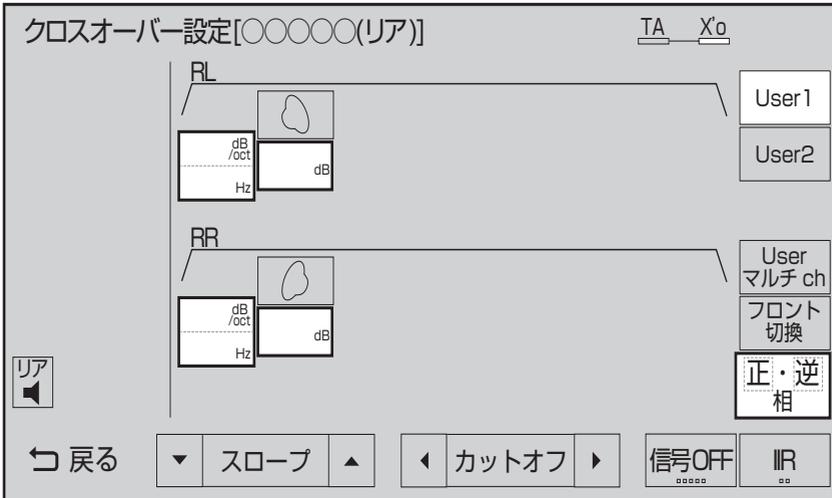


クロスオーバー設定 (リア)

クロスオーバー設定画面(フロント)表示中、**リア切換** にタップすると表示する画面です。各数字を記入してください。

■ リアの場合

User1用



次のページにつづく

User2用

クロスオーバー設定[○○○○○(リア)] TA X'o

RL

RR

リア 

User1
User2

User
マルチ ch
フロント
切換

正・逆
相

戻る ▼ スロープ ▲ ◀ カットオフ ▶ 信号OFF ⅡR

Userマルチ ch用

クロスオーバー設定[○○○○○(リア)] TA X'o

RL

RR

リア 

User1
User2

User
マルチ ch
フロント
切換

正・逆
相

戻る ▼ スロープ ▲ ◀ カットオフ ▶ 信号OFF ⅡR

用語索引

本用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードのみを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

ア行

案内開始	119,126
イコライザー	58,161
エコ	32,139
エコ運転評価	139
エコ情報の設定	152
エコ情報履歴	139
エリア	94,95
エリアCH	164
追いかけて再生	160
オーディオ機能	60
音楽CD	66
音楽ファイル	62,69
音質調整	35
音声	73,154
音声認識	106
音声の設定	151,153
音像	52,161
オンデマンドVICS	133
音場	52,161
オンライン受信	133
オンラインで受信する	137
音量を調節する	19

カ行

ガイド線	146
各アイコン	102
カットオフ周波数	54,161
カメラ	32,146
カメラ設定	152
規制情報	135
クロスオーバー	52,54,161
クロスオーバー周波数	55,161
経由地	126
系列局	94
系列局サーチ	95

ゲイン	54,161
言語コード	163
現在地	99,105
現在地登録	129
高速道路情報	116
交通情報	29
小文字/大文字	112

サ行

サーバー音声認識	106
細街路	159
再生できるディスクの種類	61
市街地地図	159
自転車	159
自転車位置の補正	151
システムの設定	153
施設名称	30
施設名称入力用キーボード	113
自宅	30,117,129
視聴設定	154
ジャイロセンサー	159
車速センサー	159
ジャンル	30
住所	30
渋滞予測経路	126
周辺検索	30
縮尺	115
縮尺アイコン	99
受信機設定	154
準天頂衛星	98,102
仕様	180
省エネ度	126
商標	10
情報確認	154
ショートカットメニュー	105
初期設定	154
信号情報案内	102
信号情報案内の設定	151
スクロール	101,115
スマホDEメモ	122
スマートIC	116,159
スマートフォンから探す	123

スマートループ渋滞情報	133
スライド	28
スロープ	54,161
セキュリティロックの設定	153
セキュリティロックLED	19
設定	32
センシングリルート	159
全地球測位システム	98,160
全ルート	127
走行軌跡	159
走行中の操作制限	10,95
測位	159

タ行

タイトル	163
タイトル情報	66,68
タイムアライメント	52,53,161
タップ	27
タブボタン	28
ダブルタップ	27
探索条件	126,128
探索条件設定	126
探索の設定	151
地図データ更新	32
地点メニュー	101
チャプター	163
通信の設定	153
続き再生	163
ディスクスロット	20
ディスクを取り出す	25
ディスプレイ	19
デバイスID	152
電波ビーコン	133
電話	32
電話をかける	145
電話を使う	144
登録地	129
登録地情報	131
登録地の設定	129
特別登録地	130
ドライブ	94,95
ドライブCH	164

ドライブCHスキャン	95
ドルビーデジタル	163

ナ行

ナビ画面	99
ニュースリーダー	142
ネットDEサーチ	121
ノーマルバナー	94

ハ行

バージョンアップ	150
バージョン	150
ハイパスフィルター	54,161
パッシブクロスオーバーネットワーク	161
半角/全角	112
番組内容	94
番号	30
光ビーコン	133
表示の設定	151
ビュー切替	114
ピンチアウト	28
ピンチイン	28
フォルダーの構成	62,63
物理チャンネル番号	164
プリセットボタン	64
フリック	27
フルセグ	164
フルレンジスピーカー	161
プレイリスト	160
変換	112
放送モード	164
ホーム	94,95
ホームCH	164
ホームCHスキャン	93
本機	19
本機の設定	151

マ行

マイメニュー	33
マップコード	159
マップマッチング	98,159
マルチアングル	163

マルチアンプシステム.....	162
マルチタップ.....	27
マルチ編成.....	164
無変換.....	112
メッセージ.....	155
メニュー.....	94
免責事項.....	8
メンテナンス.....	32,148
目的地の設定.....	117
文字入力.....	112
モニター Open.....	23

ヤ行

用語解説.....	159
-----------	-----

ラ行

ラジオ.....	64
ランドマーク.....	159
リアカメラ.....	147
リスニングポジション.....	36,52,162
(リニア)PCM.....	163
リモコン番号.....	94,95,164
履歴.....	30
ルート確認.....	127
ルート消去.....	128
ルートの確認.....	127
ルートの変更.....	128
レターボックス画面.....	163
ローパスフィルター.....	54,162
ローブースト.....	54,162
録音する.....	80
ロングタップ.....	27

ワ行

ワイドソフト.....	163
ワンセグ.....	164
ワンセグ/フルセグ.....	94

A

AM.....	64
Audio ON/OFF.....	29,60

AUX.....	29
AV.....	19,60
AV再生情報.....	99
AVメニュー.....	29

B

Bluetooth Audio.....	29,96
----------------------	-------

C

CHモード.....	94,95,164
CPRM.....	163

D

DISC.....	29
DriveConnect.....	120
DriveConnectの設定.....	151
DTS Digital Surround.....	163
DVDビデオ.....	71

E

EPG.....	94,164
ETC.....	32,141
ETCの履歴.....	141
ETC2.0.....	138,159
eスタートマスターレベル.....	139

F

FIRフィルター.....	53,54,162
FM.....	64
FM多重放送.....	133

G

GNSS.....	98,160
GPS.....	98,160
Gracenote.....	172

I

ID3タグ.....	160
IIRフィルター.....	53,54,162
INFOの設定.....	152

INFOメニュー	32
iPod	29,88

M

MAPCODE	30
MENU	19
MPEG	163
MusicFolder	160
MusicFolderを聴く	82

N

NaviCon	123
NAVIの設定	151
NAVIメニュー	30,104
NTSC	163

O

OpenInfo	10
----------	----

P

P.ANT ON/OFF	29
PLAYLIST	83,84,85
PremiDIA Bass	59
PremiDIA VBL	59

Q

QZS	98
-----	----

R

RADIO	29
-------	----

S

SD/MusicFolder	29
SDカード	22
SDカードスロット	20,23
SDカードの曲を聴く	76
SDカードの動画を見る	78
Sound Settings	35

T

TITLE	72,73
TV	29,92,93
TVの設定	154

U

USB	29
USBデバイスの曲を聴く	89
USBデバイスの動画を見る	91

V

VICS	133,160
VICS記号	136
VICSセンター	136
VICSの設定	151
VICSボタン	134
VOL	19

W

Wi-Fi	160
-------	-----

数字

2Dマップ	114
2Wayスピーカー	162
3Dビューマップ	114
3Dリアルジャンクション	160
3Wayスピーカー	162
3桁チャンネル番号	164
5ルート	126

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)



N871L72039 22-09